

令和6年度
常磐自動車道
R7いわき管内舗装補修工事

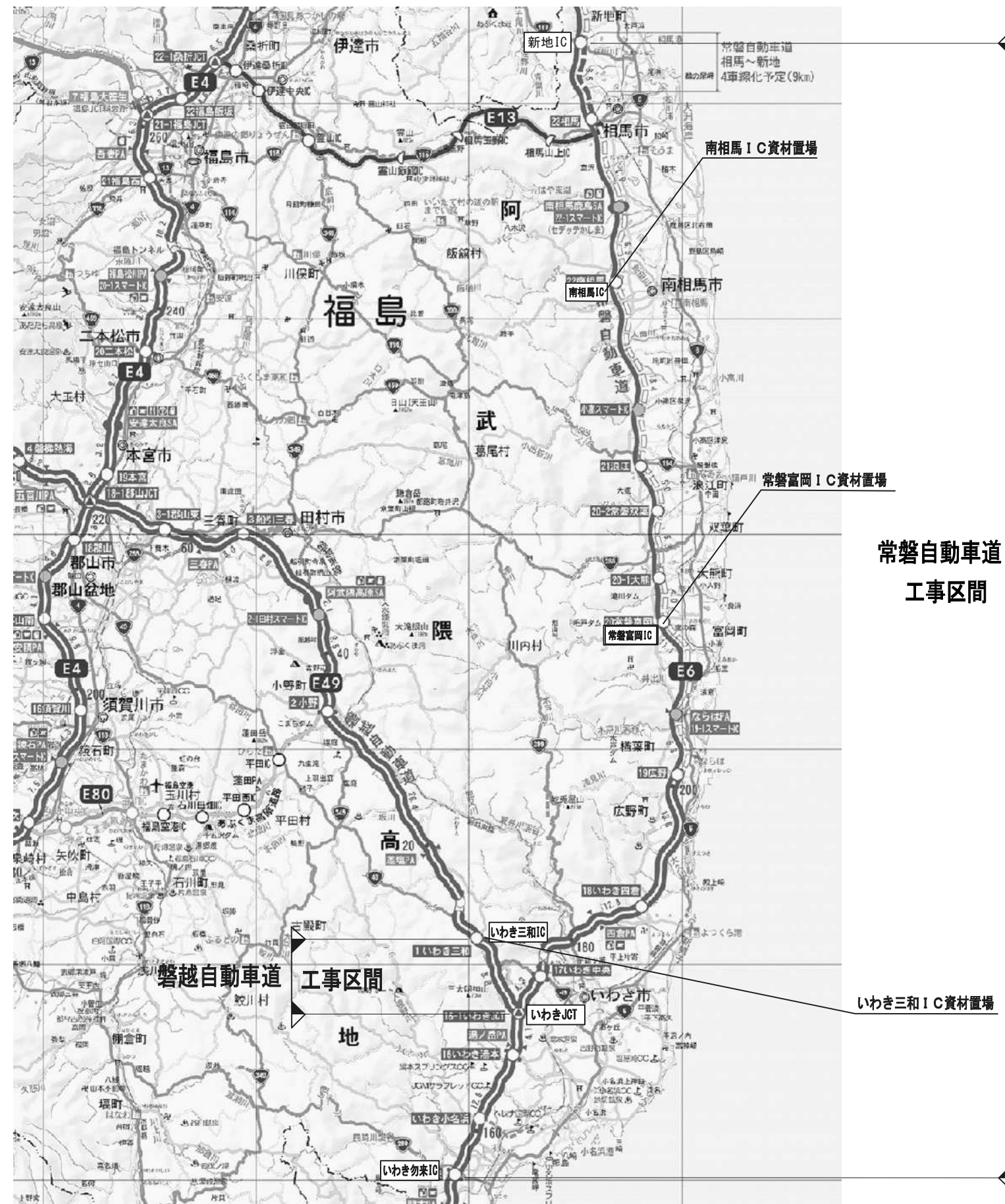
設 計 図

令和6年11月

東日本高速道路株式会社 東北支社
いわき管理事務所

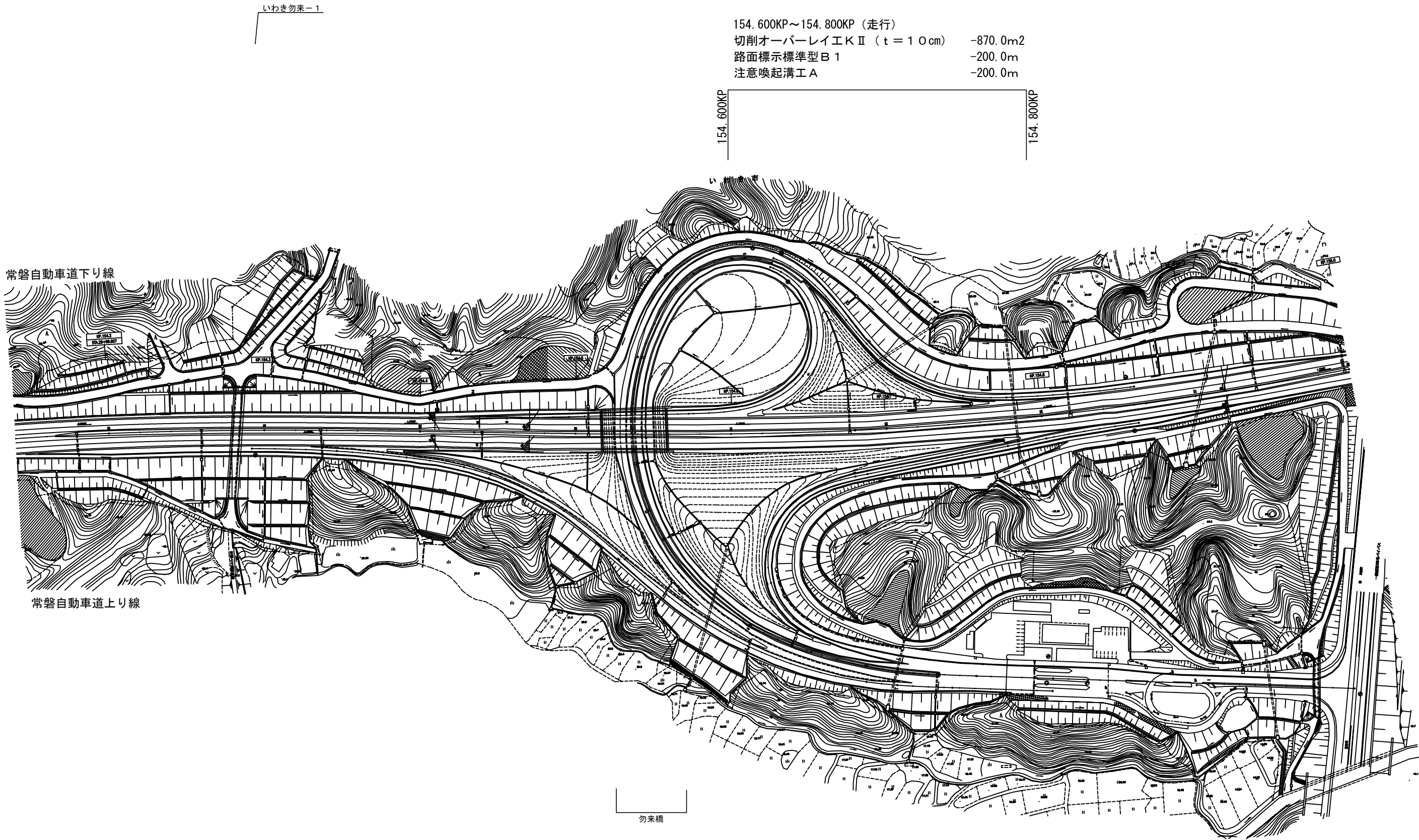
目 次

番号	図面の種類	図面番号
1.	位 置 図	1
2.	平面図（1）～（4 5）	2 ～ 4 6
3.	標準横断図（1）～（7）	4 7 ～ 5 3
4.	詳細図（1）～（2 1）	5 4 ～ 7 4
5.	交通規制図（1）～（1 4）	7 5 ～ 8 8



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	位置図		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

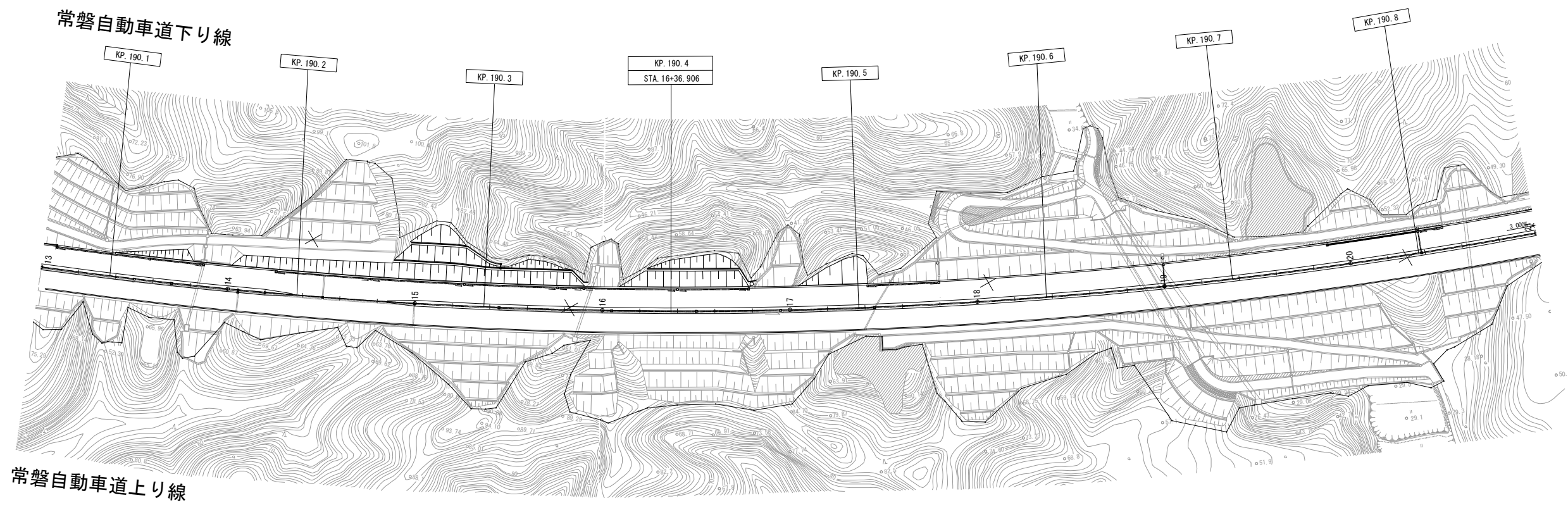
平面図（１）



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（１）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（2）

いわき四倉ー4



常磐自動車道上り線

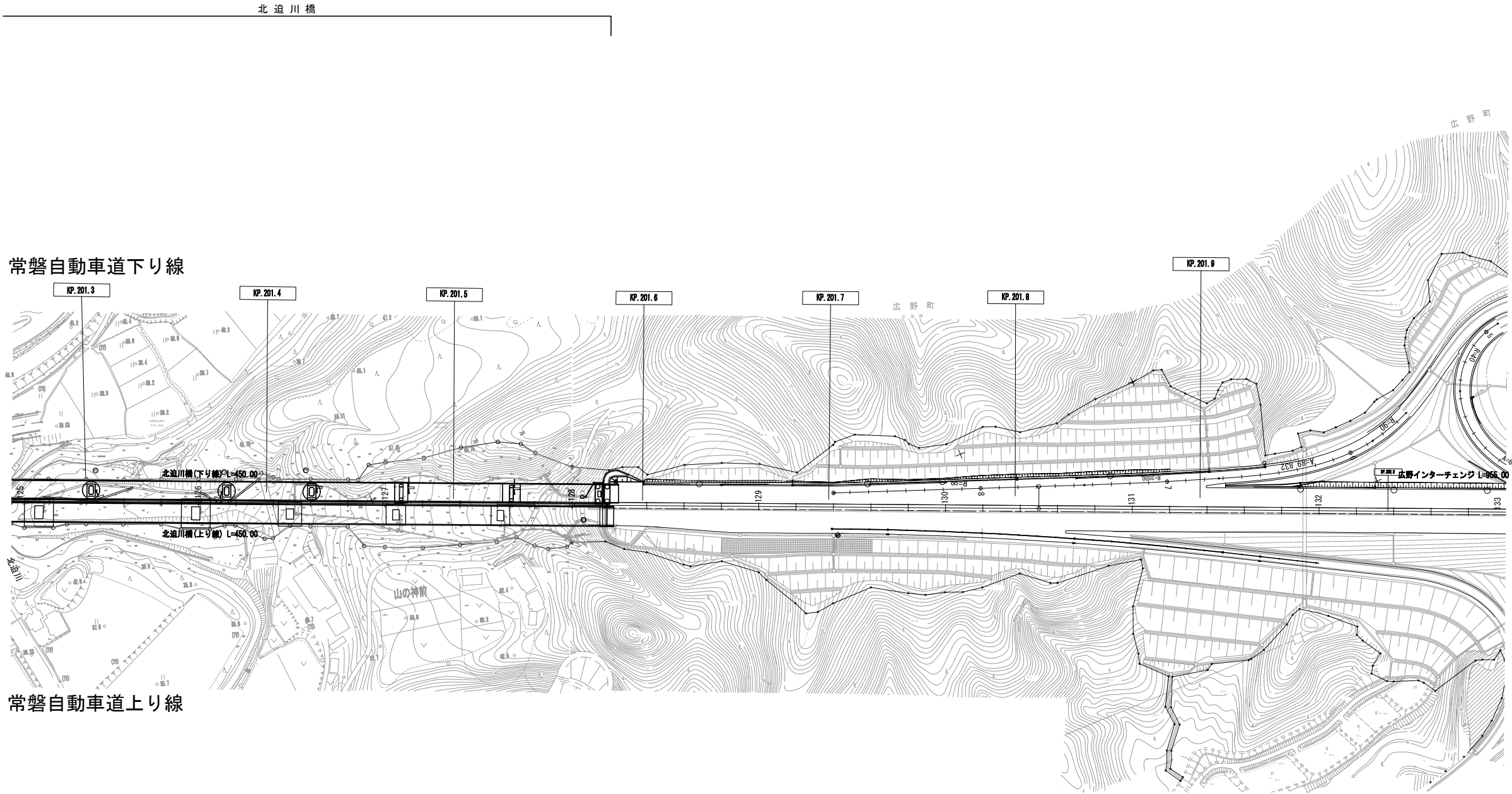
190. 420KP～190. 470KP（追越）
切削オーバーレイエ K II （ t = 4 cm） -257. 5m2
路面標示標準型 B 1 -50. 0m

190. 420KP
190. 470KP
190. 420KP
190. 470KP

190. 420KP～190. 470KP（走行）
切削オーバーレイエ K II （ t = 4 cm） -207. 5m2
路面標示標準型 A 1 -20. 0m
路面標示標準型 B 1 -50. 0m
注意喚起溝工 A -50. 0m

常 磐 自 動 車 道 R 7 い わ き 管 内 舗 装 補 修 工 事			
図面の種類	平 面 図（2）		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

平面図（3）



201.581KP

201.828KP

201.910KP

201.940KP

201.581KP～201.828KP（走行）

切削オーバーレイエ KⅡ（t＝10cm）

-1037.4m2

路面標示標準型 B 1

-247.0m

路面標示標準型 E 1

-9.2m2

注意喚起溝工 A

-247.0m

201.828KP～202.343KP（走行）

切削オーバーレイエ KⅡ（t＝10cm）

-2163.0m2

路面標示標準型 B 1

-515.0m

注意喚起溝工 A

-515.0m

201.910KP～201.940KP（追越）

切削オーバーレイエ KⅡ（t＝10cm）

-133.5m2

路面標示標準型 A 1

-12.0m

路面標示標準型 B 1

-30.0m

(202.800KP)

常磐自動車道

R7いわき管内舗装補修工事

図面の種類

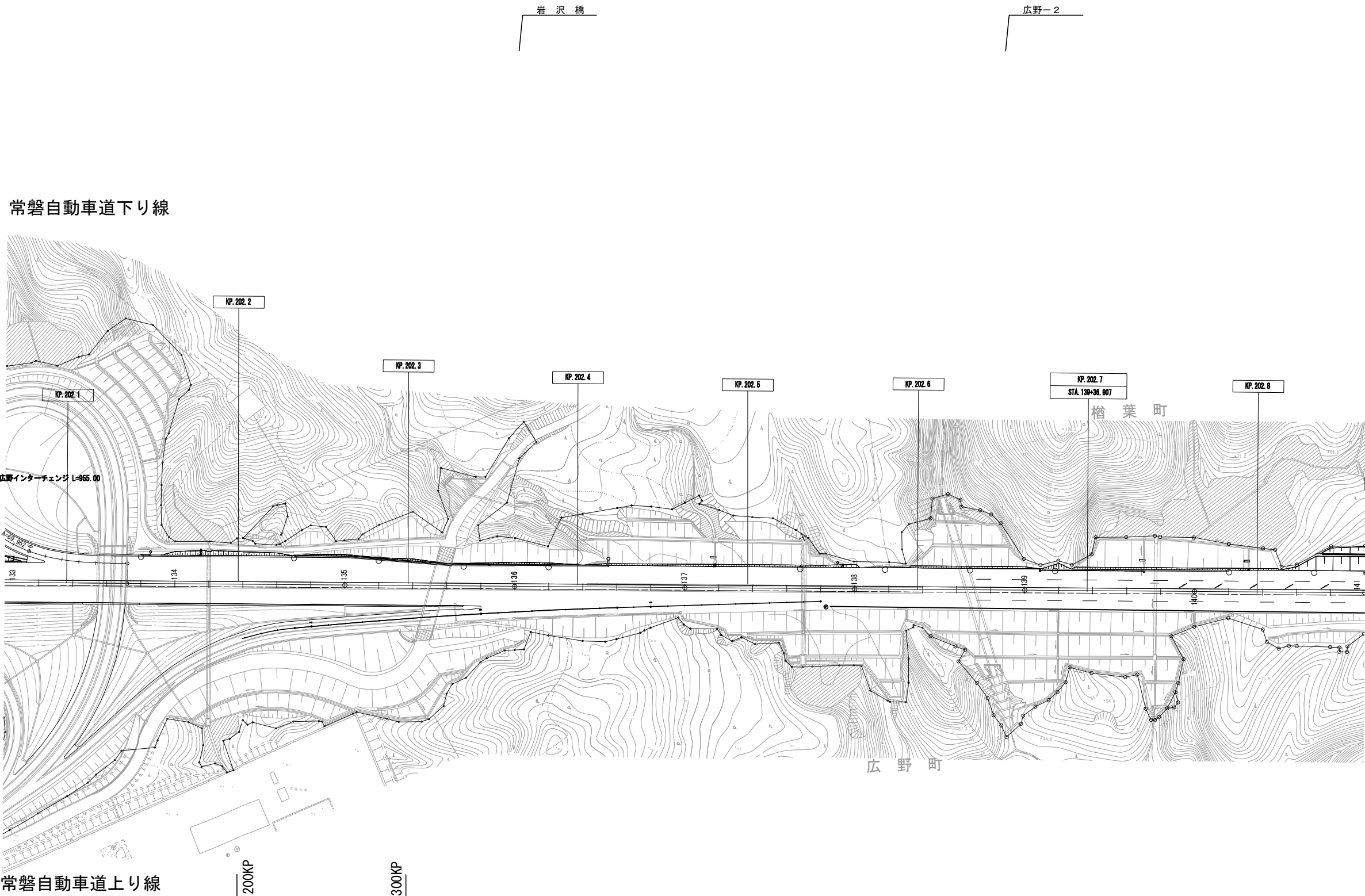
平面図（3）

縮尺

図面番号

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（3）		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

平面図（４）



202. 200KP
202. 300KP
202. 200KP～202. 300KP（走行）
切削オーバーレイエ HiMA（t＝1 5 cm）-345. 0m2

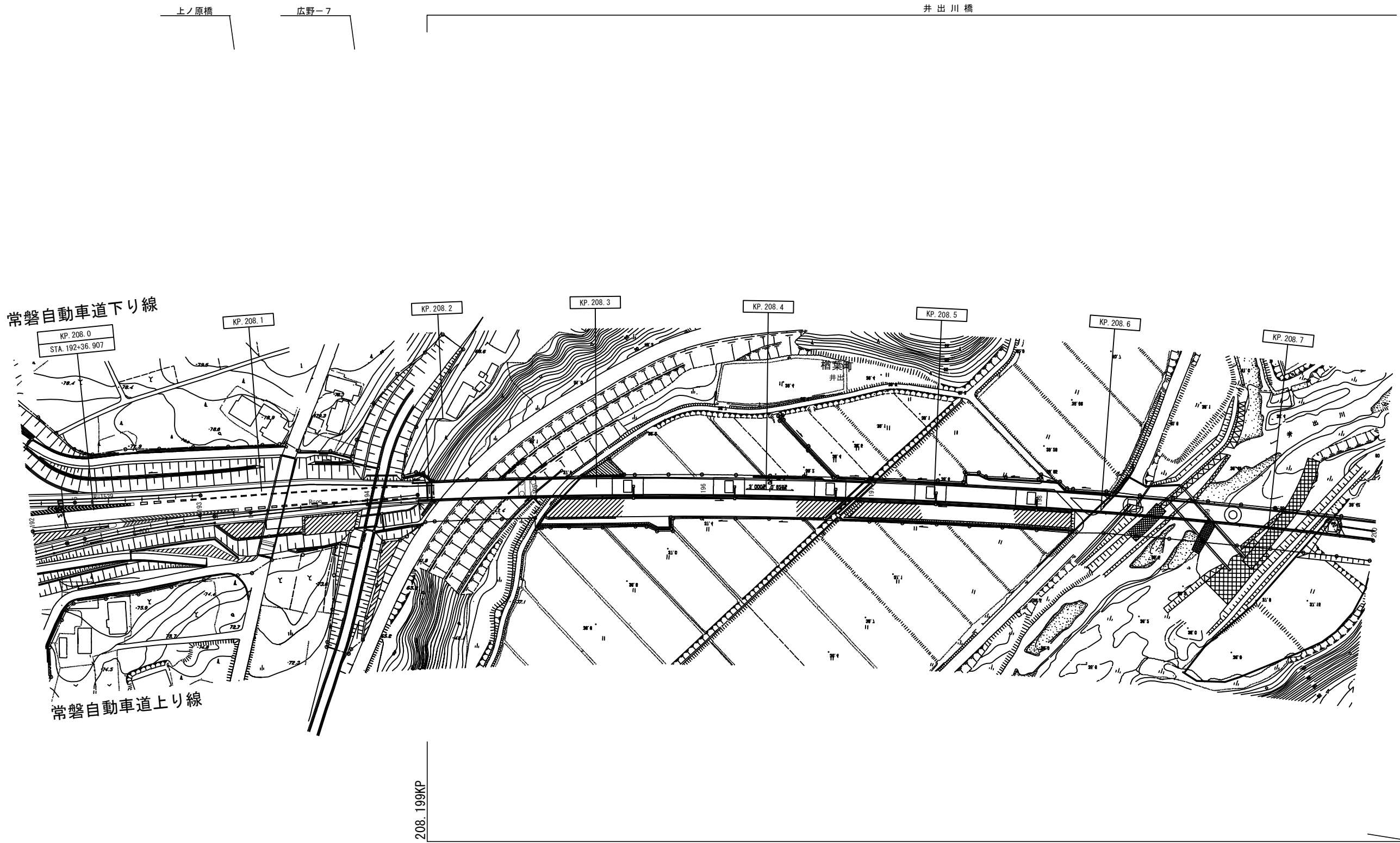
202. 343KP

202. 600KP

202. 800KP

(201. 823KP)	(201. 823KP～202. 343KP（走行））		202. 343KP～202. 600KP（走行）		202. 600KP～202. 800KP（走行）	
	（切削オーバーレイエ K II（t＝1 0 cm）		切削オーバーレイエ K II（t＝1 0 cm）		切削オーバーレイエ K II（t＝1 0 cm）（Y）	
	（路面標示標準型 B 1		路面標示標準型 B 1		路面標示標準型 B 1（Y）	
	（注意喚起溝工 A		注意喚起溝工 A		注意喚起溝工 A（Y）	
	-2163. 0m2)		-1079. 4m2		-840. 0m2	
	-515. 0m)		-257. 0m		-200. 0m	
	-515. 0m)		-257. 0m		-200. 0m	

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（４）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		



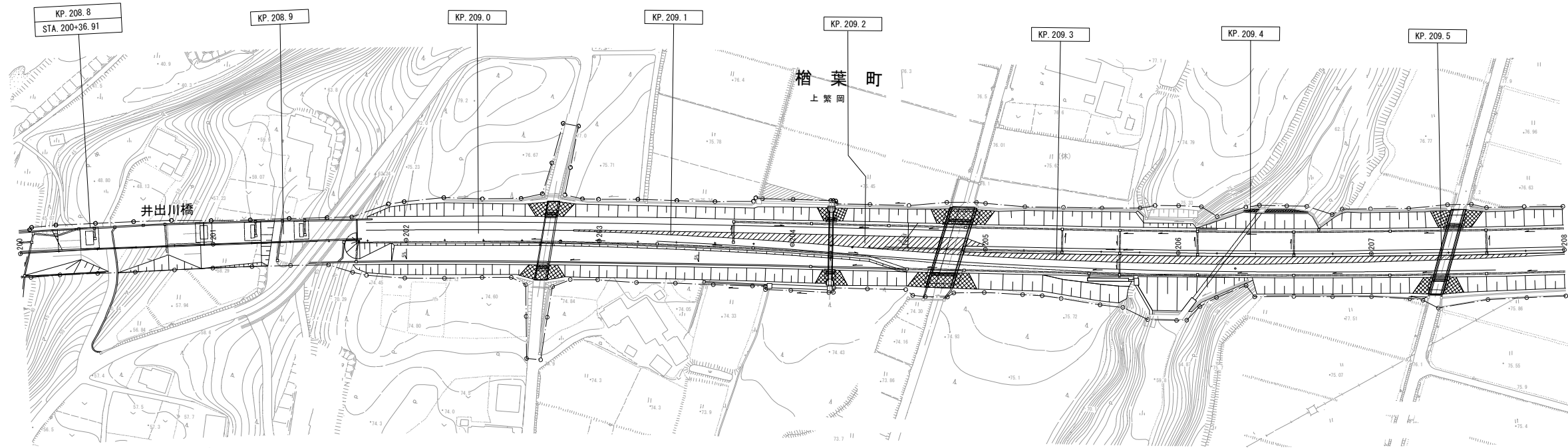
208.199KP～208.937KP 井出川橋（上り）（走行）
切削オーバーレイエ K II （t = 4 cm）（Y） -3136.5m2
路面標示標準型 A 2 （Y） -738.0m
路面標示標準型 B 1 （Y） -738.0m
注意喚起溝工 A （Y） -1476.0m

常 磐 自 動 車 道 R 7 い わ き 管 内 舗 装 補 修 工 事			
図面の種類	平 面 図（５）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

平面図（6）



常磐自動車道下り線



常磐自動車道上り線

(208. 199KP) 208. 937KP

- (208. 199KP～208. 937KP 井出川橋（上り）（走行））
- (切削オーバーレイ工Ⅱ（t＝4cm）（Y）-3136.5m2)
- (路面標示標準型A2（Y）-738.0m)
- (路面標示標準型B1（Y）-738.0m)
- (注意喚起溝工A（Y）-1476.0m)

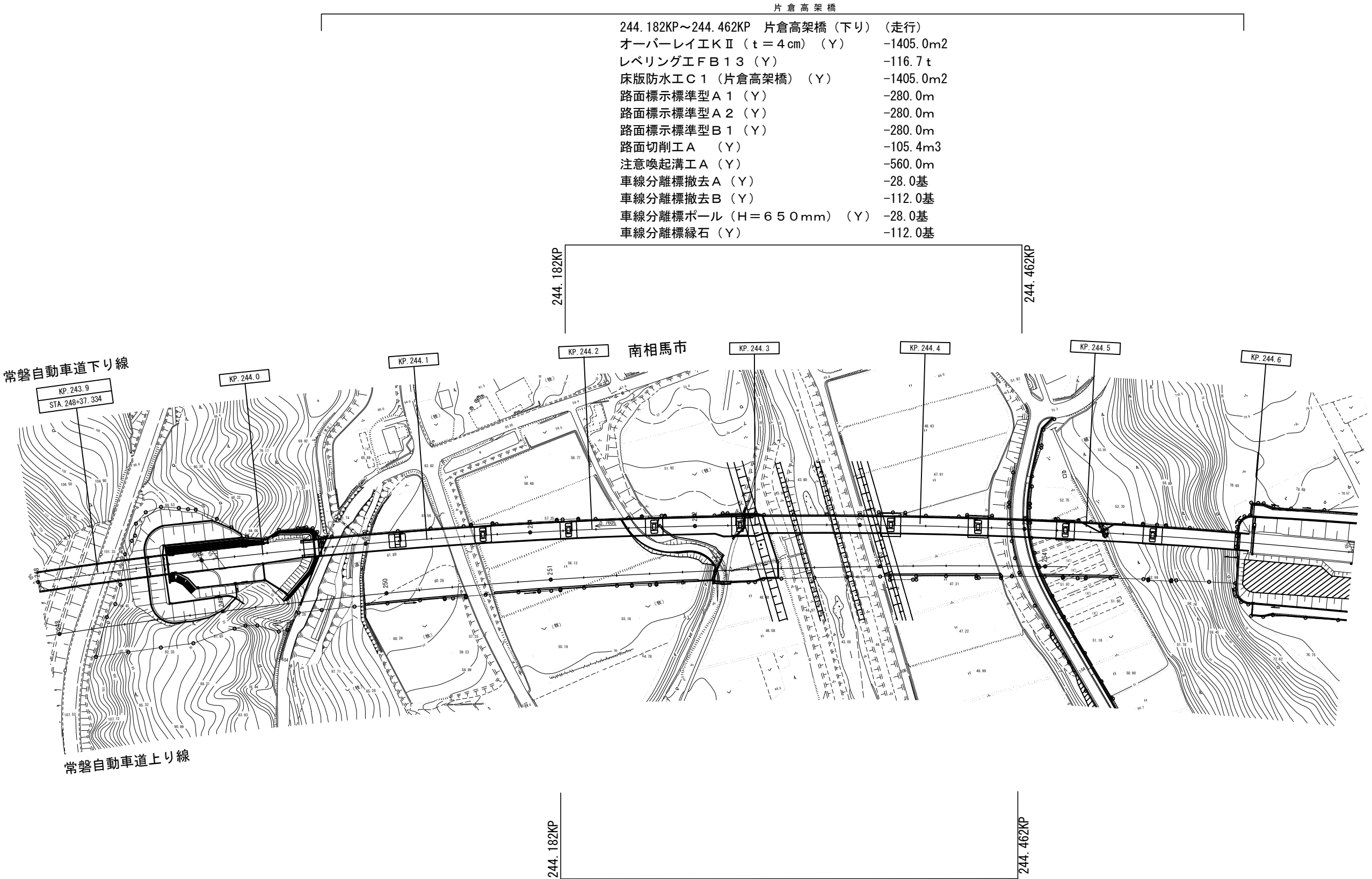
常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（6）		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

浪江-28

注意喚起溝工 A (Y)	-306.0m
--------------	---------



<p align="center">常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事</p>			
図面の種類	<p align="center">平 面 図 (7)</p>		
縮 尺	———	図面番号	———
設計会社名	—————		
施工会社名	—————		
事務所名	<p align="center">東日本高速道路株式会社 東北支店 いわき管理事務所</p>		

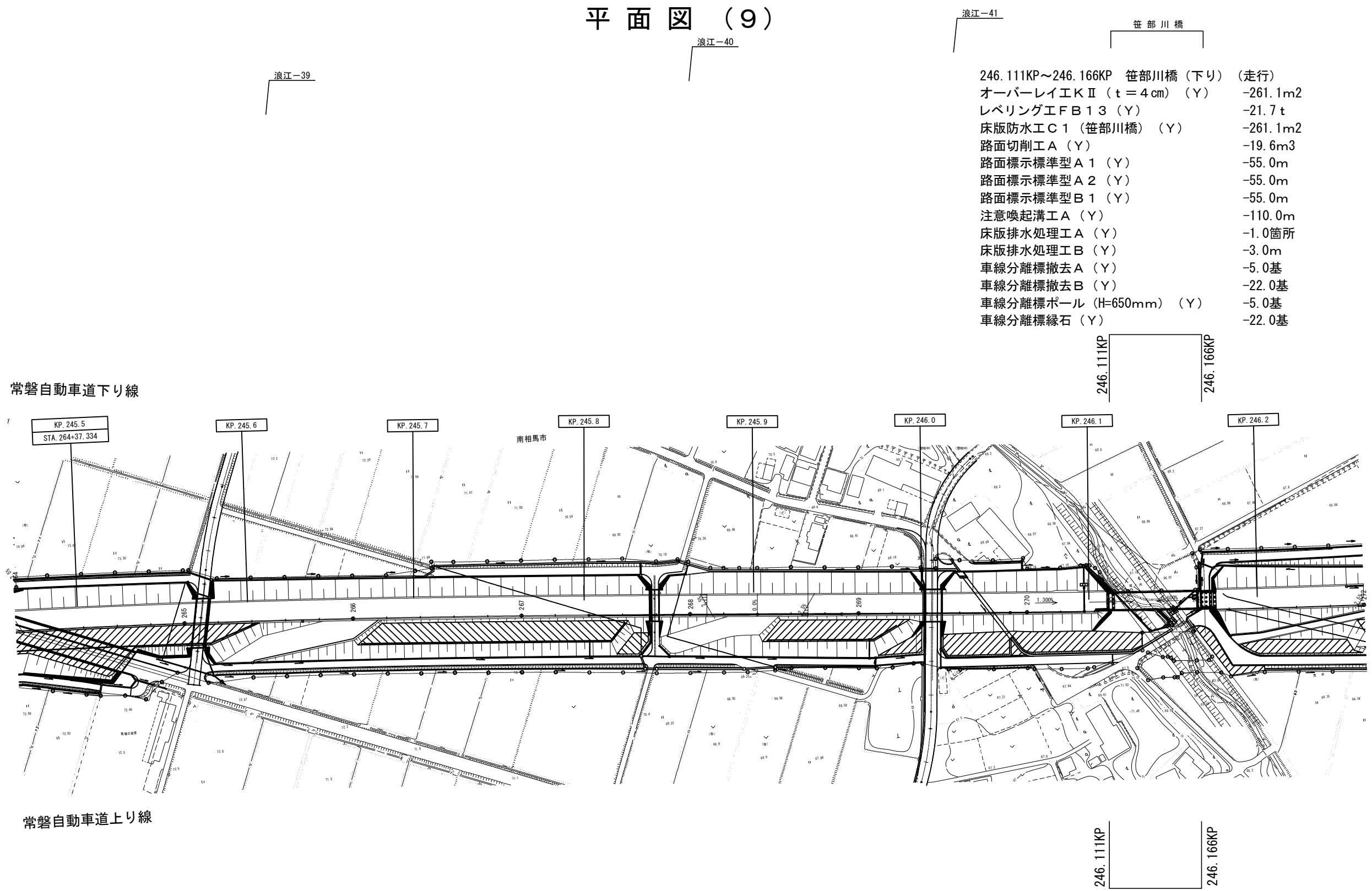


244.182KP ~ 244.462KP	片倉高架橋 (下り) (走行)
オーバーレイ工Ⅱ (t = 4 cm) (Y)	-1405.0m2
レベリング工Ⅲ (Y)	-116.7 t
床版防水工Ⅲ (片倉高架橋) (Y)	-1405.0m2
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面切削工Ⅲ (Y)	-105.4m3
注意喚起溝工Ⅲ (Y)	-560.0m
車線分離標撤去Ⅲ (Y)	-28.0基
車線分離標撤去Ⅲ (Y)	-112.0基
車線分離標ポール (H = 650 mm) (Y)	-28.0基
車線分離標縁石 (Y)	-112.0基

244.182KP ~ 244.462KP	片倉高架橋 (上り) (走行)
オーバーレイ工Ⅱ (t = 4 cm) (Y)	-1542.8m2
レベリング工Ⅲ (Y)	-128.1 t
床版防水工Ⅲ (片倉高架橋) (Y)	-1542.8m2
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面標示標準型Ⅲ (Y)	-280.0m
路面切削工Ⅲ (Y)	-115.7m3
注意喚起溝工Ⅲ (Y)	-560.0m
床版排水処理工Ⅲ (Y)	-5.0箇所
床版排水処理工Ⅲ (Y)	-24.0m

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図(8)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（9）

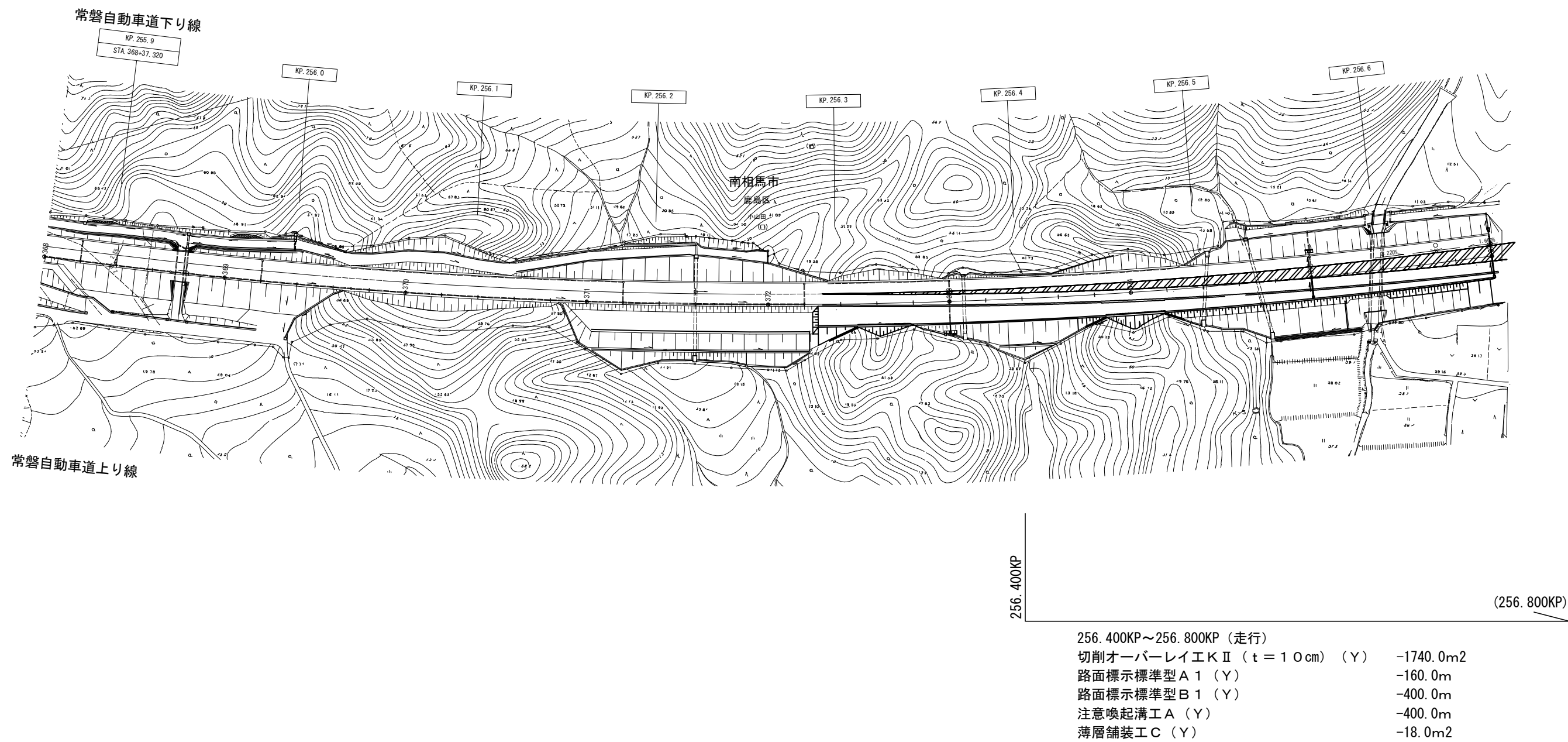


- 246.111KP~246.166KP 笹部川橋（下り）（走行）
- オーバーレイエ K II (t = 4 cm) (Y) -261.1m2
 - レベリングエ F B 1 3 (Y) -21.7 t
 - 床版防水エ C 1 (笹部川橋) (Y) -261.1m2
 - 路面切削工 A (Y) -19.6m3
 - 路面標示標準型 A 1 (Y) -55.0m
 - 路面標示標準型 A 2 (Y) -55.0m
 - 路面標示標準型 B 1 (Y) -55.0m
 - 注意喚起溝工 A (Y) -110.0m
 - 床版排水処理工 A (Y) -1.0箇所
 - 床版排水処理工 B (Y) -3.0m
 - 車線分離標撤去 A (Y) -5.0基
 - 車線分離標撤去 B (Y) -22.0基
 - 車線分離標ポール (H=650mm) (Y) -5.0基
 - 車線分離標縁石 (Y) -22.0基

- 246.111KP~246.166KP 笹部川橋（上り）（走行）
- オーバーレイエ K II (t = 4 cm) (Y) -288.8m2
 - レベリングエ F B 1 3 (Y) -24.0 t
 - 床版防水エ C 1 (笹部川橋) (Y) -288.8m2
 - 路面切削工 A (Y) -21.7m3
 - 路面標示標準型 A 1 (Y) -55.0m
 - 路面標示標準型 A 2 (Y) -55.0m
 - 路面標示標準型 B 1 (Y) -55.0m
 - 注意喚起溝工 A (Y) -110.0m

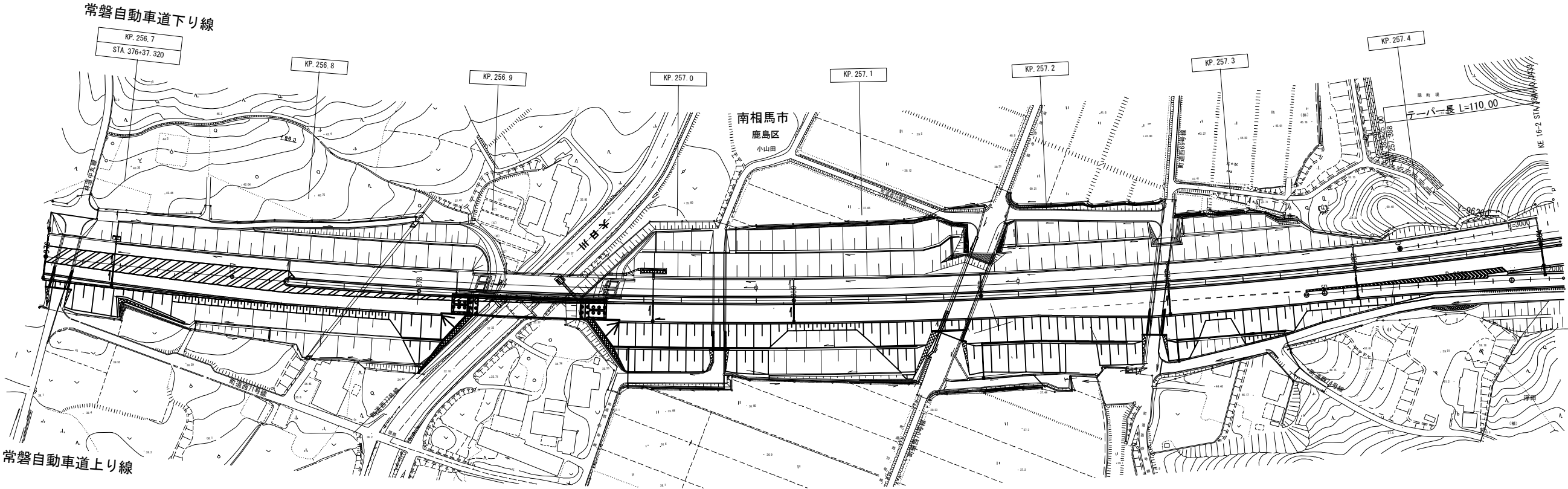
常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（9）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管 理 事 務 所		

平面図（10）



常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（10）		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管 理 事 務 所		

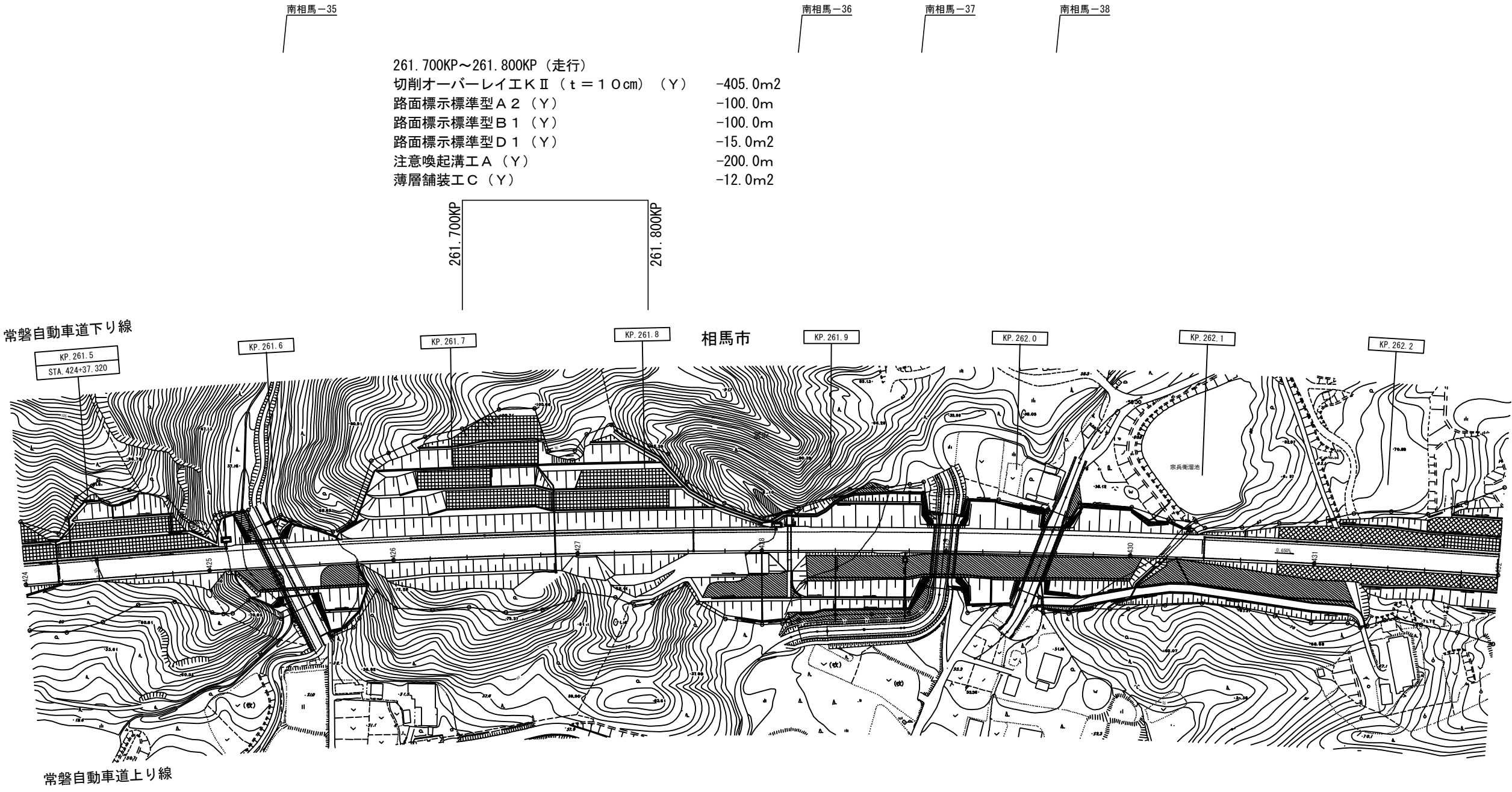
平面図（11）



(256.400KP)	256.800KP
(256.400KP～256.800KP（走行））	
（切削オーバーレイ工Ⅱ（ $t=10\text{cm}$ ）（Y）	-1740.0m ²
（路面標示標準型A1（Y）	-160.0m
（路面標示標準型B1（Y）	-400.0m
（注意喚起溝工A（Y）	-400.0m
（薄層舗装工C（Y）	-18.0m ²

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（11）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（12）

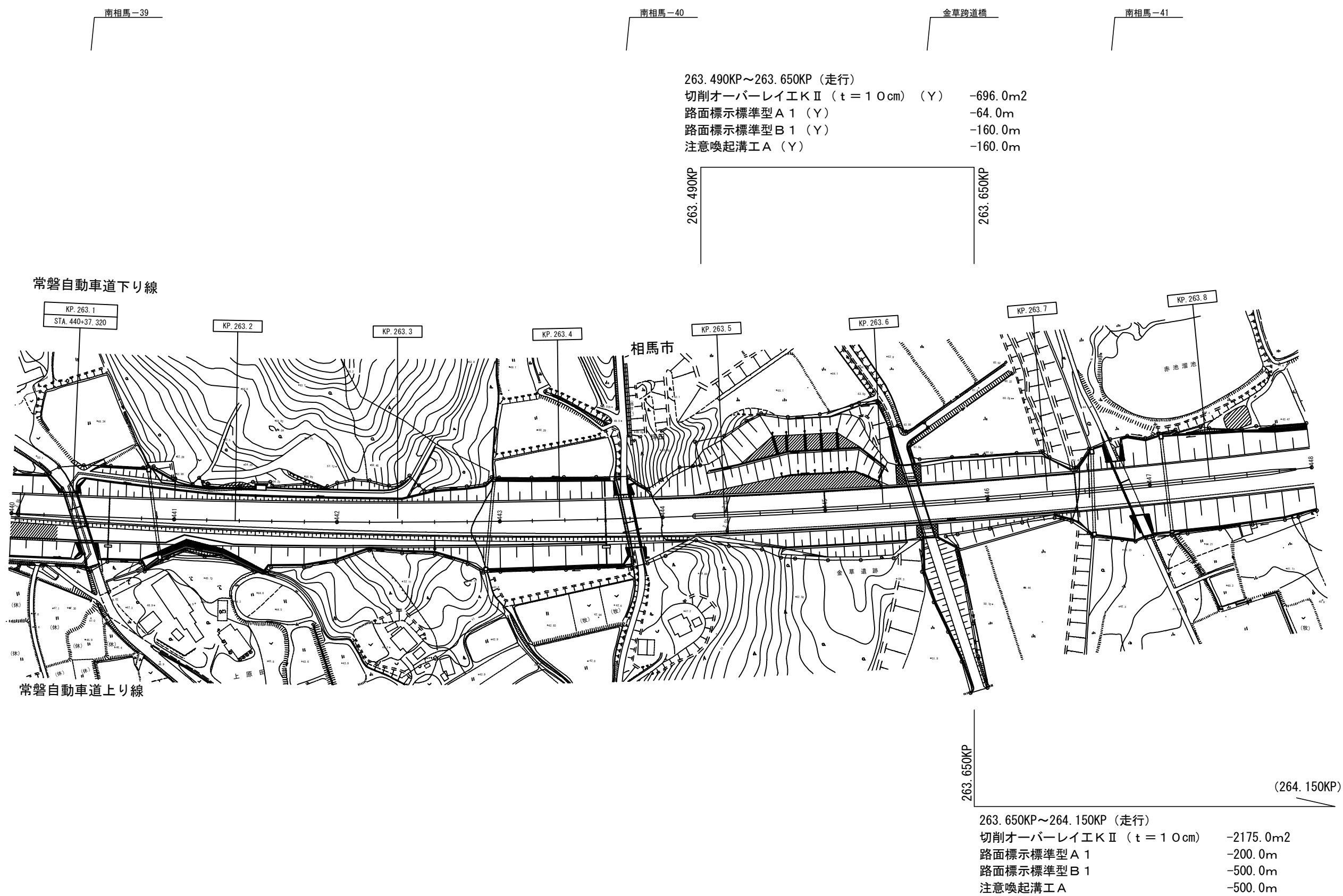


261.700KP～261.800KP（走行）
切削オーバーレイ工Ⅱ（ $t = 10\text{cm}$ ）（Y） -405.0m²
路面標示標準型A2（Y） -100.0m
路面標示標準型B1（Y） -100.0m
路面標示標準型D1（Y） -15.0m²
注意喚起溝工A（Y） -200.0m
薄層舗装工C（Y） -12.0m²

261.700KP～261.800KP（走行）
切削オーバーレイ工Ⅱ（ $t = 10\text{cm}$ ）（Y） -435.0m²
路面標示標準型A2（Y） -100.0m
路面標示標準型B1（Y） -100.0m
路面標示標準型D1（Y） -15.0m²
注意喚起溝工A（Y） -200.0m

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（12）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（13）



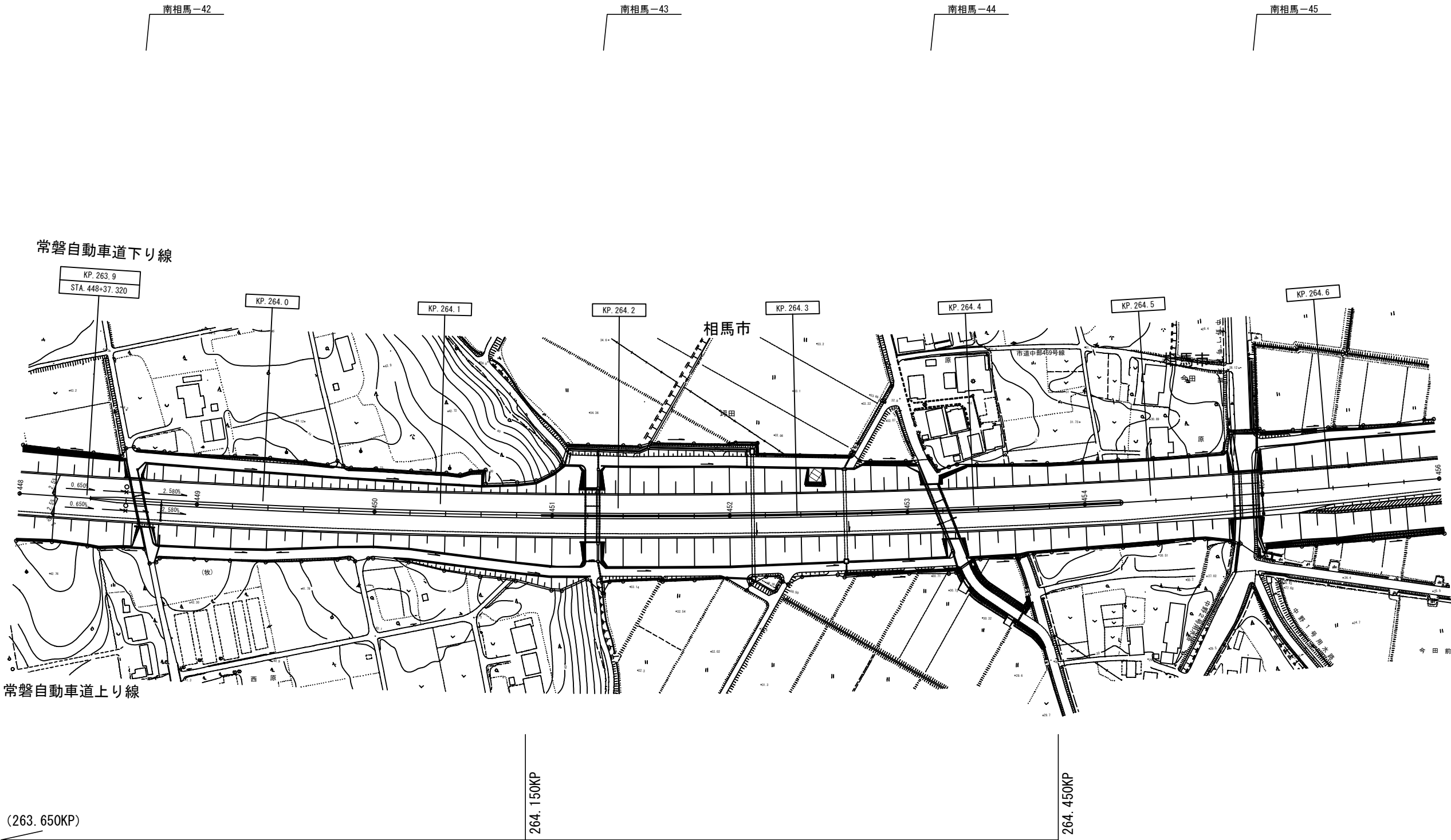
263.490KP～263.650KP（走行）
切削オーバーレイエ K II（t = 10cm）（Y） -696.0m2
路面標示標準型 A 1（Y） -64.0m
路面標示標準型 B 1（Y） -160.0m
注意喚起溝工 A（Y） -160.0m

263.490KP
263.650KP

263.650KP
(264.150KP)

263.650KP～264.150KP（走行）
切削オーバーレイエ K II（t = 10cm） -2175.0m2
路面標示標準型 A 1 -200.0m
路面標示標準型 B 1 -500.0m
注意喚起溝工 A -500.0m

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（13）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

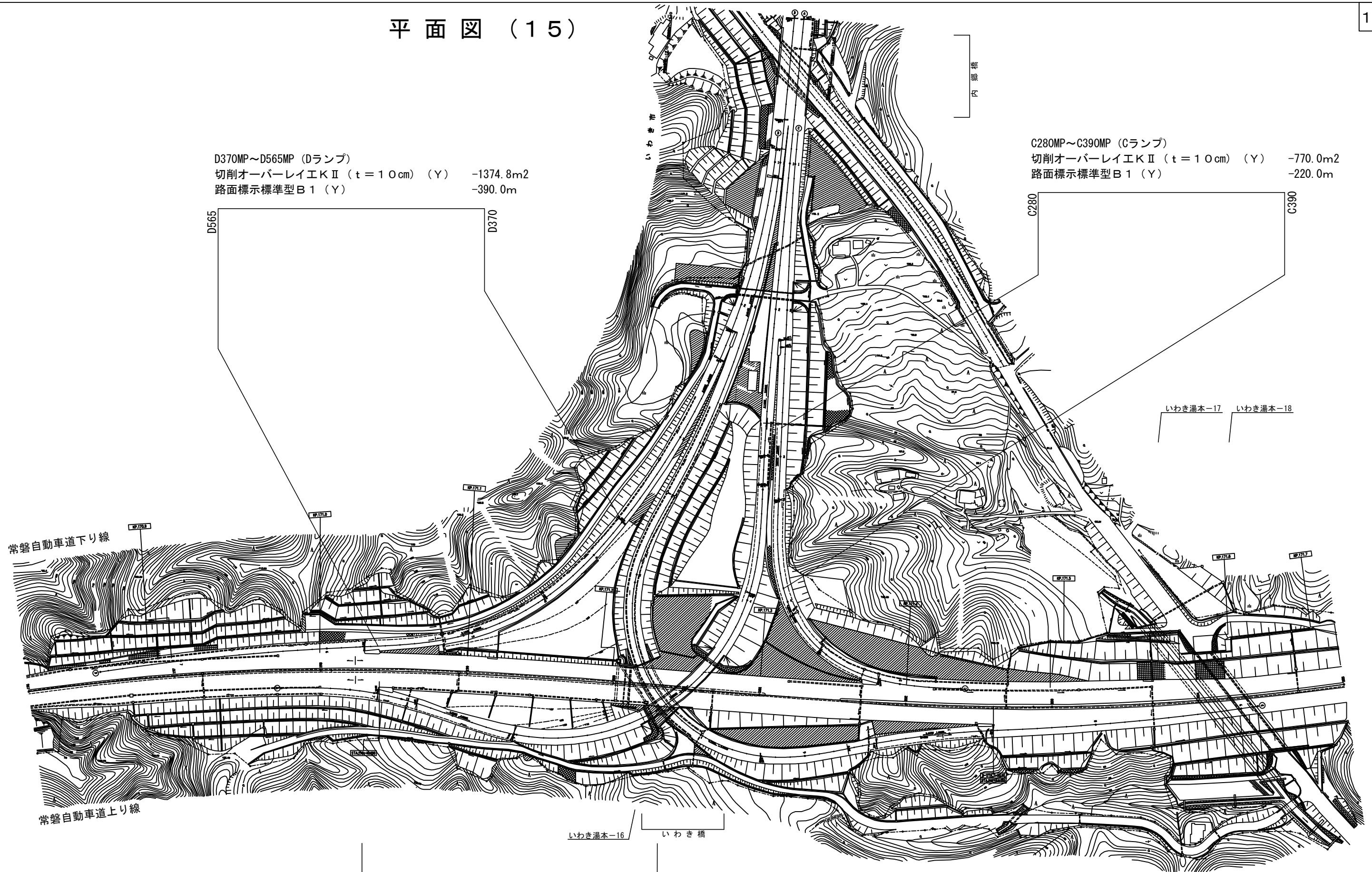


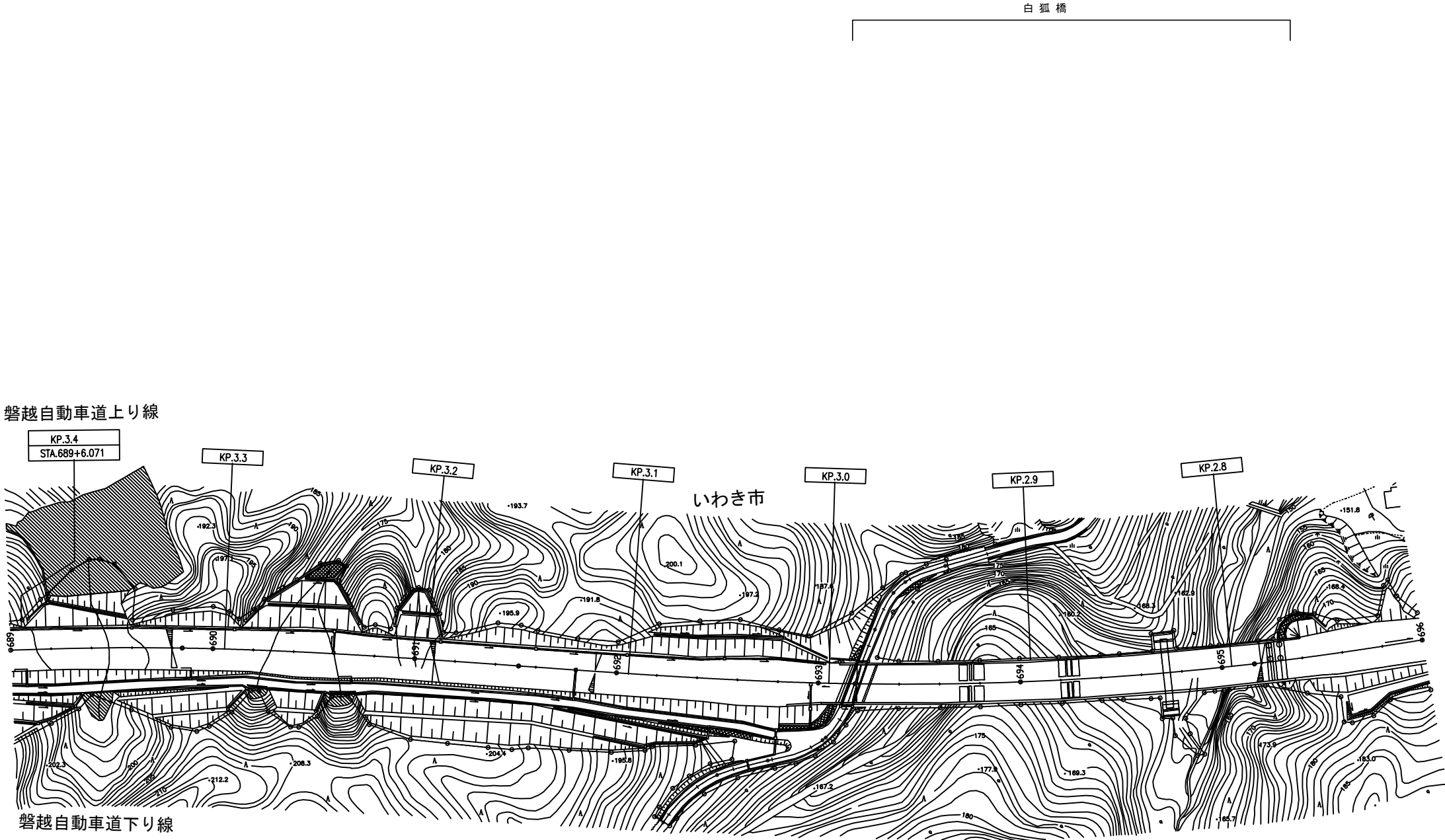
(263. 650KP)

(263. 650KP～264. 150KP (走行))
(切削オーバーレイエ K II (t = 1 0 cm) -2175. 0m2)
(路面標示標準型 A 1 -200. 0m)
(路面標示標準型 B 1 -500. 0m)
(注意喚起溝工 A -500. 0m)

264. 150KP～264. 450KP (走行)
切削オーバーレイエ K II (t = 1 0 cm) (Y) -1305. 0m2
路面標示標準型 A 1 (Y) -120. 0m
路面標示標準型 B 1 (Y) -300. 0m
注意喚起溝工 A (Y) -300. 0m

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（14）		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		



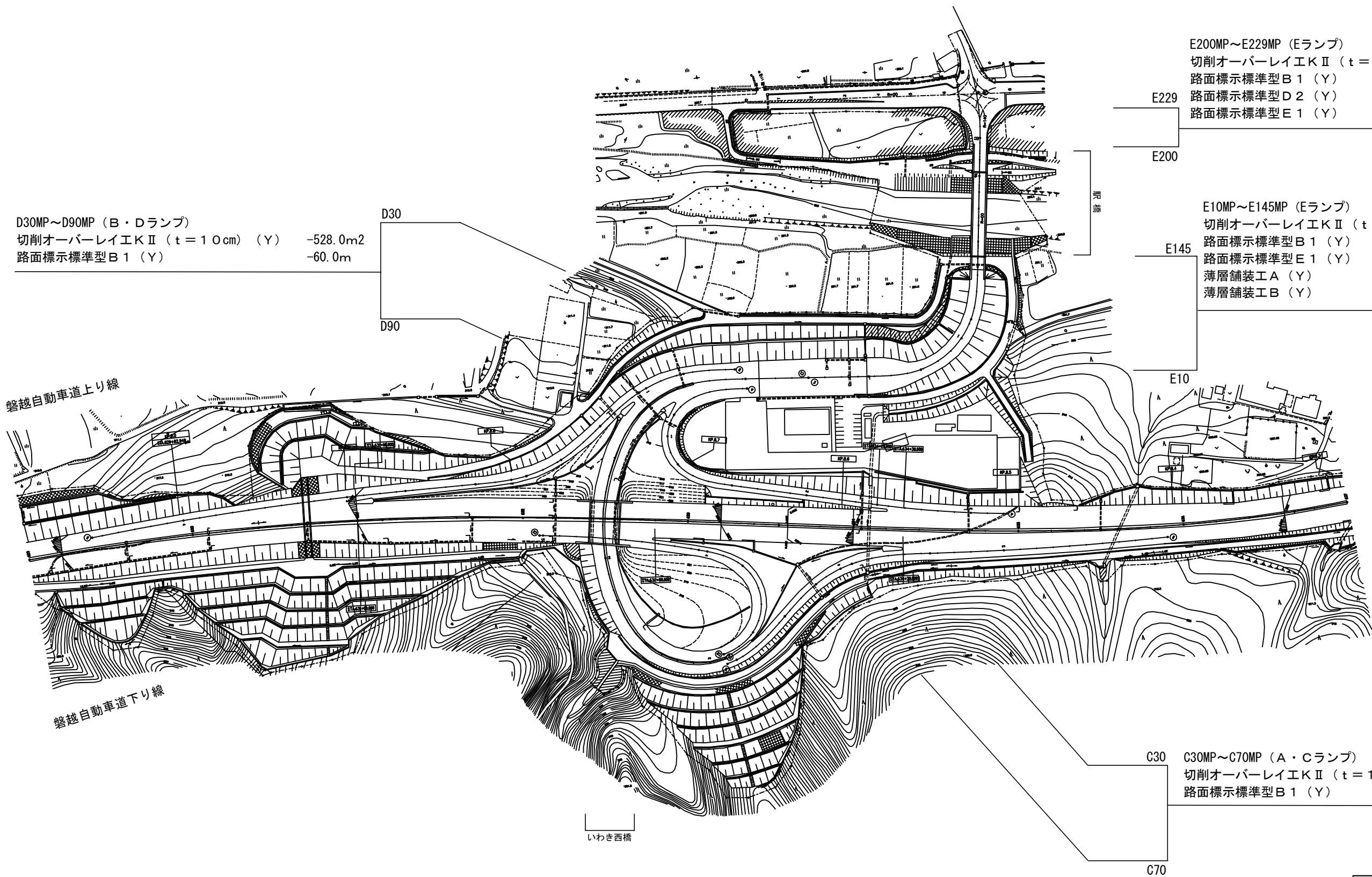


2. 980KP
2. 781KP

2. 781KP～2. 980KP 白狐橋（下り）（走行）
切削オーバーレイ工Ⅱ（ $t = 4\text{ cm}$ ）
路面標示標準型A 1
路面標示標準型B 1
注意喚起溝工A

-895.5m2
-79.6m
-199.0m
-199.0m

平面図（17）



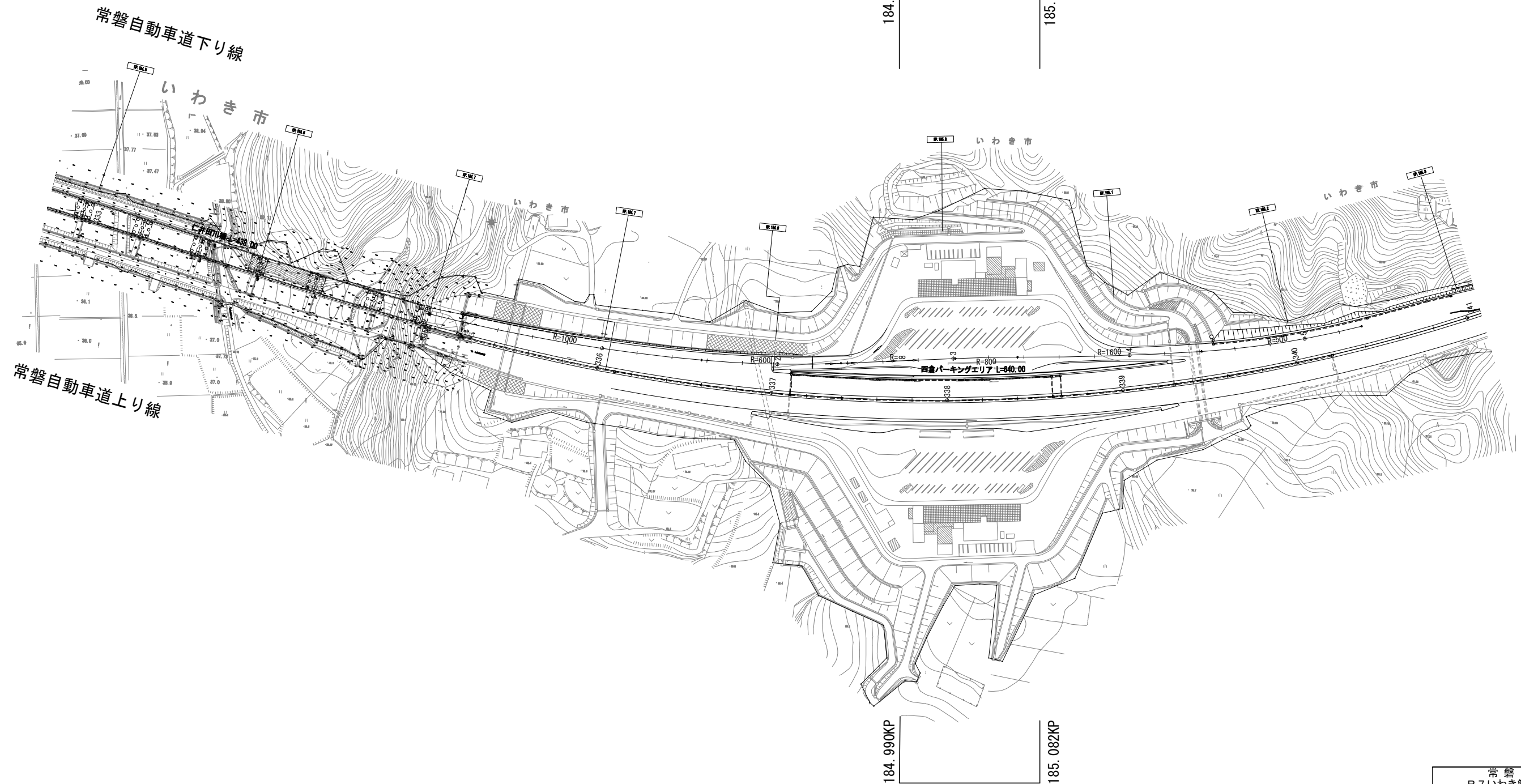
※ランプ部面積：変化点があるため、面積はCAD求積値

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（17）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

仁井田川橋

184.990KP～185.082KP（PA）
 切削オーバーレイEP（ $t = 10\text{cm}$ ） -977.0m²
 路面標示標準型A1 -643.6m
 セメントミルク注入工A -977.0m²

184.990KP
 185.082KP



184.990KP～185.082KP（PA）
 切削オーバーレイEP（ $t = 10\text{cm}$ ） -958.2m²
 路面標示標準型A1 -639.3m
 セメントミルク注入工A -958.2m²

184.990KP
 185.082KP

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（18）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（19）

- 203.724KP～206.048KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）

-2330.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）

-6.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）

-8.0基
- 車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）

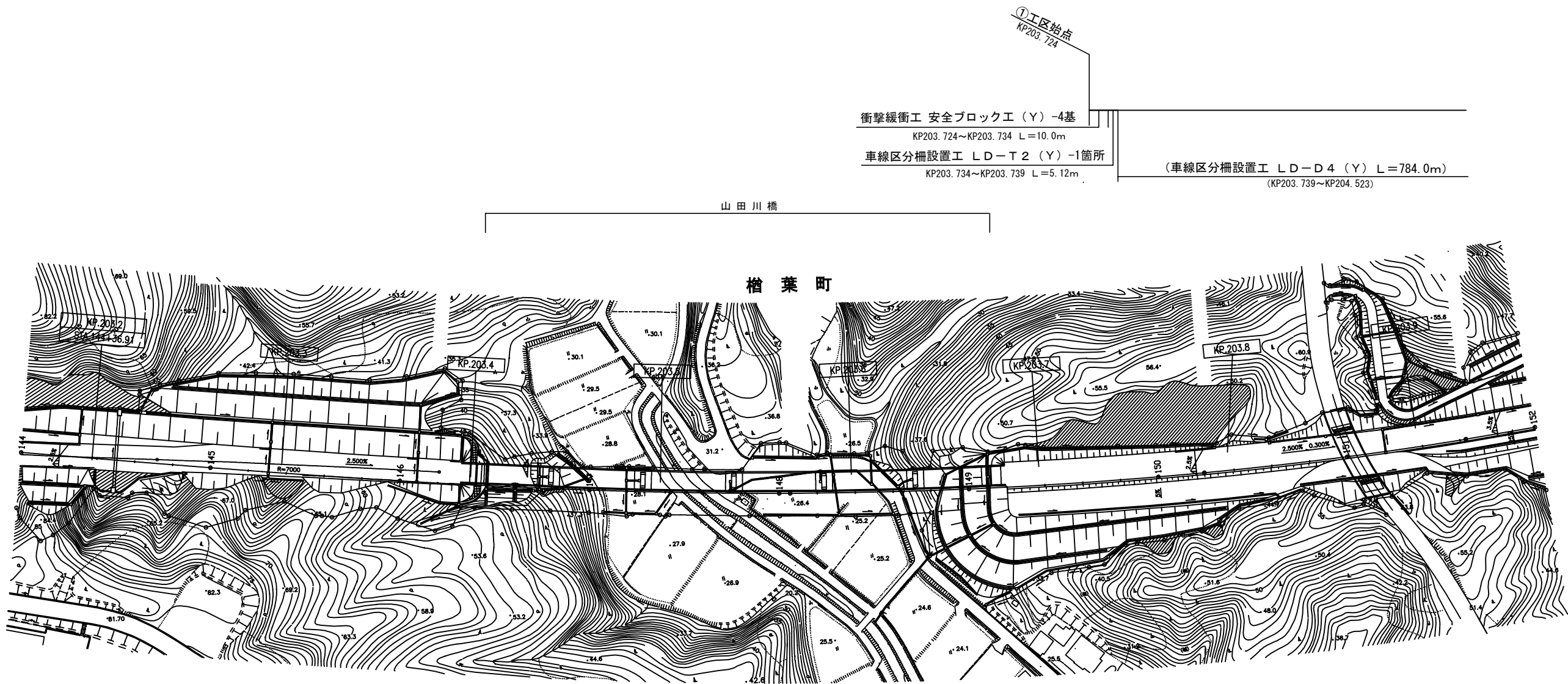
-2.0基
- 視線誘導標D1（Y）

-57.0基
- 車線分離標撤去A（Y）

-233.0基
- 車線分離標撤去B（Y）

-932.0基
- 路面標示標準型D1（Y）

-697.2m2



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（19）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（20）

- (203.724KP～206.048KP（中分））
- (車線区分柵設置工LD-D4（Y） -2330.0m)
- (車線区分柵設置工LD-T2（Y） -6.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基)
- (車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y） -2.0基)
- (視線誘導標D1（Y） -57.0基)
- (車線分離標撤去A（Y） -233.0基)
- (車線分離標撤去B（Y） -932.0基)
- (路面標示標準型D1（Y） -697.2m2)

広野-3

非常回転場等開口部
L＝56.0m
KP204.095～KP204.151

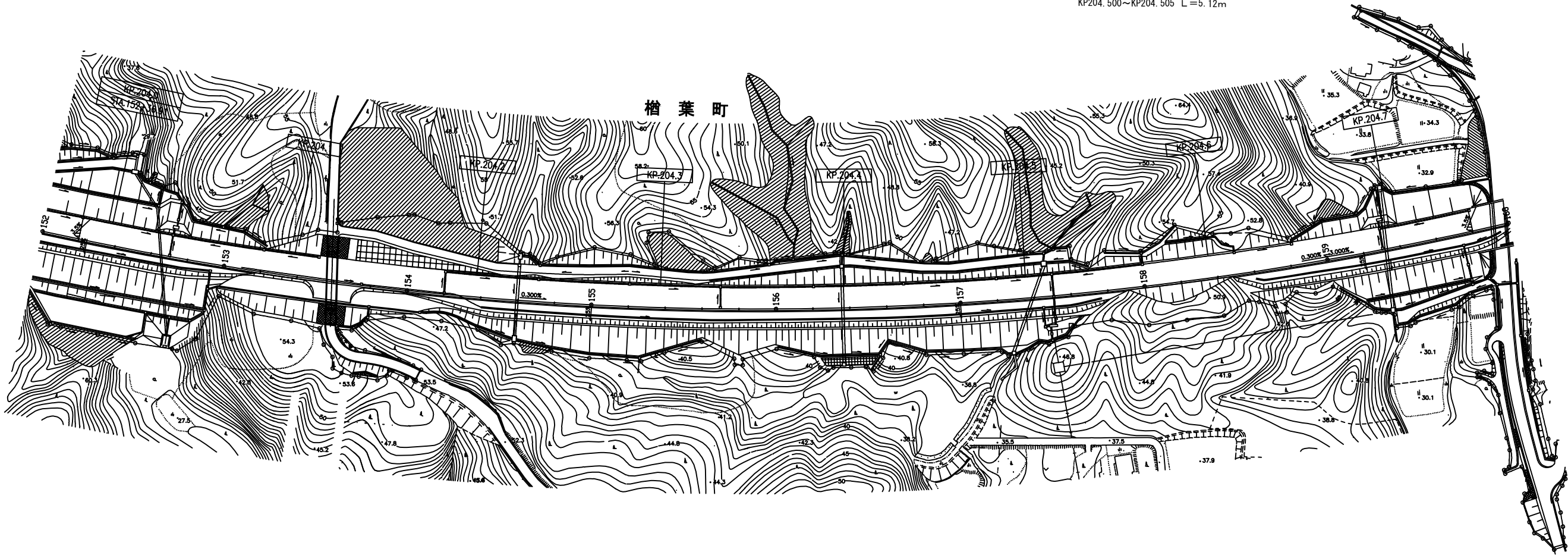
車線区分柵設置工 LD-D4（Y） L＝784.0m
KP203.739～KP204.523

車線区分柵設置工 LD-T2（Y） -1箇所
KP204.523～KP204.528 L＝5.12m

車線区分柵設置工 LD-D4（Y） L＝779.0m
KP204.505～KP205.284

LD-D4 4スパンラップ L＝16.0m

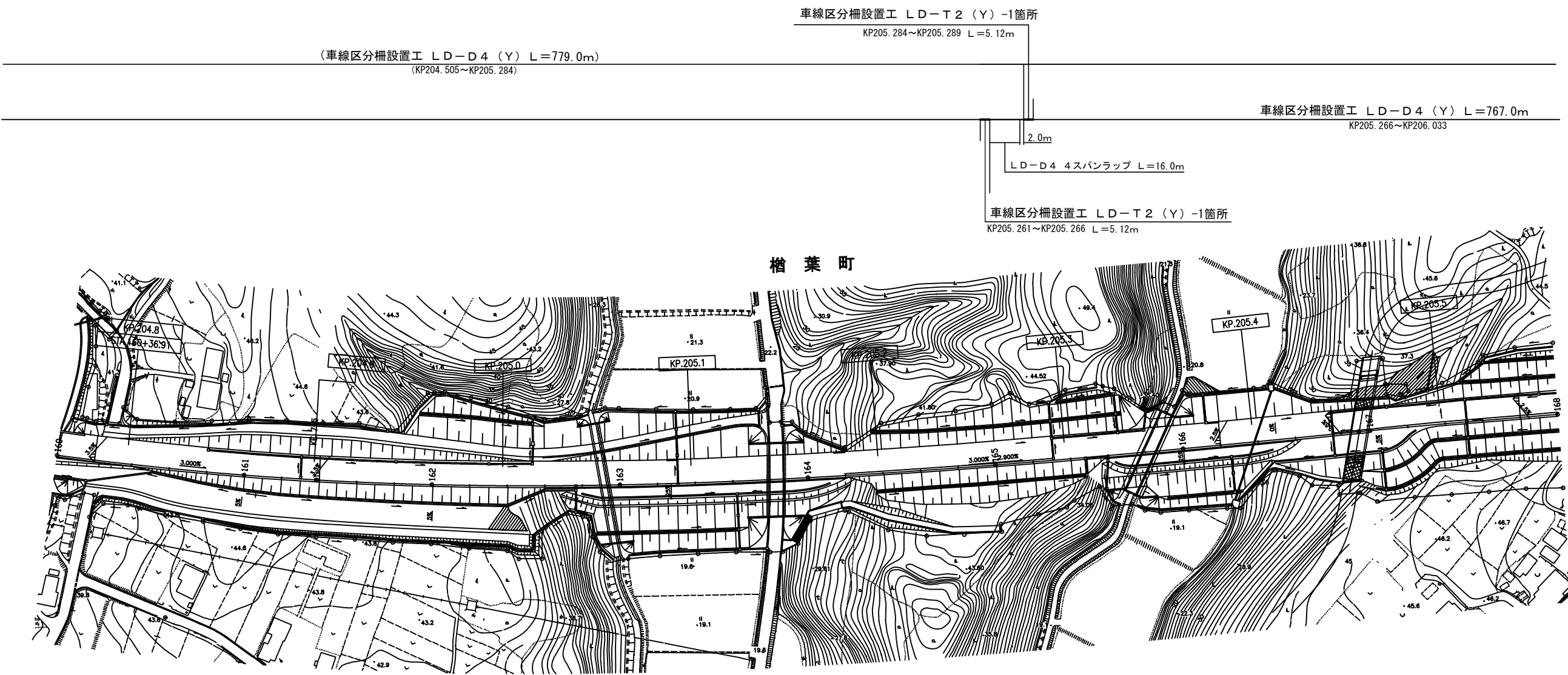
車線区分柵設置工 LD-T2（Y） -1箇所
KP204.500～KP204.505 L＝5.12m



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（20）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（21）

- (203.724KP～206.048KP（中分）)
- (車線区分柵区分工LD-D4（Y） -2330.0m)
- (車線区分柵区分工LD-T2（Y） -6.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基)
- (車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y） -2.0基)
- (視線誘導標D1（Y） -57.0基)
- (車線分離標撤去A（Y） -233.0基)
- (車線分離標撤去B（Y） -932.0基)
- (路面標示標準型D1（Y） -697.2m2)



広野-4

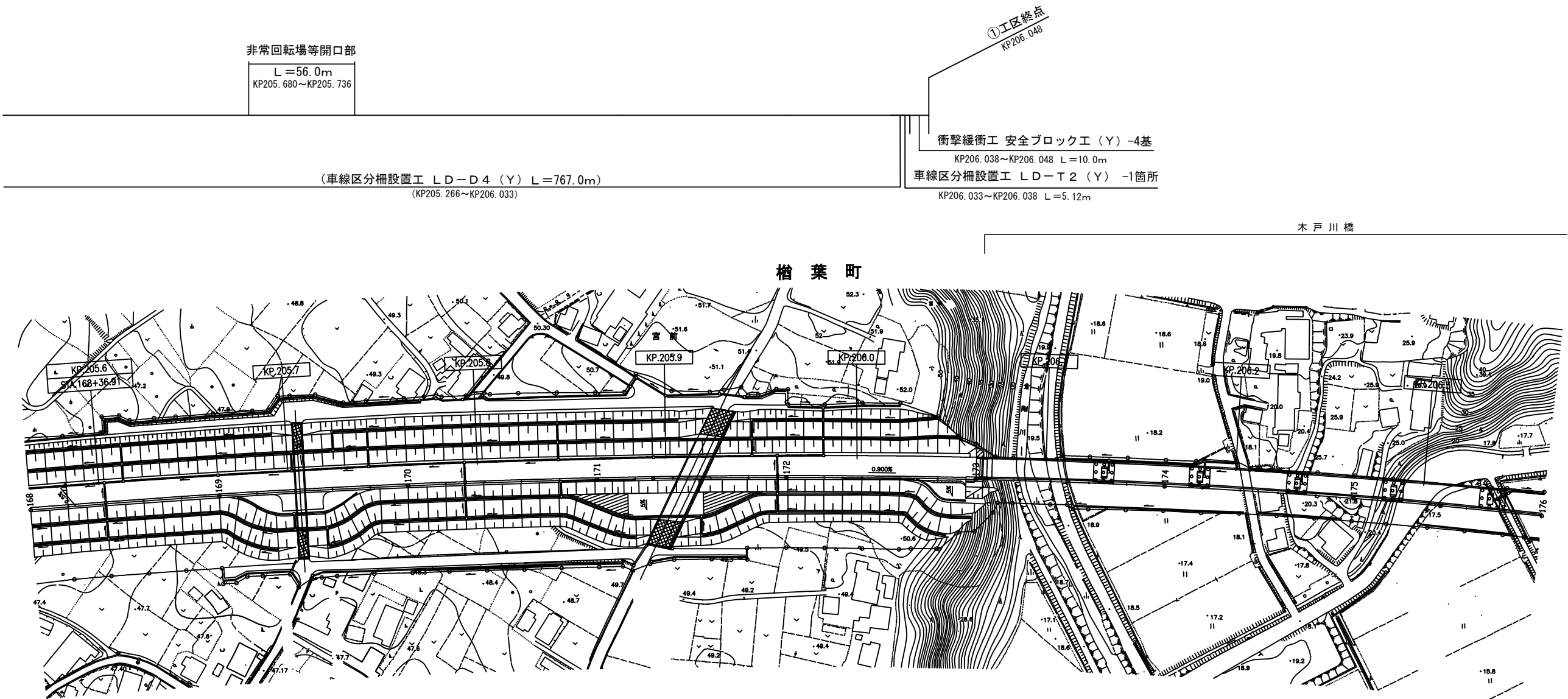
広野-5

広野-6

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（21）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（22）

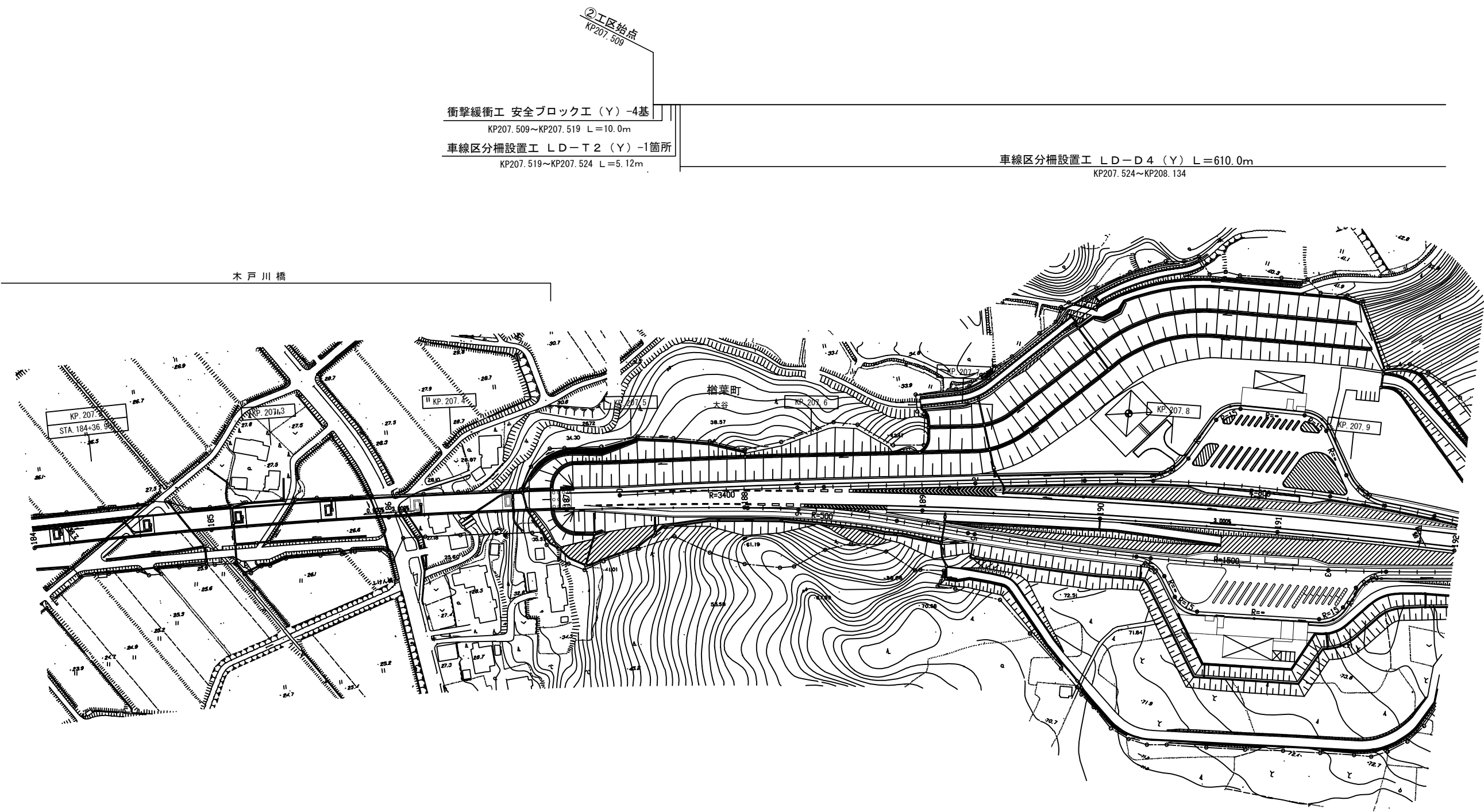
- (203.724KP~206.048KP (中分))
- (車線区分柵設置工LD-D4 (Y) -2330.0m)
- (車線区分柵設置工LD-T2 (Y) -6.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工 (Y) -8.0基)
- (車線分離標ポール (H=1500mm) (Y) -2.0基)
- (視線誘導標D1 (Y) -57.0基)
- (車線分離標撤去A (Y) -233.0基)
- (車線分離標撤去B (Y) -932.0基)
- (路面標示標準型D1 (Y) -697.2m2)



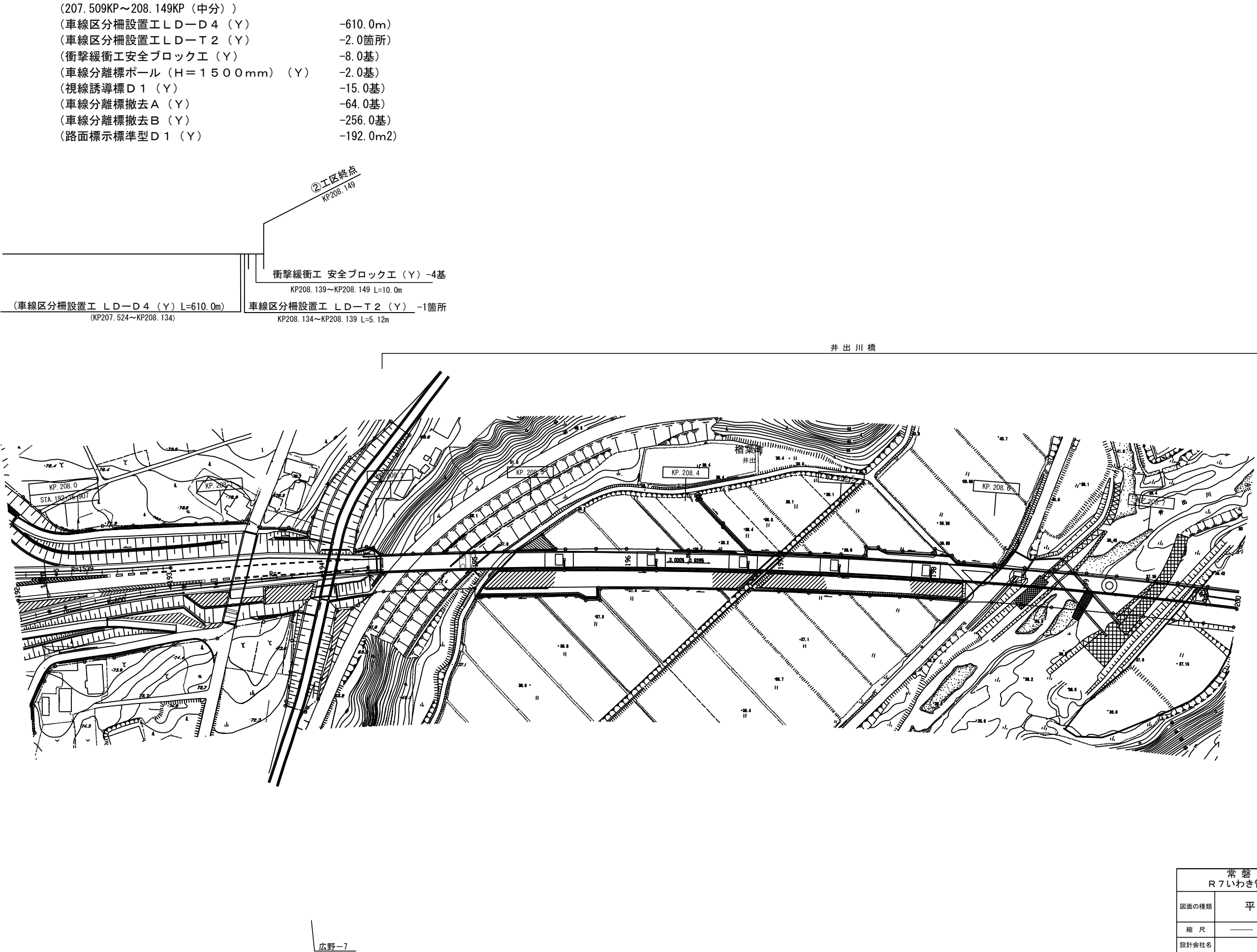
常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（22）		
縮 尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（23）

- 207.509KP～208.149KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）-610.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-8.0基
- 車線分離標ポール(H=1500mm)（Y）-2.0基
- 視線誘導標D1（Y）-15.0基
- 車線分離標撤去A（Y）-64.0基
- 車線分離標撤去B（Y）-256.0基
- 路面標示標準型D1（Y）-192.0m2

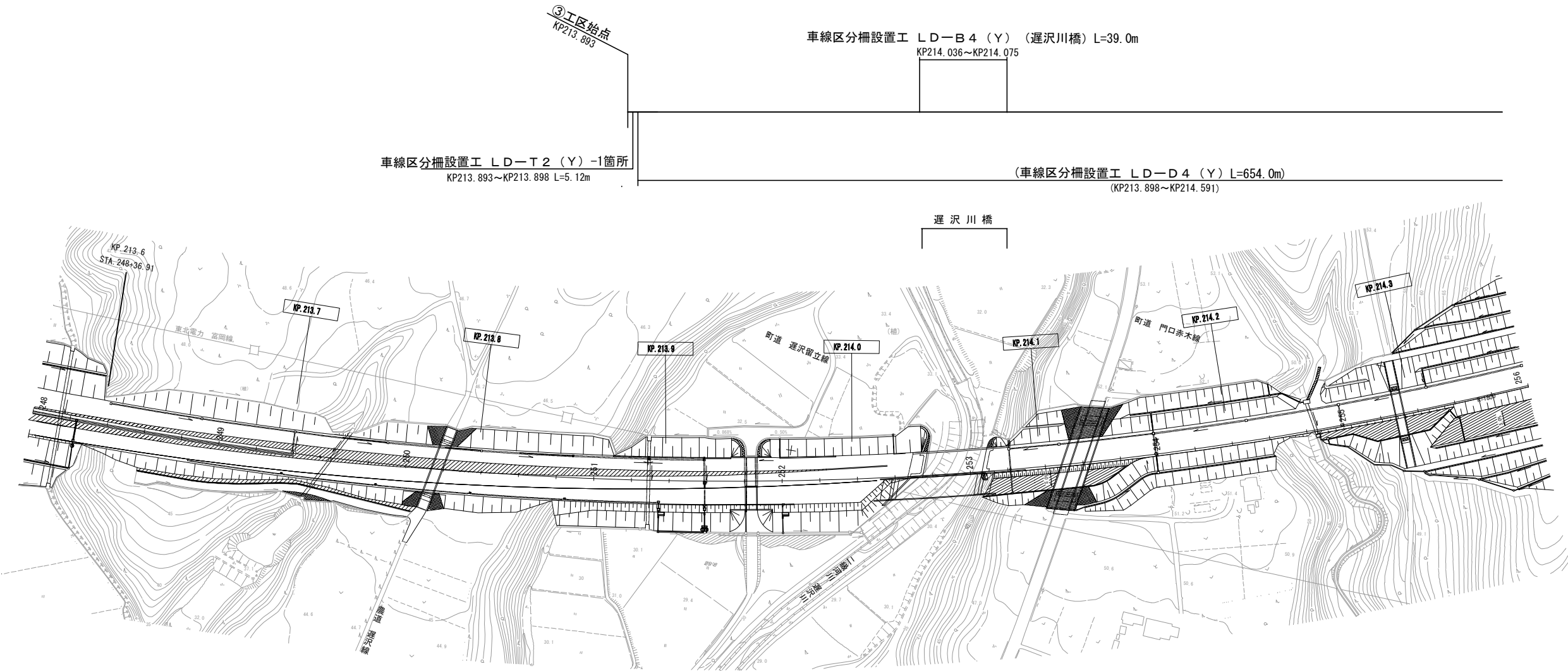


平面図（24）



平面図（25）

213.893KP～215.987KP（中分）		214.036KP～214.075KP（遅沢川橋）（中分）	
車線区分柵設置工LD-D4（Y）	-2066.0m	車線区分柵設置工LD-B4（Y）	-39.0m
車線区分柵設置工LD-T2（Y）	-6.0箇所	基礎コンクリート（Y）	-0.179m3
衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）	-4.0基		
車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）	-1.0基		
視線誘導標D1（Y）	-51.0基		
車線分離標撤去A（Y）	-208.0基		
車線分離標撤去B（Y）	-831.0基		
路面標示標準型D1（Y）	-585.3m2		



広野-12

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（25）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（26）

- (213.893KP～215.987KP（中分））

(車線区分柵設置工LD-D4（Y）

(車線区分柵設置工LD-T2（Y）

(衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）

(車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）

(視線誘導標D1（Y）

(車線分離標撤去A（Y）

(車線分離標撤去B（Y）

(路面標示標準型D1（Y）

-2066.0m)

-6.0箇所)

-4.0基)

-1.0基)

-51.0基)

-208.0基)

-831.0基)

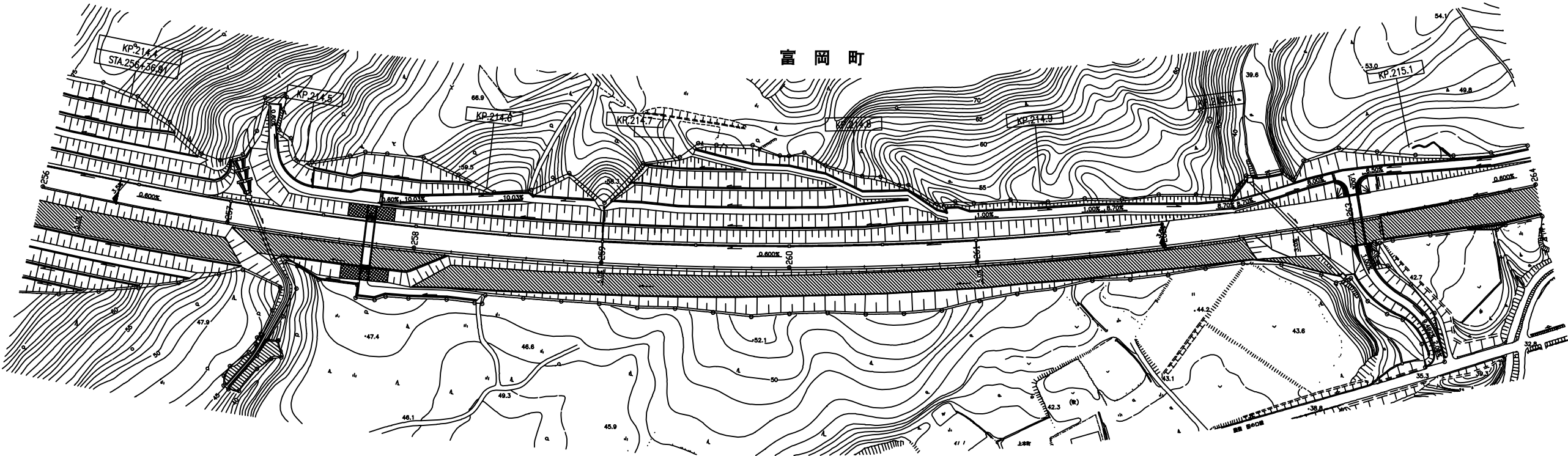
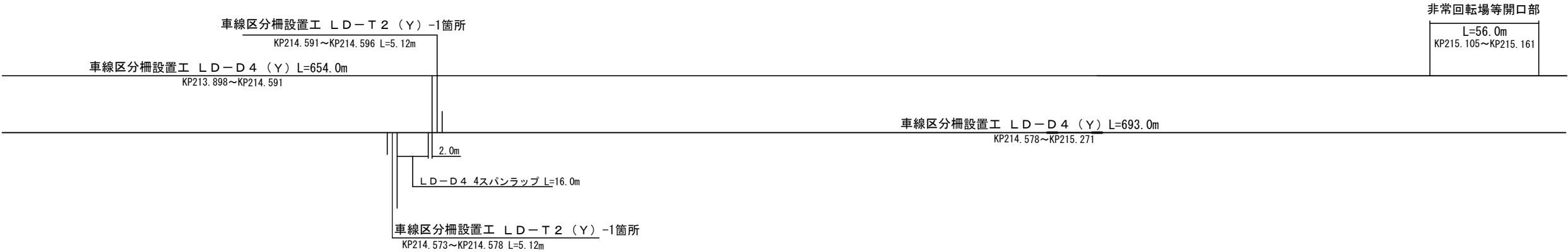
-585.3m2)
- (214.036KP～214.075KP（遅沢川橋）（中分））

(車線区分柵設置工LD-B4（Y）

(基礎コンクリート（Y）

-39.0m)

-0.179m3)



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事		
図面の種類	平面図（26）	
縮尺	——	図面番号 ——
設計会社名	——	
施工会社名	——	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所	

平面図（27）

- (213.893KP～215.987KP（中分））

(車線区分柵設置工LD-D4（Y）

(車線区分柵設置工LD-T2（Y）

(衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）

(車線分離標ポール(H=1500mm)（Y）

(視線誘導標D1（Y）

(車線分離標撤去A（Y）

(車線分離標撤去B（Y）

(路面標示標準型D1（Y）

-2066.0m)

-6.0箇所)

-4.0基)

-1.0基)

-51.0基)

-208.0基)

-831.0基)

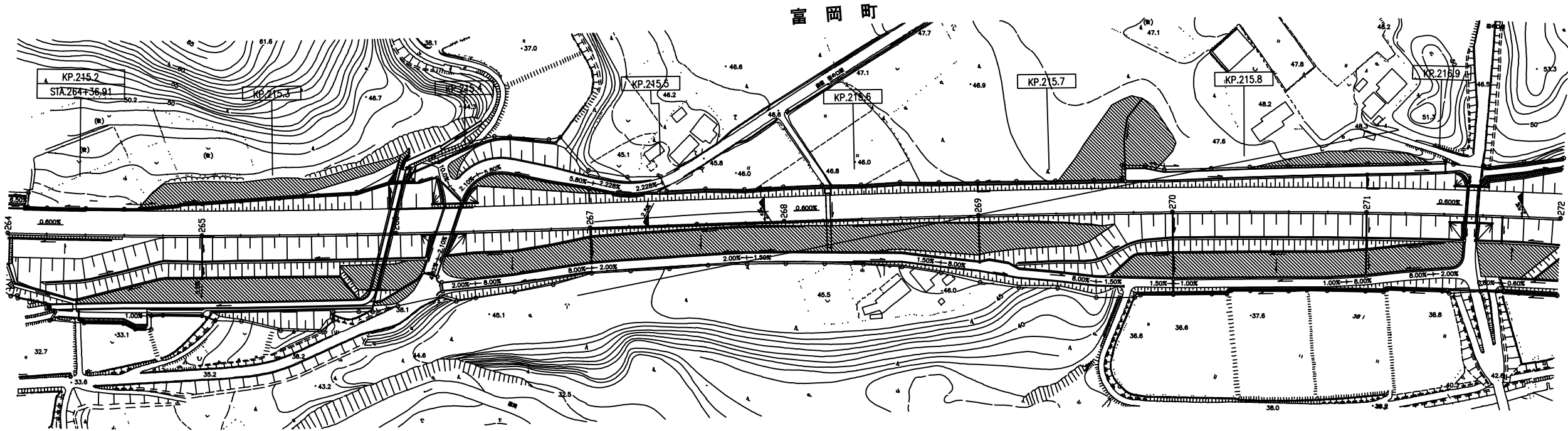
-585.3m2)
- (214.036KP～214.075KP（遅沢川橋）（中分））

(車線区分柵設置工LD-B4（Y）

(基礎コンクリート（Y）

-39.0m)

-0.179m3)



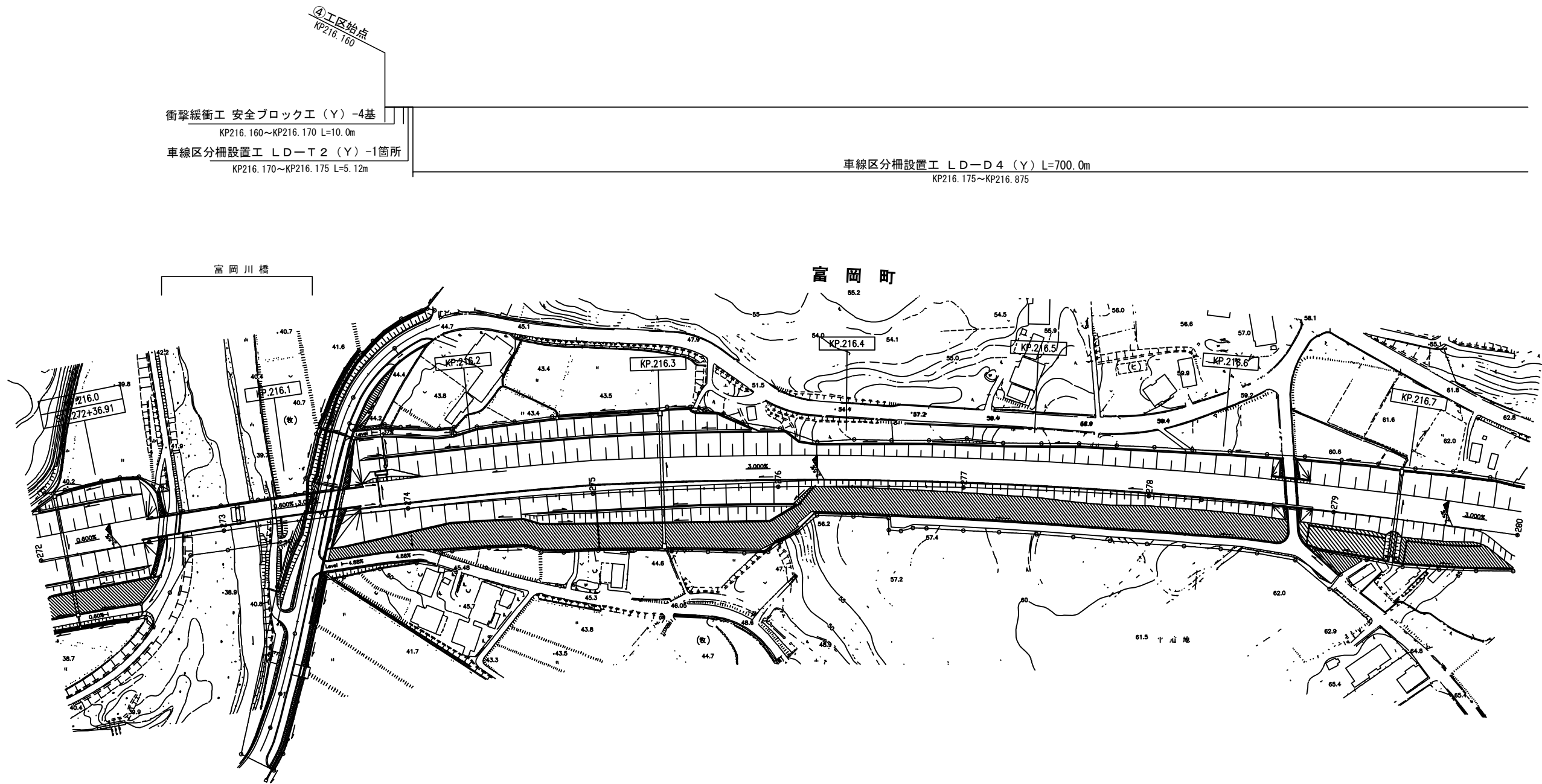
広野-14 | 広野-15

広野-16

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（27）		
縮尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（28）

- 216.160KP～217.491KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y） -1319.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y） -4.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基
- 車線分離標ポール(H=1500mm)（Y） -2.0基
- 視線誘導標D1（Y） -33.0基
- 車線分離標撤去A（Y） -133.0基
- 車線分離標撤去B（Y） -532.0基
- 路面標示標準型D1（Y） -399.3m2

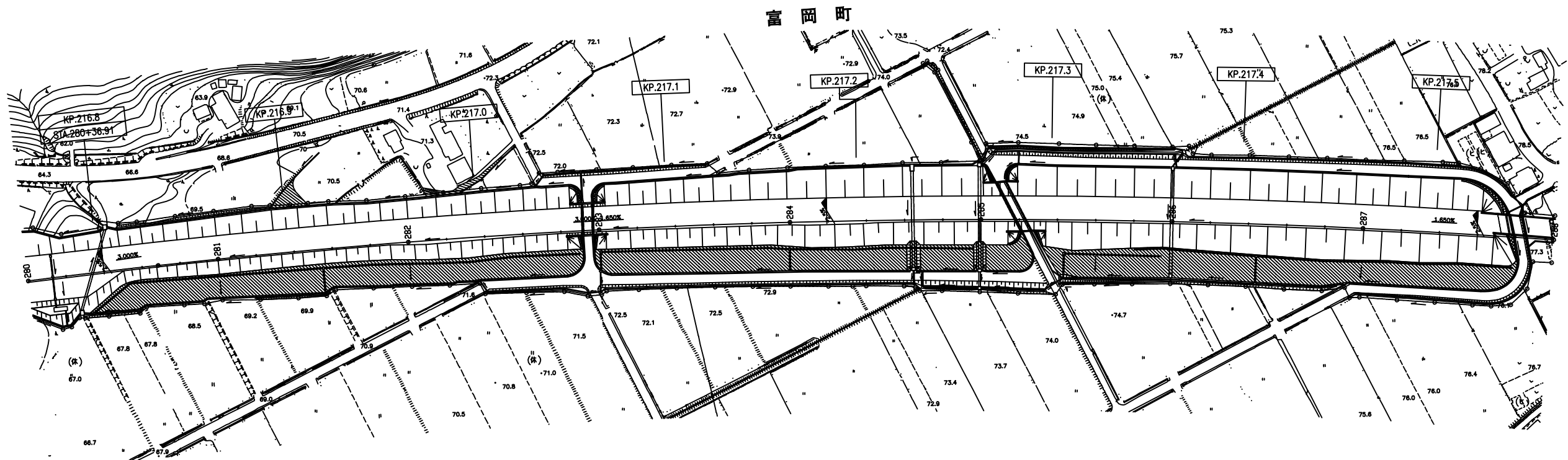


広野-17

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（28）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（29）

- (216.160KP～217.491KP（中分））
- (車線区分柵設置工LD-D4（Y） -1319.0m)
- (車線区分柵設置工LD-T2（Y） -4.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基)
- (車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y） -2.0基)
- (視線誘導標D1（Y） -33.0基)
- (車線分離標撤去A（Y） -133.0基)
- (車線分離標撤去B（Y） -532.0基)
- (路面標示標準型D1（Y） -399.3m2)



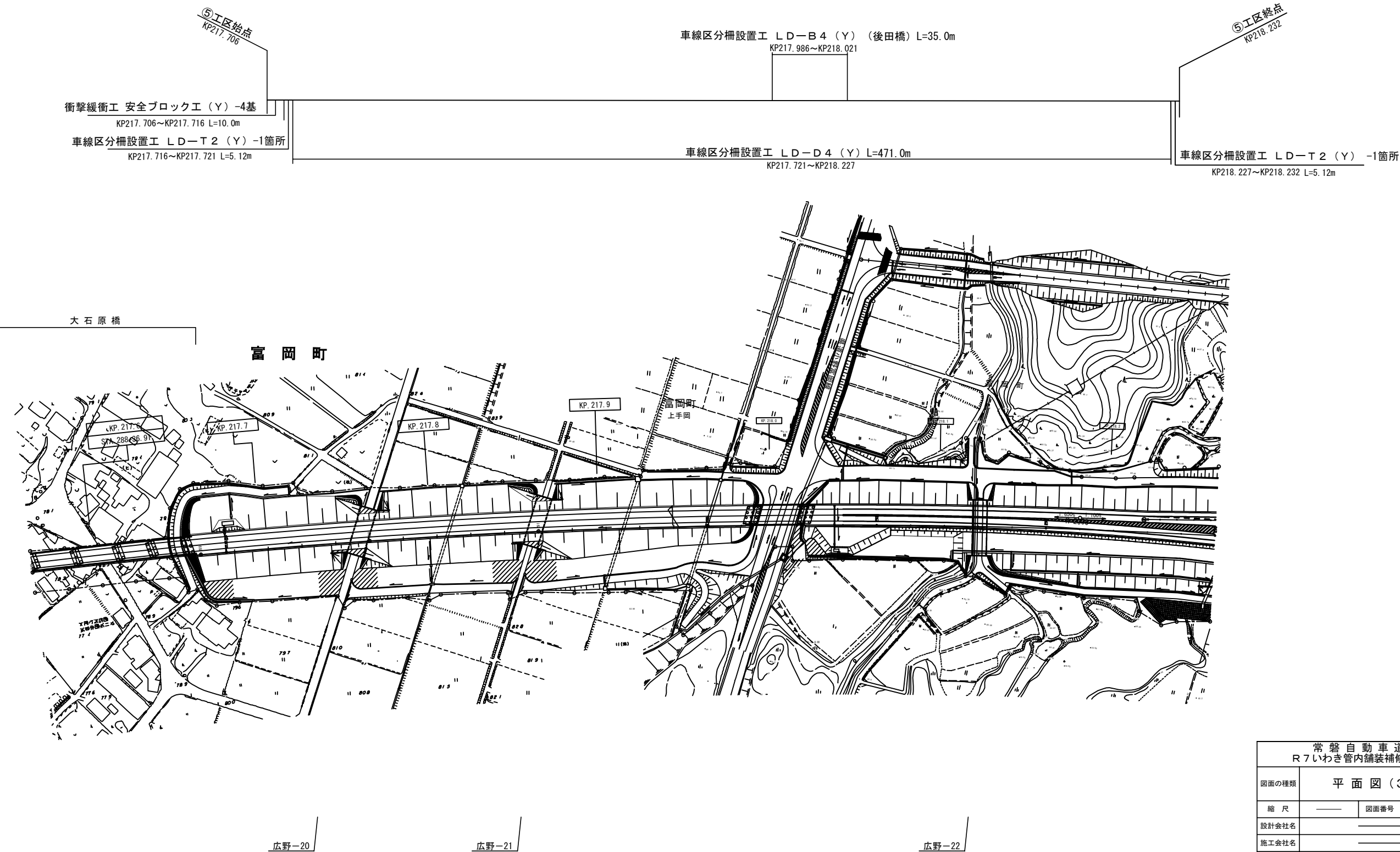
富岡町

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（29）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図(30)

217.706KP~218.232KP (中分)
車線区分柵設置工LD-D4 (Y) -471.0m
車線区分柵設置工LD-T2 (Y) -2.0箇所
衝撃緩衝工安全ブロック工 (Y) -4.0基
車線分離標ポール(H=1500mm) (Y) -1.0基
視線誘導標D1 (Y) -12.0基
車線分離標撤去A (Y) -51.0基
車線分離標撤去B (Y) -204.0基
路面標示標準型D1 (Y) -124.6m2

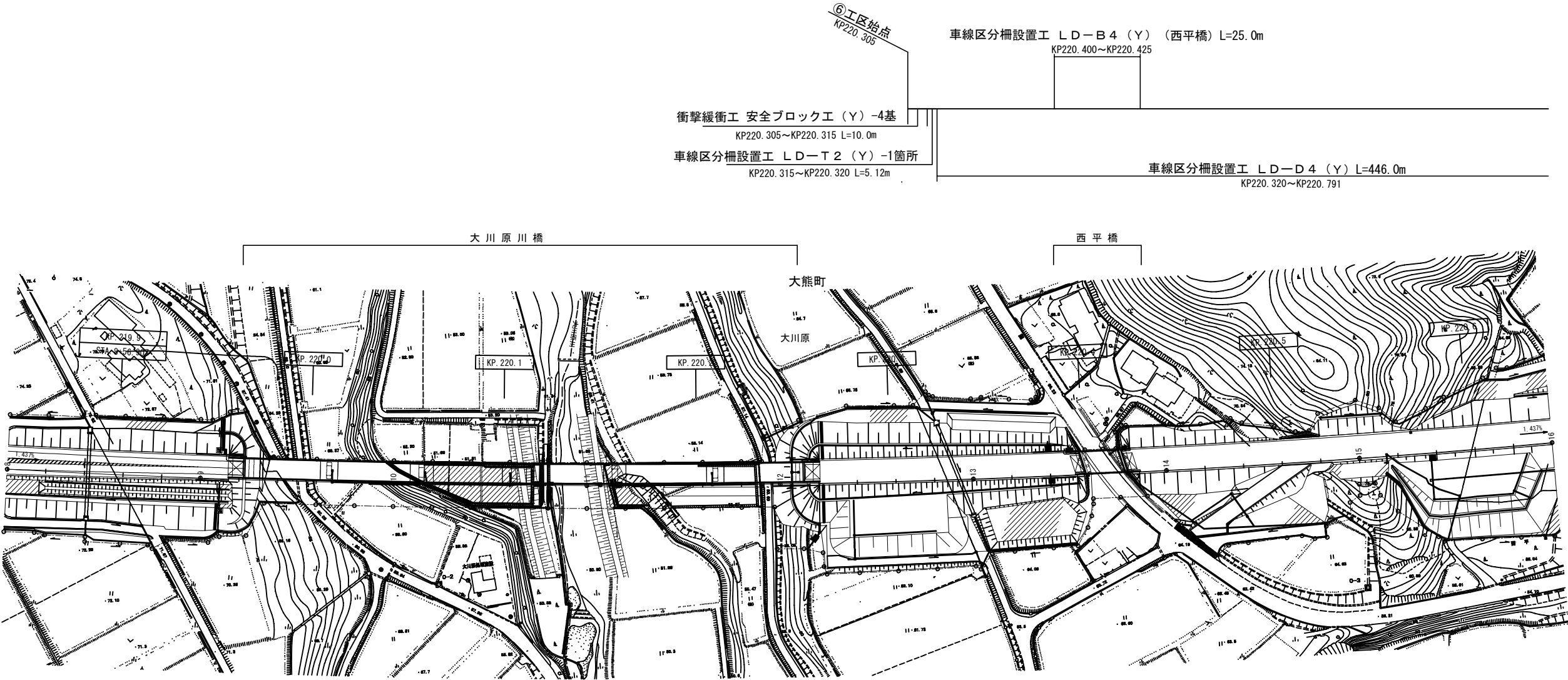
217.986KP~218.021KP (後田橋) (中分)
車線区分柵設置工LD-B4 (Y) -35.0m
基礎コンクリート (Y) -0.167m3



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図(30)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（31）

220.305KP～220.806KP（中分）		220.400KP～220.425KP（西平橋）（中分）	
車線区分柵設置工LD-D4（Y）	-446.0m	車線区分柵設置工LD-B4（Y）	-25.0m
車線区分柵設置工LD-T2（Y）	-2.0箇所	基礎コンクリート（Y）	-0.132m3
衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）	-8.0基		
車線分離標ポール(H＝1500mm）（Y）	-2.0基		
視線誘導標D1（Y）	-11.0基		
車線分離標撤去A（Y）	-50.0基		
車線分離標撤去B（Y）	-200.0基		
路面標示標準型D1（Y）	-150.3m2		

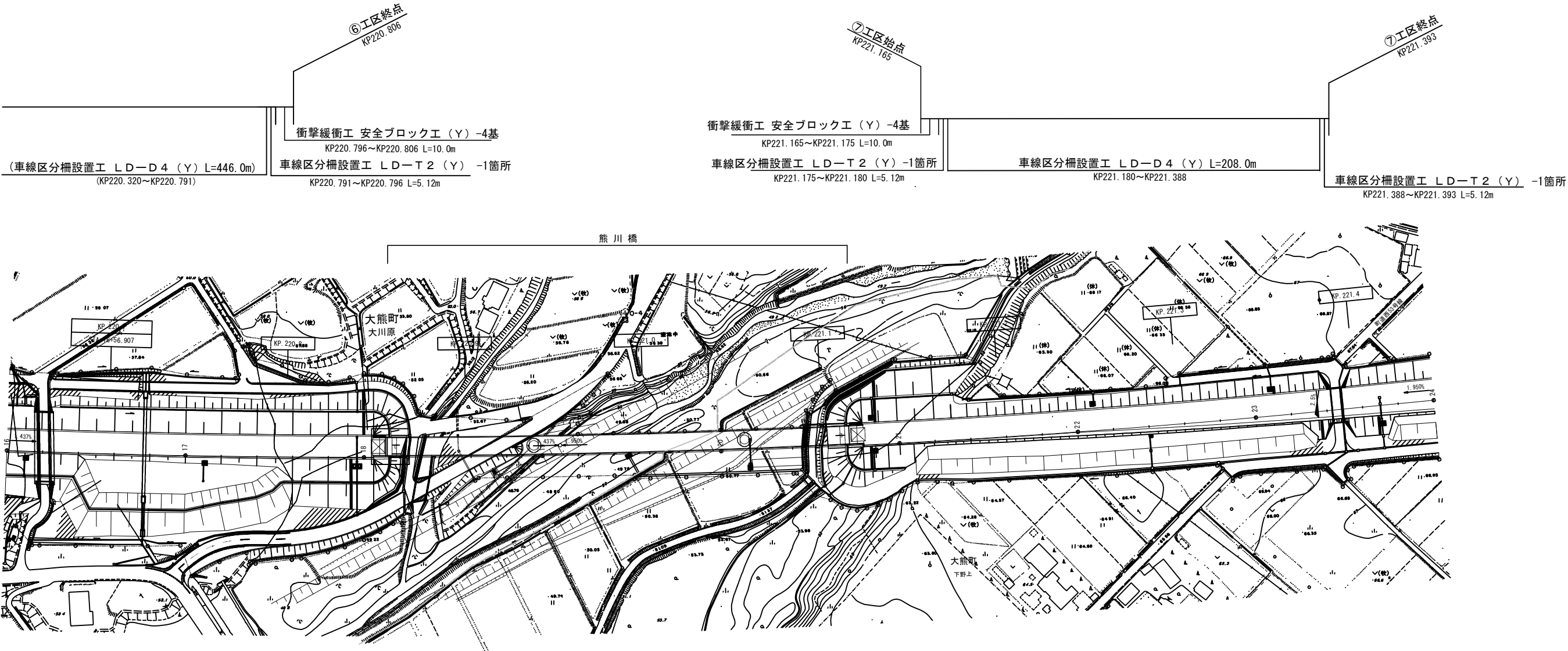


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（31）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

(220.305KP~220.806KP (中分))
(車線区分柵設置工LD-D4 (Y)) -446.0m
(車線区分柵設置工LD-T2 (Y)) -2.0箇所
(衝撃緩衝工安全ブロック工 (Y)) -8.0基
(車線分離標ポール (H=1500mm) (Y)) -2.0基
(視線誘導標D1 (Y)) -11.0基
(車線分離標撤去A (Y)) -50.0基
(車線分離標撤去B (Y)) -200.0基
(路面標示標準型D1 (Y)) -150.3m2

(220.400KP~220.425KP (西平橋) (中分))
(車線区分柵設置工LD-B4 (Y)) -25.0m
(基礎コンクリート (Y)) -0.132m3

221.165KP~221.393KP (中分)
車線区分柵設置工LD-D4 (Y) -208.0m
車線区分柵設置工LD-T2 (Y) -2.0箇所
衝撃緩衝工安全ブロック工 (Y) -4.0基
車線分離標ポール (H=1500mm) (Y) -2.0基
視線誘導標D1 (Y) -5.0基
車線分離標撤去A (Y) -20.0基
車線分離標撤去B (Y) -78.0基
路面標示標準型D1 (Y) -36.2m2



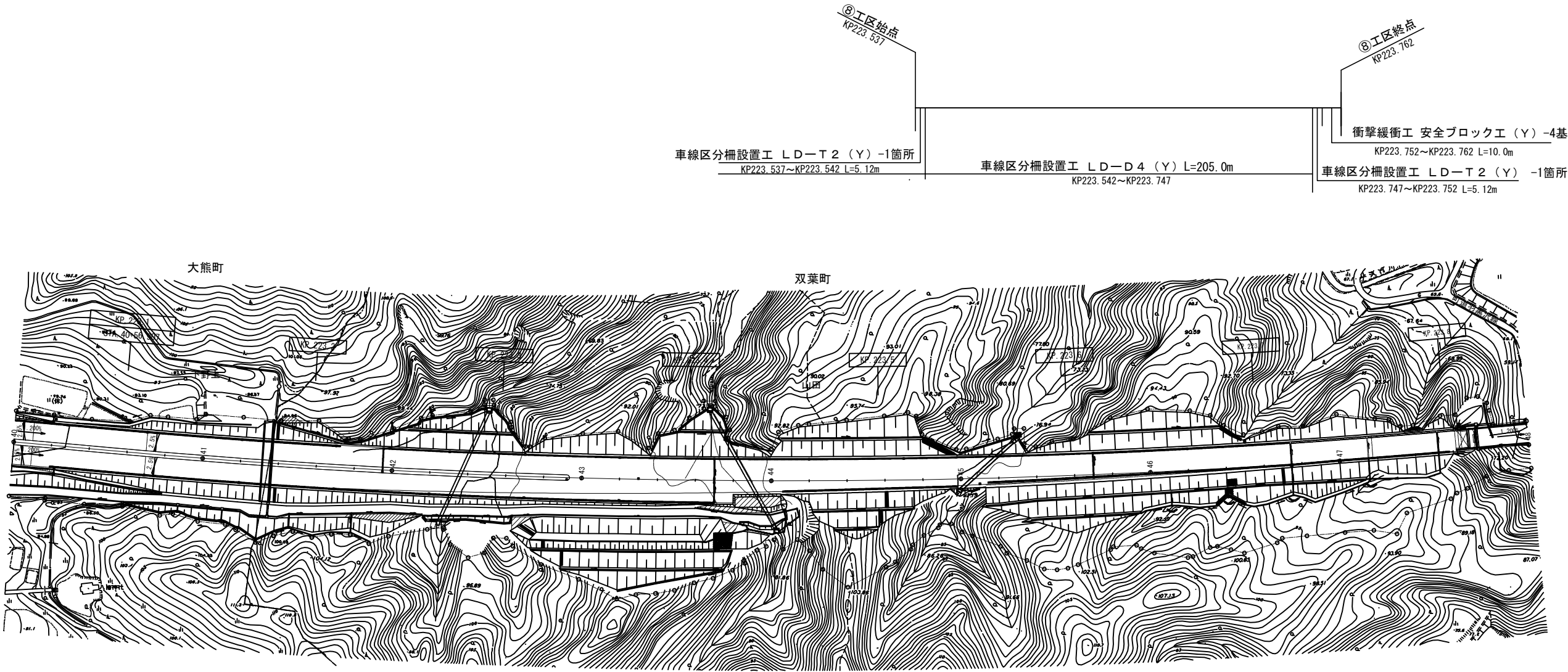
常磐富岡-7

常磐富岡-8

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図(32)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（33）

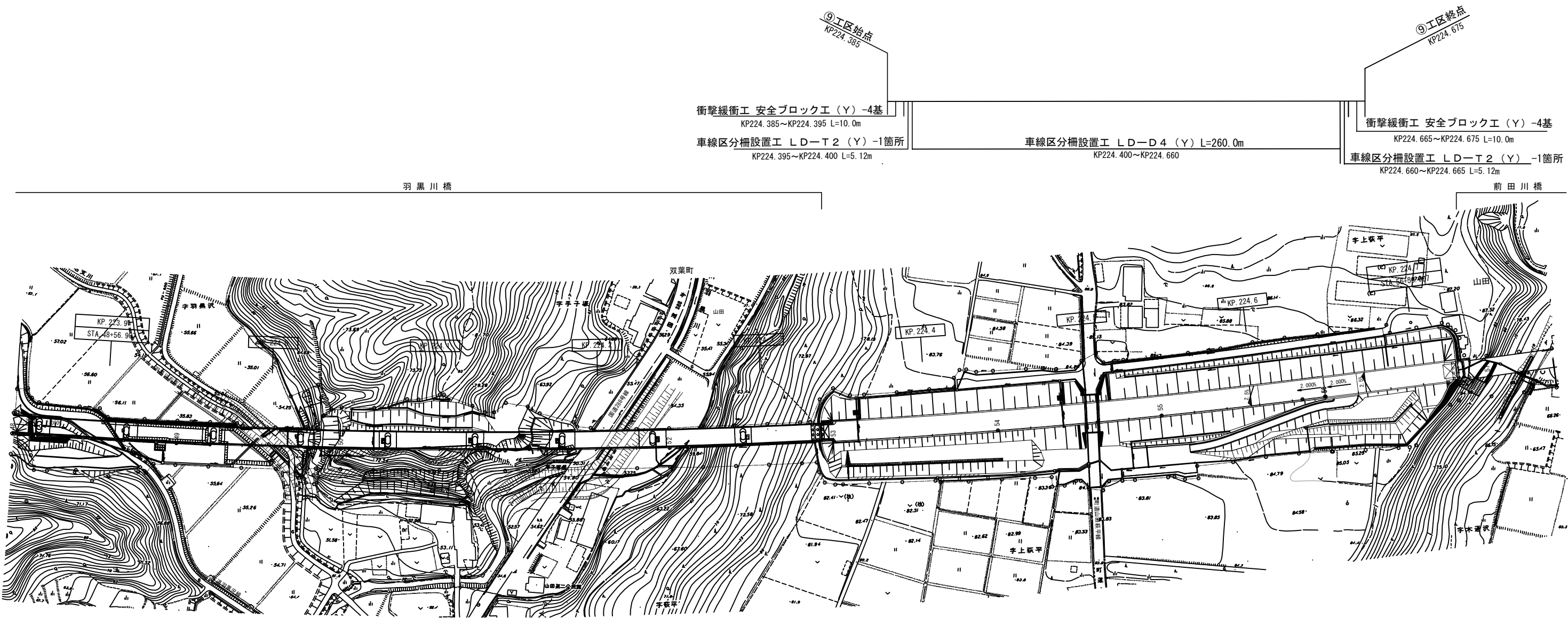
- 223.537KP～223.762KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）-205.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-4.0基
- 車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）-1.0基
- 視線誘導標D1（Y）-5.0基
- 車線分離標撤去A（Y）-21.0基
- 車線分離標撤去B（Y）-83.0基
- 路面標示標準型D1（Y）-67.5m2



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（33）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（34）

- 224.385KP～224.675KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y） -260.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y） -2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基
- 車線分離標ポール（H=1500mm）（Y） -2.0基
- 視線誘導標D1（Y） -7.0基
- 車線分離標撤去A（Y） -29.0基
- 車線分離標撤去B（Y） -116.0基
- 路面標示標準型D1（Y） -87.0m2

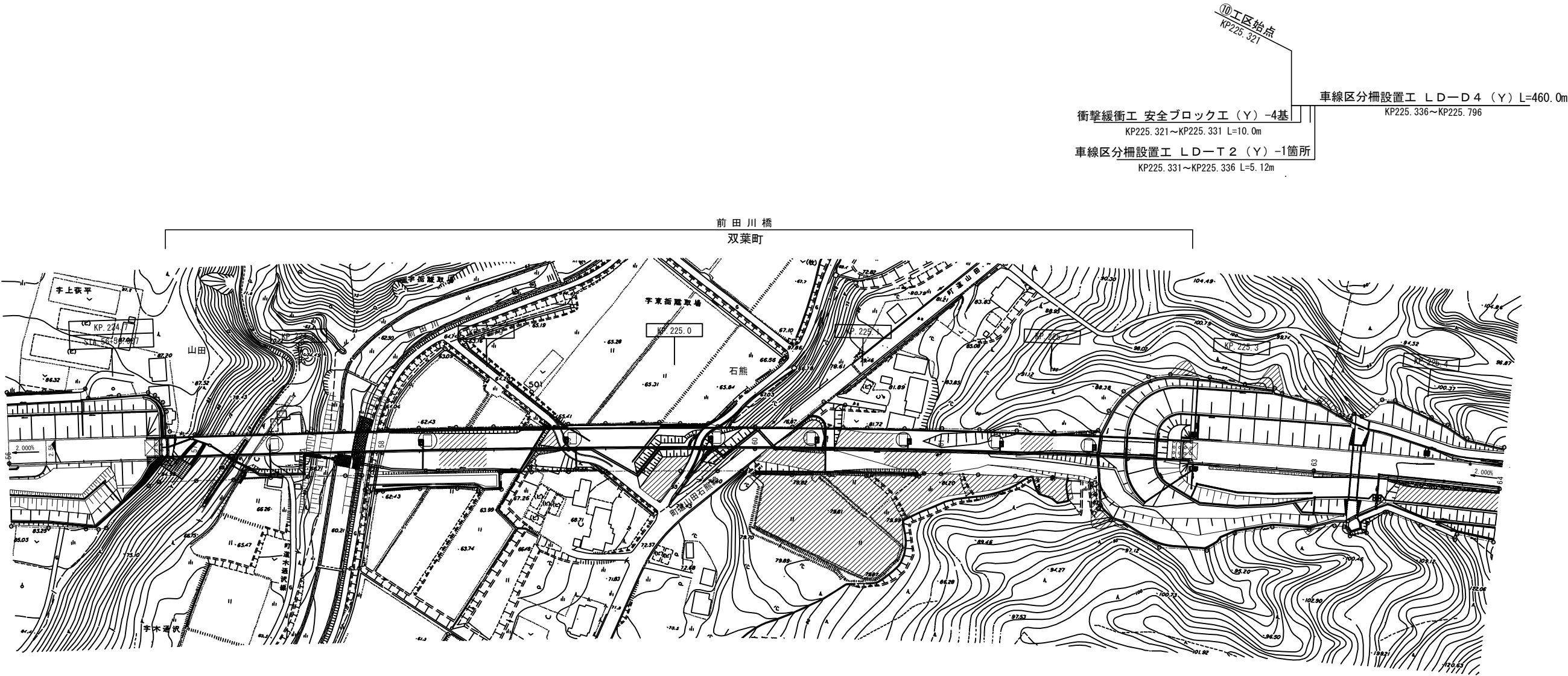


常磐富岡-15

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（34）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（35）

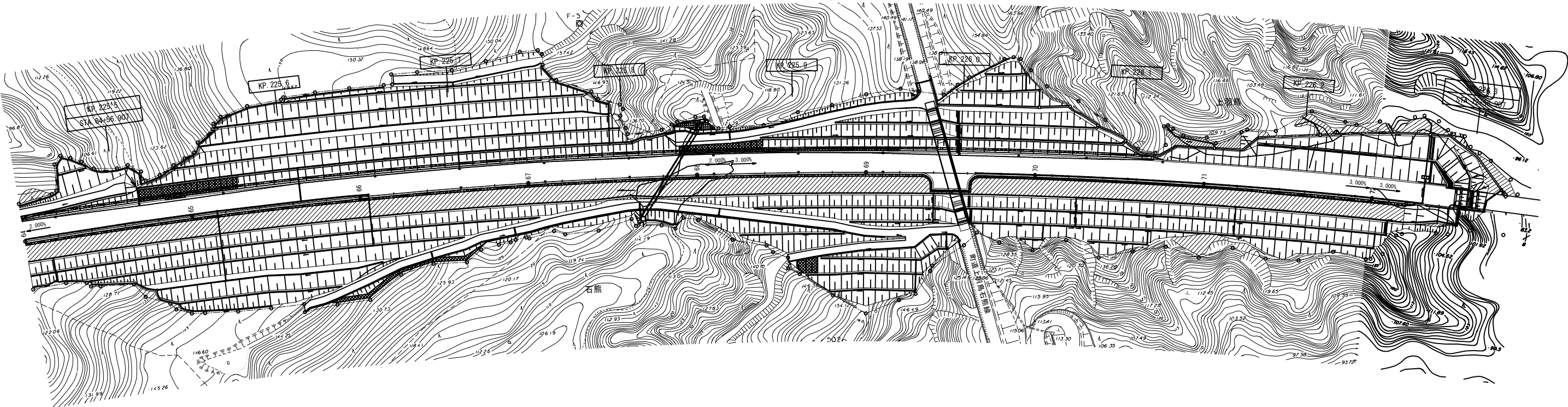
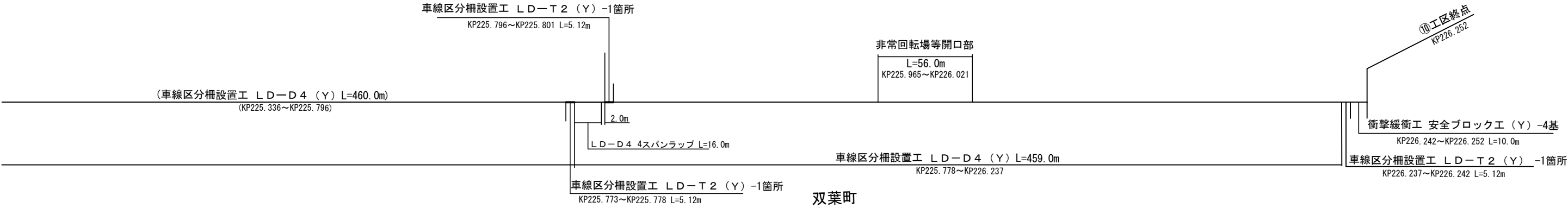
- 225. 321KP～226. 252KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y） -919.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y） -4.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基
- 車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y） -2.0基
- 視線誘導標D1（Y） -22.0基
- 車線分離標撤去A（Y） -91.0基
- 車線分離標撤去B（Y） -364.0基
- 路面標示標準型D1（Y） -279.3m2



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（35）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（36）

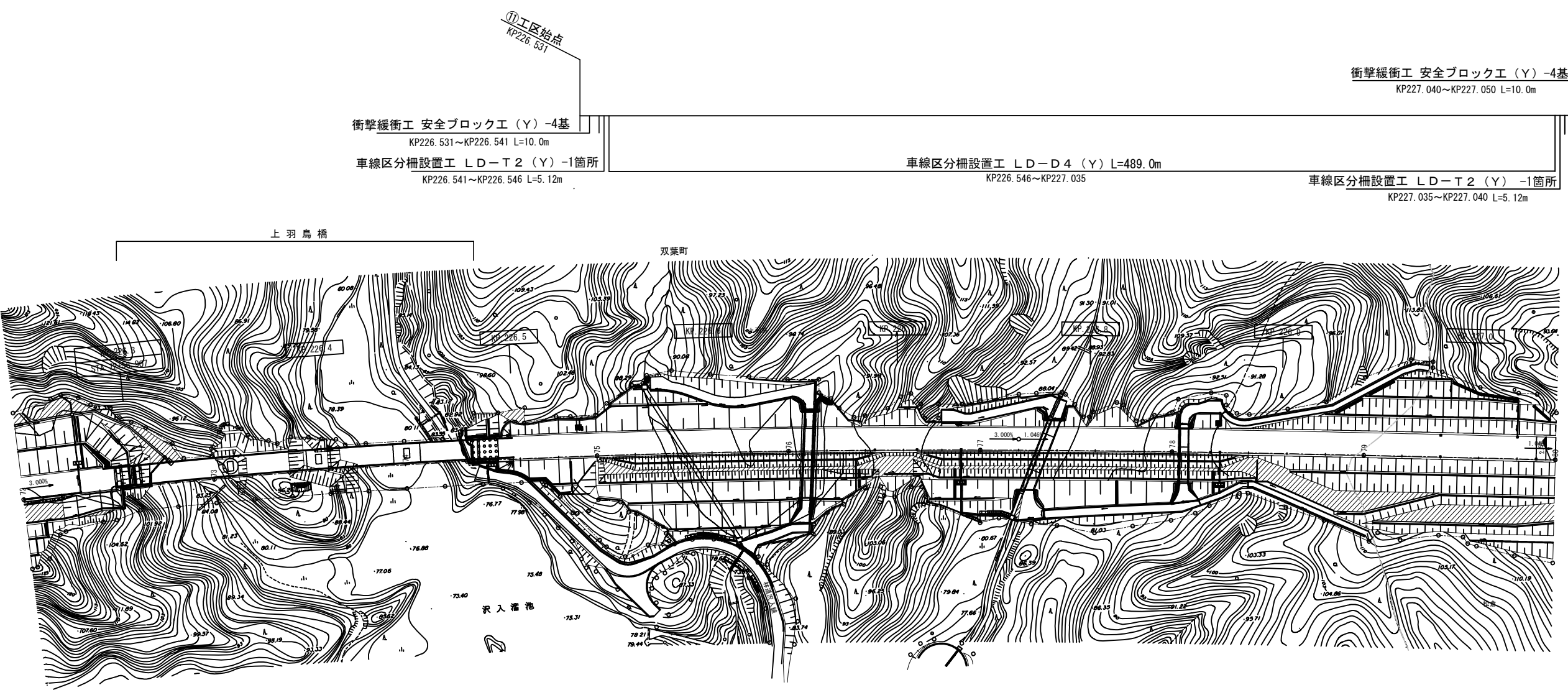
- (225.321KP～226.252KP（中分））
- (車線区分柵設置工LD-D4（Y） -919.0m)
- (車線区分柵設置工LD-T2（Y） -4.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基)
- (車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y） -2.0基)
- (視線誘導標D1（Y） -22.0基)
- (車線分離標撤去A（Y） -91.0基)
- (車線分離標撤去B（Y） -364.0基)
- (路面標示標準型D1（Y） -279.3m2)



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（36）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（37）

- 226.531KP～227.050KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）-489.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-8.0基
- 車線分離標ポール（H=1500mm）（Y）-2.0基
- 視線誘導標D1（Y）-12.0基
- 車線分離標撤去A（Y）-52.0基
- 車線分離標撤去B（Y）-208.0基
- 路面標示標準型D1（Y）-155.7m2

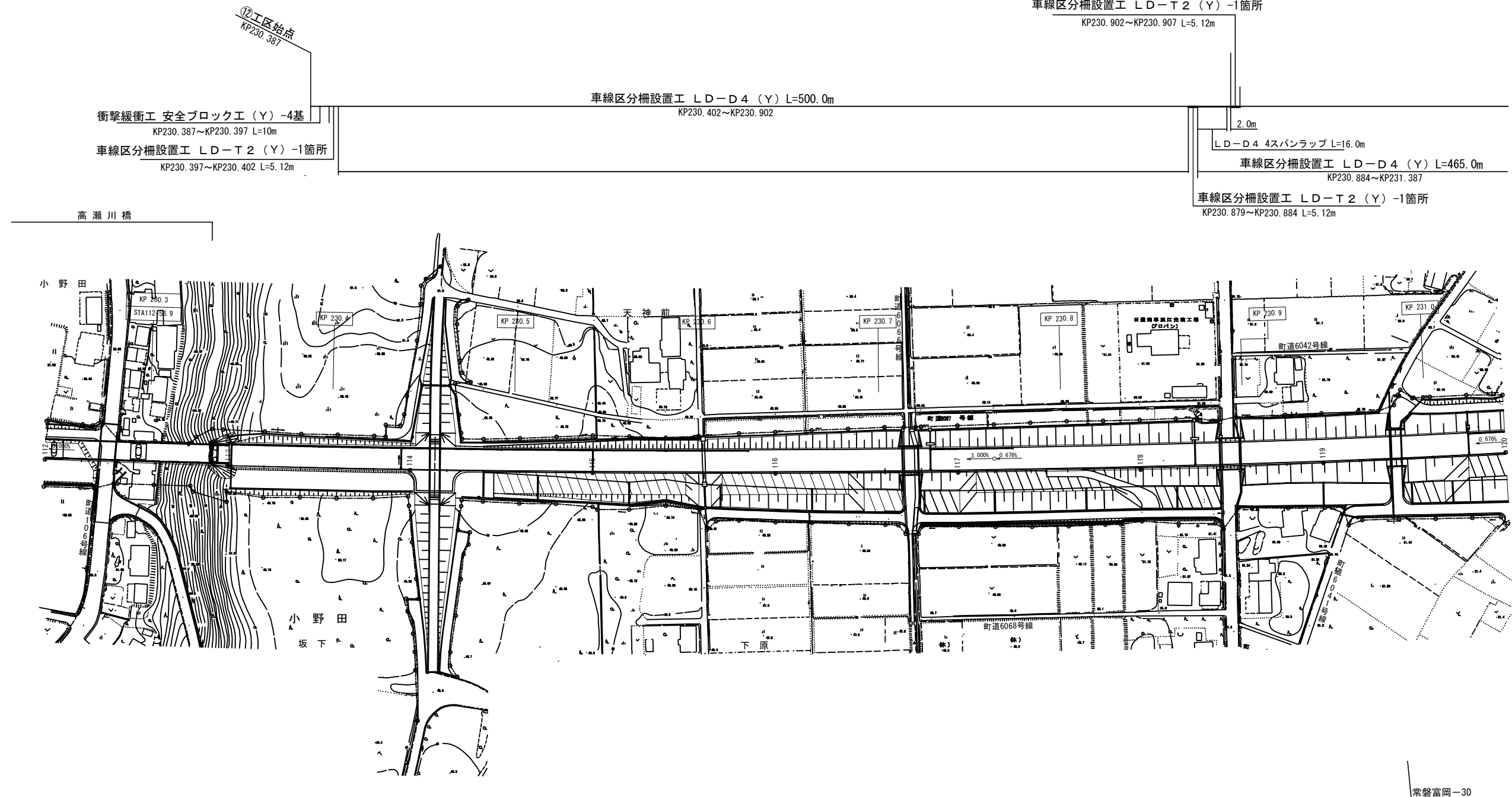


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（37）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面图 (38)

230.387KP～231.392KP（中分）	
車線区分柵設置ⅠⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-965.0m
車線区分柵設置ⅠⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-4.0箇所
衝撃緩衝工安全ブロック工（Ⅳ）	-8.0基
車線分離標ポール（H=1500mm）（Ⅳ）	-2.0基
視線誘導標ⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-25.0基
車線分離標撤去ⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-101.0基
車線分離標撤去ⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-402.0基
路面標示標準型ⅡⅢⅣ（Ⅳ）	-258.8m ²

231. 154KP~231. 197KP (田尻川橋)	(中分)
車線区分柵設置工LD-B4 (Y)	-43.0m
基礎コンクリート (Y)	-0.191m3



常磐富岡-30

常磐富岡-28

常磐富岡—29

<p align="center">常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事</p>			
図面の種類	<p align="center">平 面 図 (3 8)</p>		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	<p align="center">東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所</p>		

平面図（39）

- (230.387KP～231.392KP（中分））

(車線区分柵設置工LD-D4（Y） -965.0m)

(車線区分柵設置工LD-T2（Y） -4.0箇所)

(衝撃緩衝工安全ブロック工（Y） -8.0基)

(車線分離標ポール（H=1500mm）（Y） -2.0基)

(視線誘導標D1（Y） -25.0基)

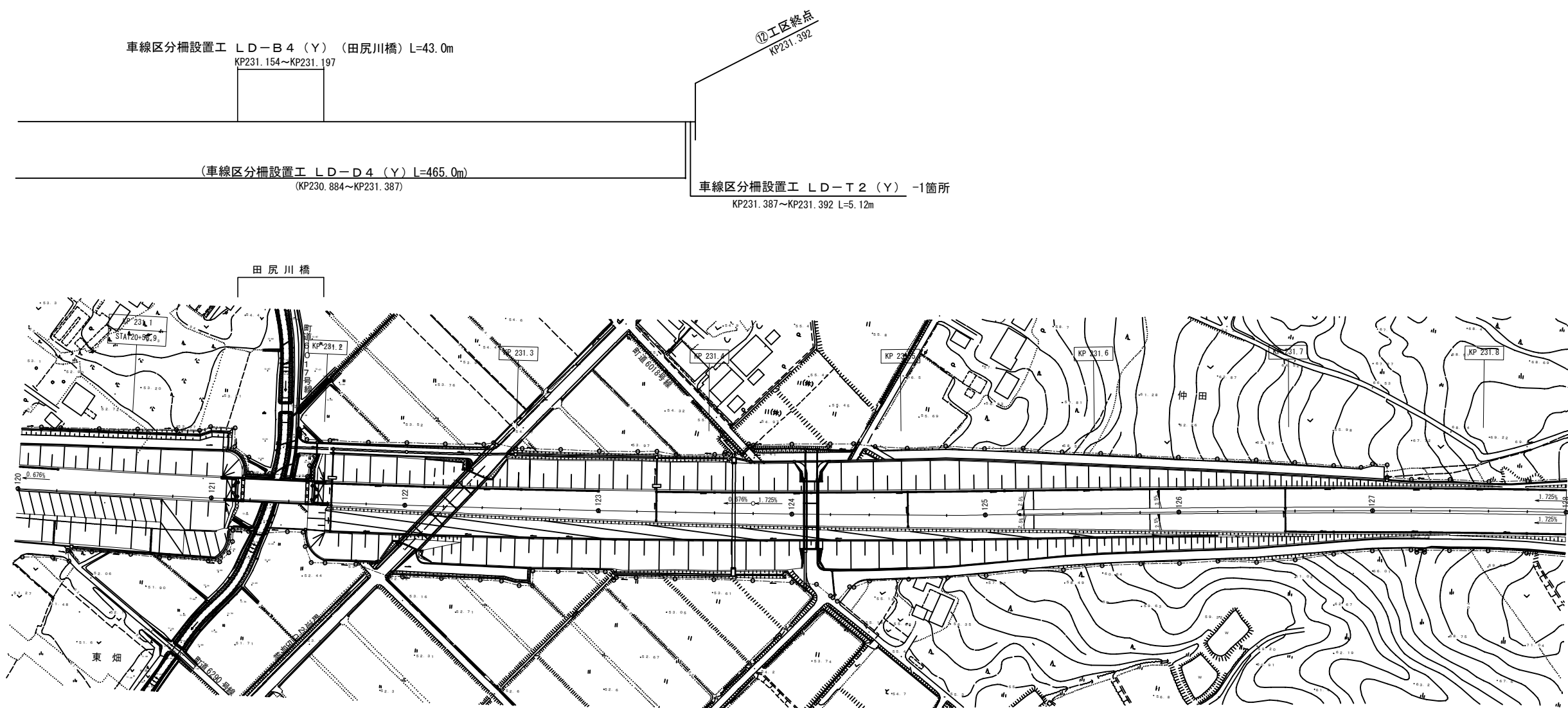
(車線分離標撤去A（Y） -101.0基)

(車線分離標撤去B（Y） -402.0基)

(路面標示標準型D1（Y） -258.8m2)
- (231.154KP～231.197KP（田尻川橋）（中分））

(車線区分柵設置工LD-B4（Y） -43.0m)

(基礎コンクリート（Y） -0.191m3)



常磐富岡—31

常磐富岡—32

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（39）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（４０）

237. 286KP～238. 110KP（中分）

車線区分柵設置工LD-D4（Y）-758. 0m

車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2. 0箇所

衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-8. 0基

車線分離標ポール（H=1500mm）（Y）-1. 0基

視線誘導標D1（Y）-20. 0基

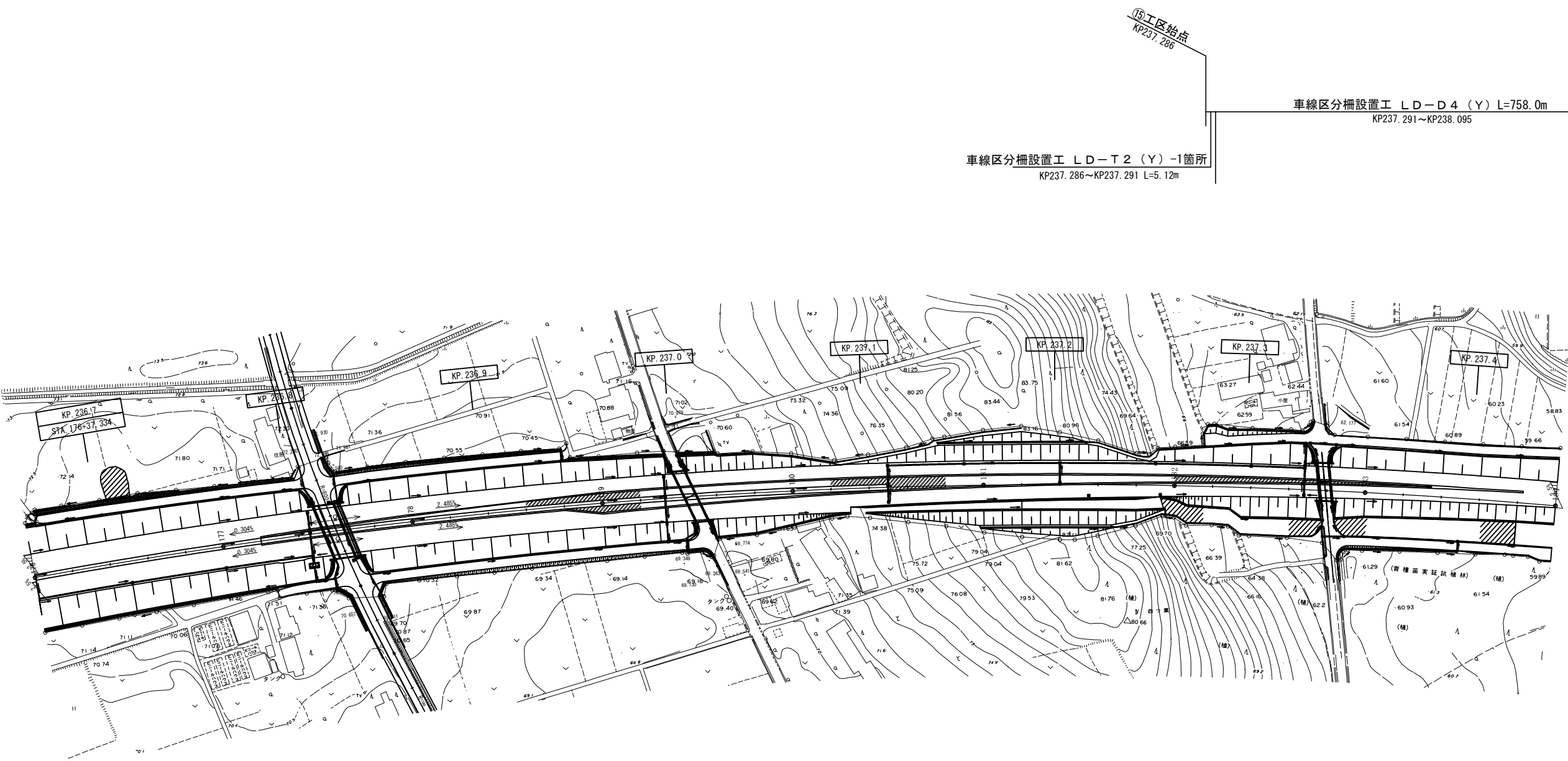
車線分離標撤去A（Y）-81. 0基

車線分離標撤去B（Y）-323. 0基

路面標示標準型D1（Y）-199. 3m2
237. 500KP～237. 546KP（川房川橋）（中分）

車線区分柵設置工LD-B4（Y）-46. 0m

基礎コンクリート（Y）-0. 215m3



浪江-15

浪江-16

浪江-17

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（４０）		
縮尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（41）

- (237.286KP～238.110KP（中分）)

(車線区分柵設置工LD-D4（Y）

(車線区分柵設置工LD-T2（Y）

(衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）

(車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）

(視線誘導標D1（Y）

(車線分離標撤去A（Y）

(車線分離標撤去B（Y）

(路面標示標準型D1（Y）

-758.0m)

-2.0箇所)

-8.0基)

-1.0基)

-20.0基)

-81.0基)

-323.0基)

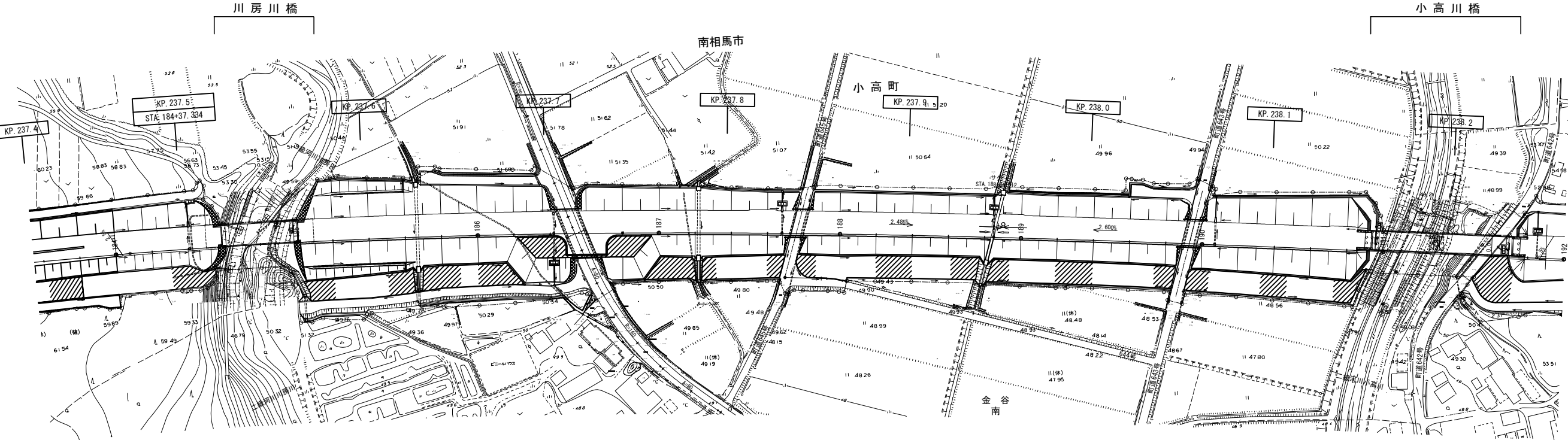
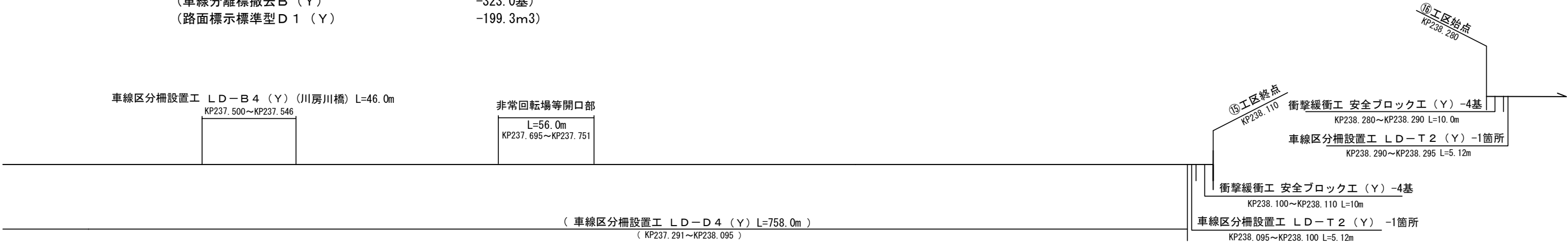
-199.3m3)
- (237.500KP～237.546KP（川房川橋）（中分）)

(車線区分柵設置工LD-B4（Y）

(基礎コンクリート（Y）

-46.0m)

-0.215m3)



浪江－18

浪江－19

浪江－20

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（41）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図(43)

- (238.280KP~239.530KP (中分))
- (車線区分柵設置工LD-D4 (Y)

-1238.0m)
- (車線区分柵設置工LD-T2 (Y)

-4.0箇所)
- (衝撃緩衝工安全ブロック工 (Y)

-8.0基)
- (車線分離標ポール (H=1500mm) (Y)

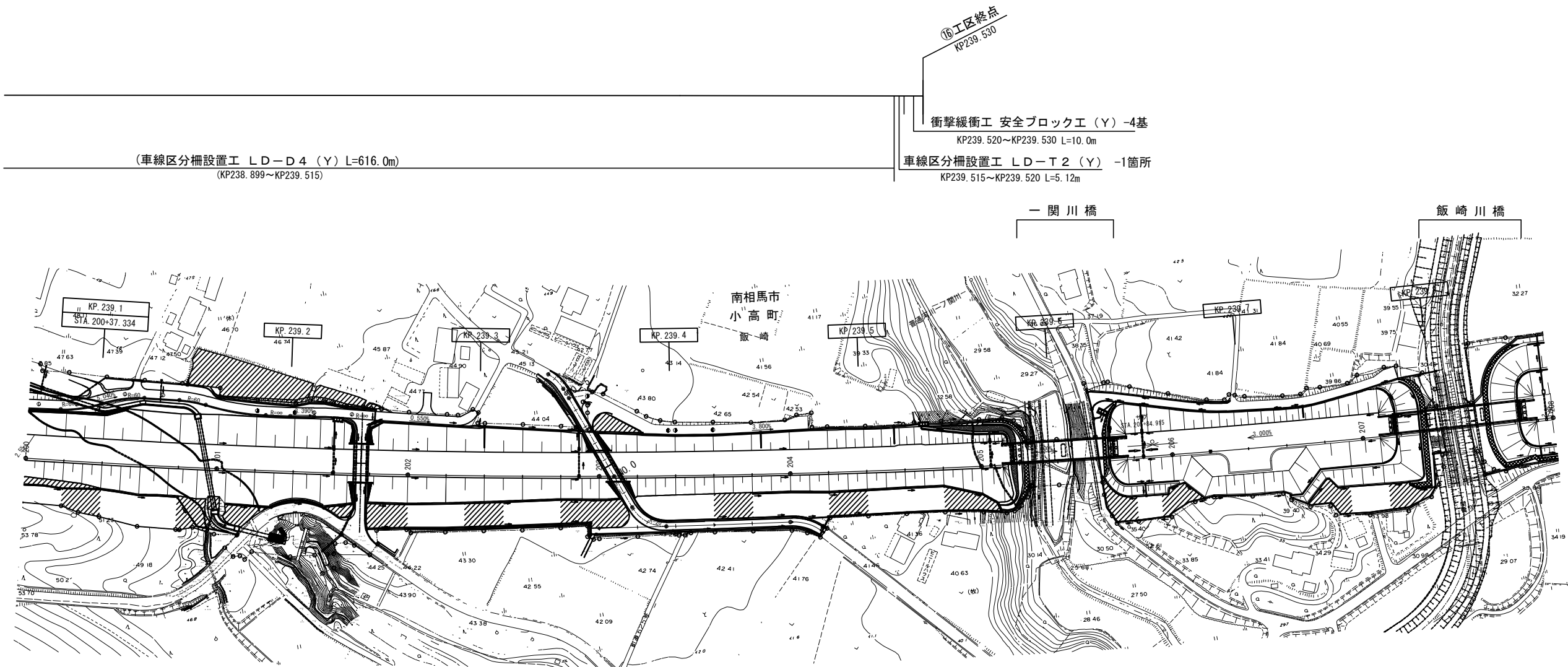
-2.0基)
- (視線誘導標D1 (Y)

-30.0基)
- (車線分離標撤去A (Y)

-124.0基)
- (車線分離標撤去B (Y)

-496.0基)
- (路面標示標準型D1 (Y)

-375.0m2)



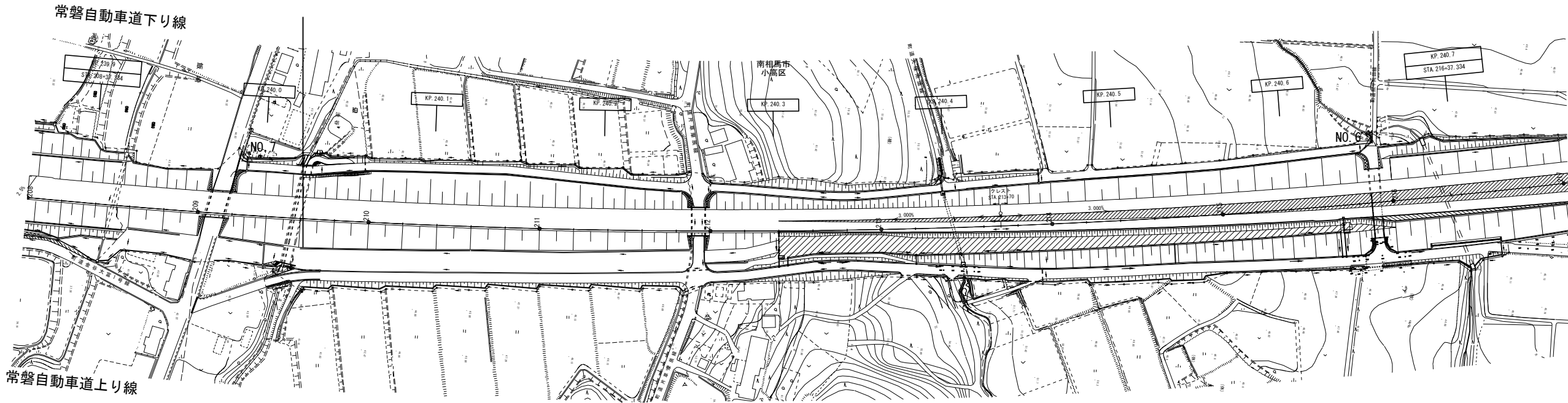
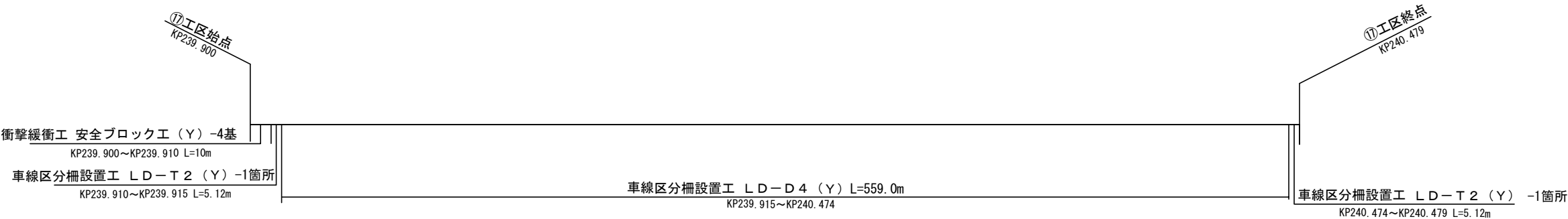
浪江-23

浪江-24

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図(43)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

平面図（44）

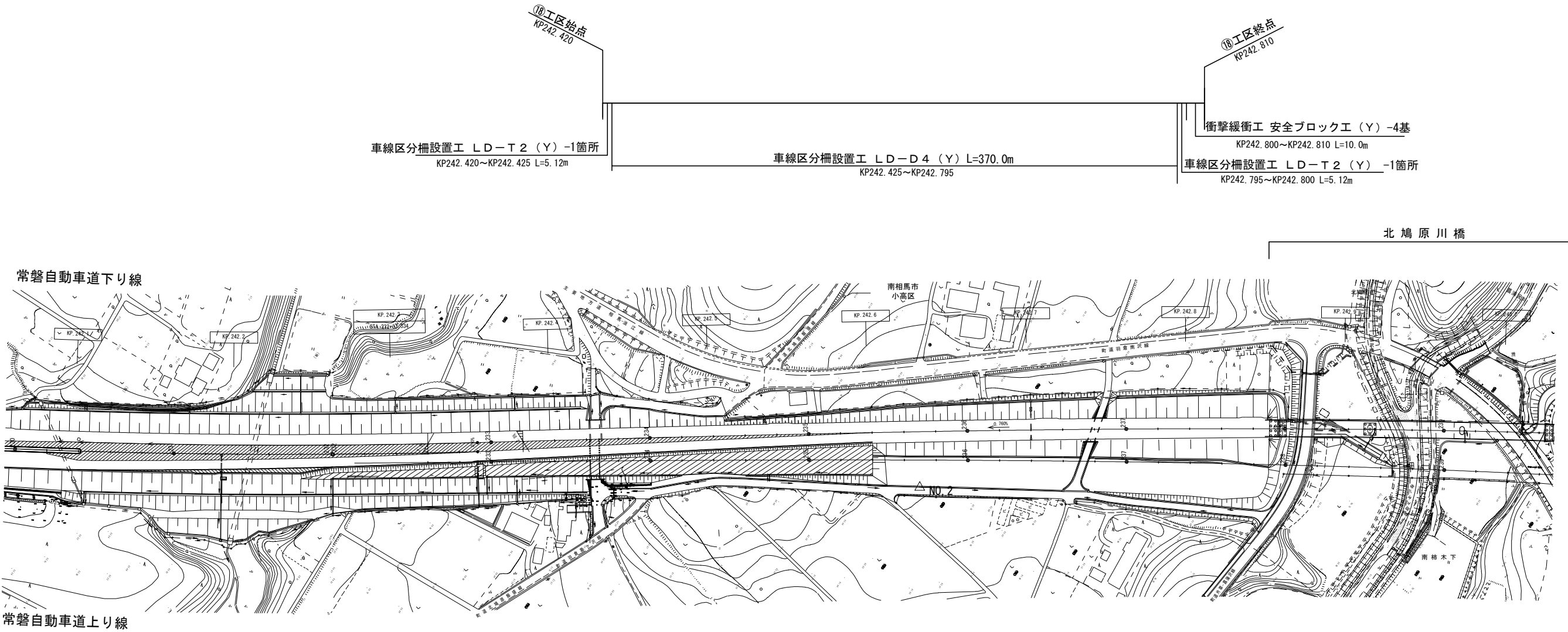
- 239.900KP～240.479KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）-559.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-4.0基
- 車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）-1.0基
- 視線誘導標D1（Y）-14.0基
- 車線分離標撤去A（Y）-56.0基
- 車線分離標撤去B（Y）-225.0基
- 路面標示標準型D1（Y）-96.5m2



常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平 面 図（44）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

平面図（45）

- 242.420KP～242.810KP（中分）
- 車線区分柵設置工LD-D4（Y）-370.0m
- 車線区分柵設置工LD-T2（Y）-2.0箇所
- 衝撃緩衝工安全ブロック工（Y）-4.0基
- 車線分離標ポール（H＝1500mm）（Y）-1.0基
- 視線誘導標D1（Y）-9.0基
- 車線分離標撤去A（Y）-37.0基
- 車線分離標撤去B（Y）-149.0基
- 路面標示標準型D1（Y）-62.1m²



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（45）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

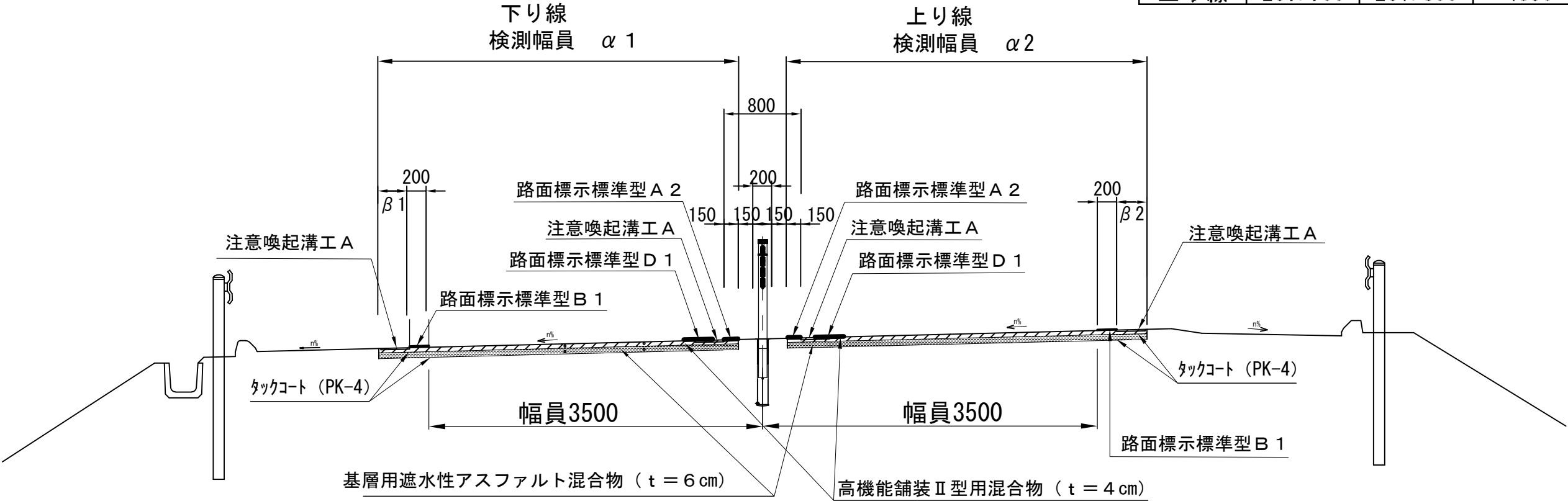
標準横断図（１）

切削オーバーレイ工標準横断図 1

（常磐自動車道 2車線区間）

車線区分	始点KP	終点KP	※ $\alpha 1$	$\beta 1$
下り線	239.847	240.000	4200	750
下り線	261.700	261.800	4050	600

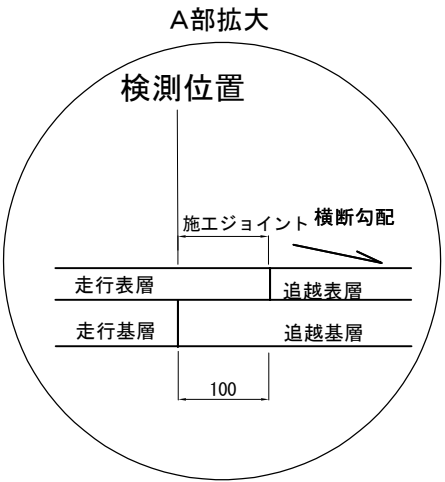
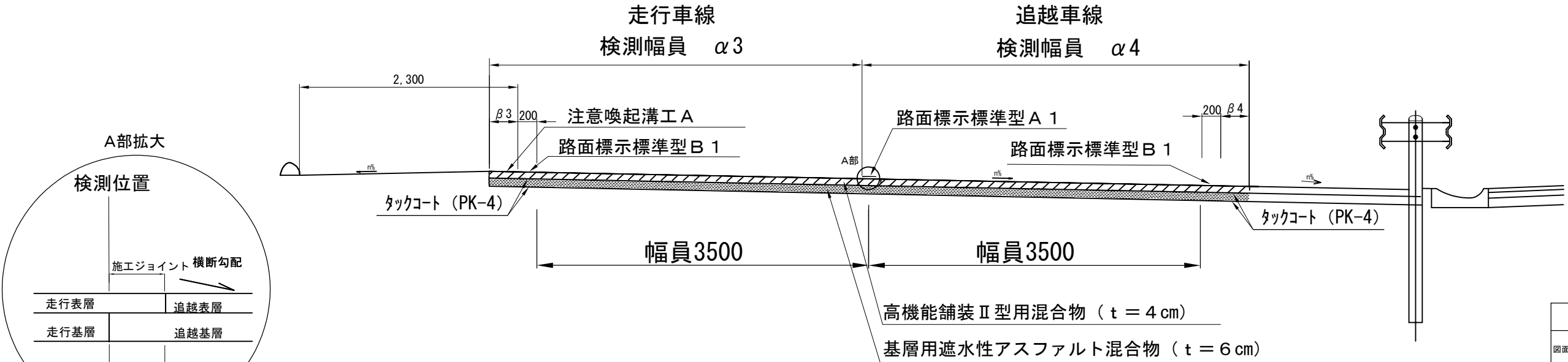
車線区分	始点KP	終点KP	※ $\alpha 2$	$\beta 2$
上り線	239.847	240.150	4000	550
上り線	256.400	256.800	4350	900
上り線	261.700	261.800	4350	900



車線区分	始点KP	終点KP	※ $\alpha 3$	$\beta 3$
上り線	201.581	202.8	4200	550
下り線	154.6	154.8	4350	650

（常磐自動車道 4車線区間）

車線区分	始点KP	終点KP	※ $\alpha 4$	$\beta 4$
上り線	201.91	201.94	4450	600



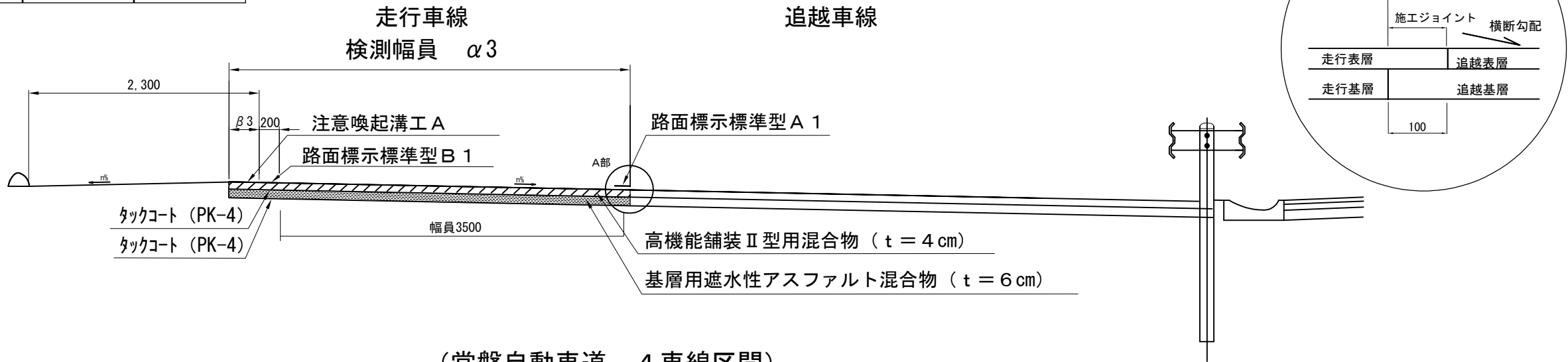
※施工端部及び施工ジョイントの立上り部については本線施工と同様にタックコートを塗布するものとする。
※検測幅員 α は既設施工目地を考慮した値である。

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図（１）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

標準横断図（2）
切削オーバーレイ工標準横断図2

車線区分	始点KP	終点KP	$\alpha 3$	$\beta 3$
上り線	263.65	264.45	4350	550
下り線	263.49	263.65	4350	550

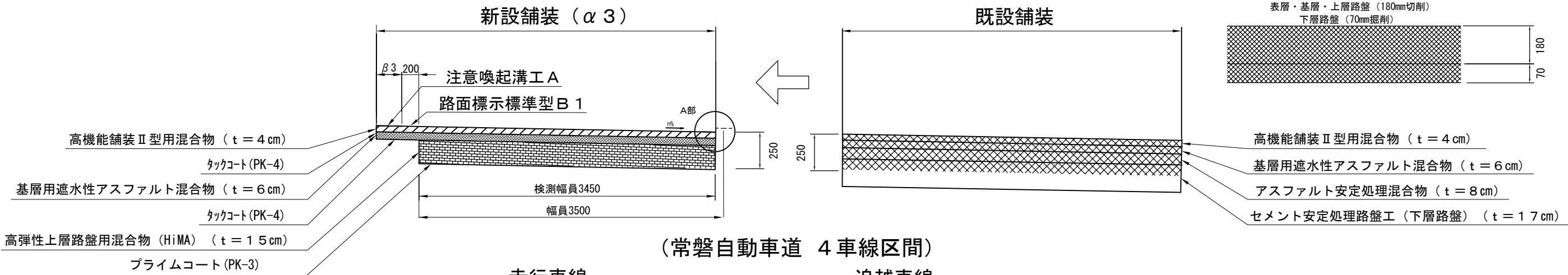
（常磐自動車道 4車線区間）



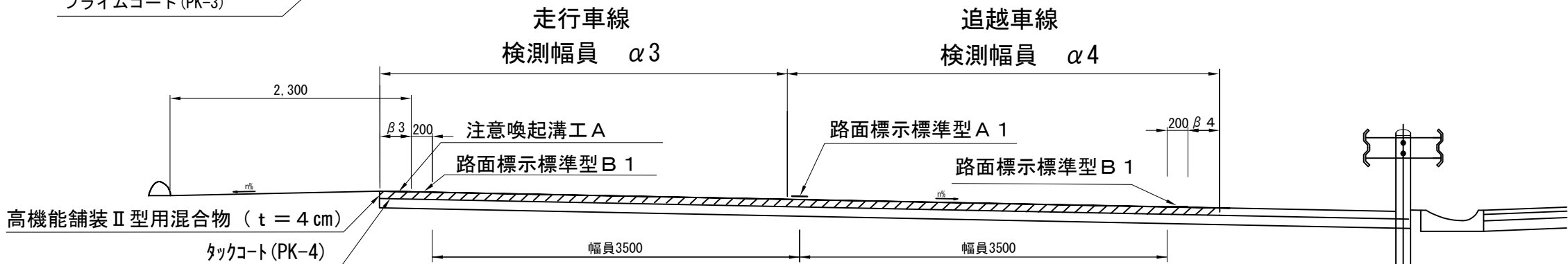
（常磐自動車道 4車線区間）

（高弾性上層路盤用混合物HiMA施工箇所）

車線区分	始点KP	終点KP	$\alpha 3$	$\beta 3$
上り線	202.200	202.300	4200	550



（常磐自動車道 4車線区間）



車線区分	始点KP	終点KP	$\alpha 3$	$\beta 3$
上り線	190.42	190.47	4150	550

車線区分	始点KP	終点KP	$\alpha 4$	$\beta 4$
上り線	190.42	190.47	5150	1350

※ 施工端部及び施工ジョイントの立上り部については本線施工と同様にタックコートを塗布するものとする。
※ 検測幅員 α は既設施工地を考慮した値である。

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図（2）		
縮 尺	———	図面番号	———
設計会社名	—————		
施工会社名	—————		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管 理 事 務 所		

標準横断図(3)

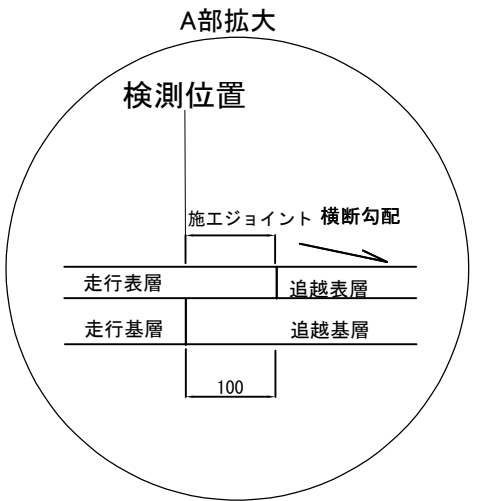
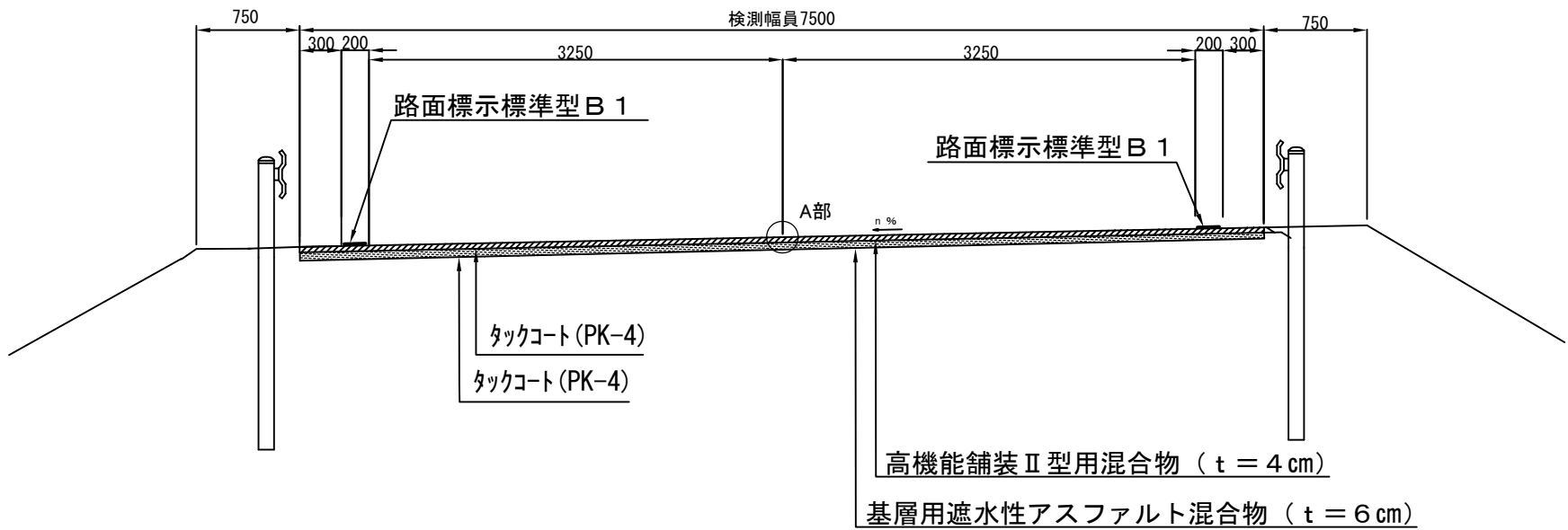
切削オーバーレイ工標準横断図 3

インターチェンジ(ランプ部)

(いわき三和IC Eランプ)

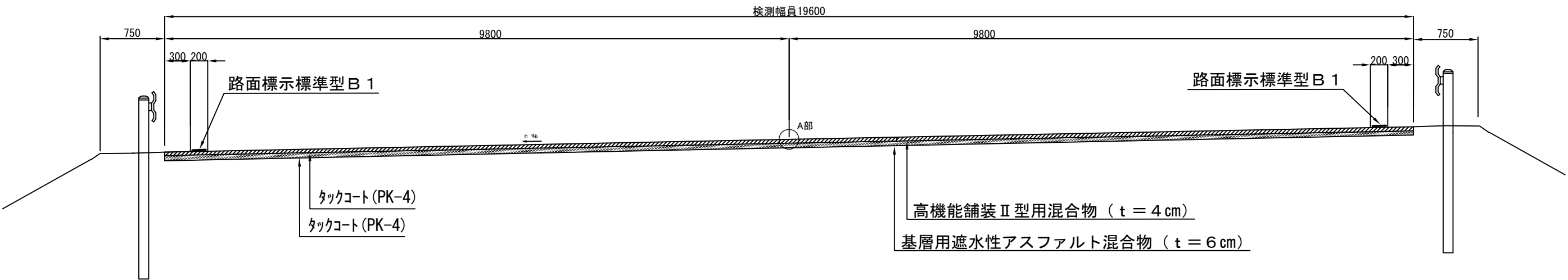
(E200MP～E229MP)

標準横断図(一方向一車線)



(E10MP～E145MP)

標準横断図(二方向分離二車線)



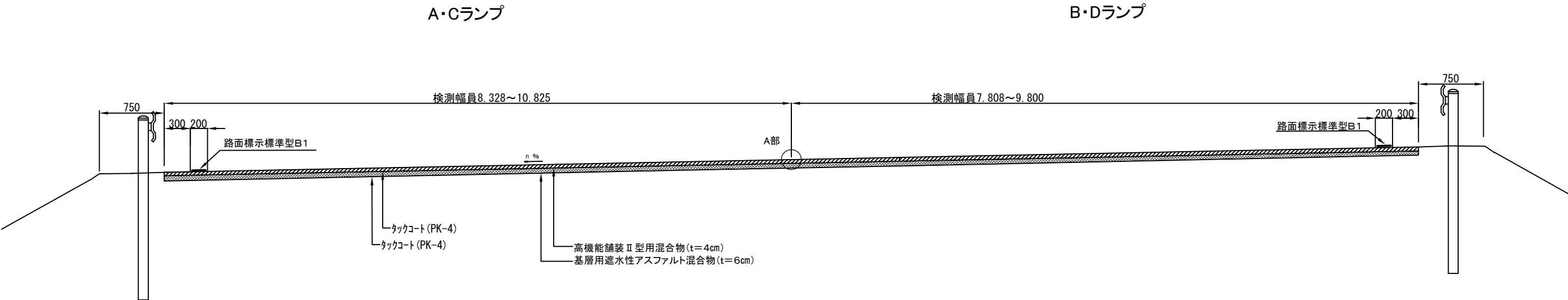
- ※ 施工端部及び施工ジョイントの立上り部については本線施工と同様にタックコートを塗布するものとする。
※ 車線内に施工目地が発生する場合は表層・基層に段差をつける。

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図(3)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

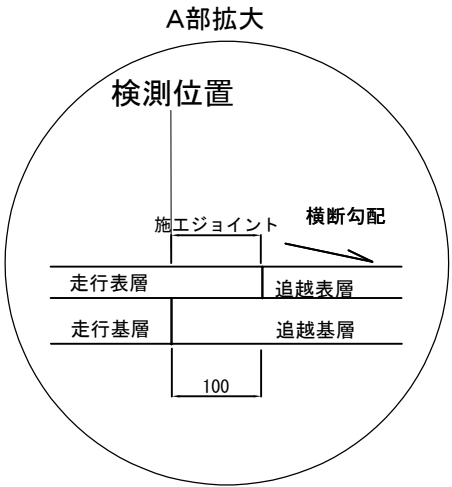
標準横断図(4)

切削オーバーレイ工標準横断図 4
インターチェンジ(ランプ部)
(いわき三和IC A・C、B・Dランプ)

標準横断図(二方向分離二車線)



※ 施工端部及び施工ジョイントの立上り部については本線施工と同様にタックコートを塗布するものとする。
※ 車線内に施工目地が発生する場合は表層・基層に段差をつける。



常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図 (4)		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

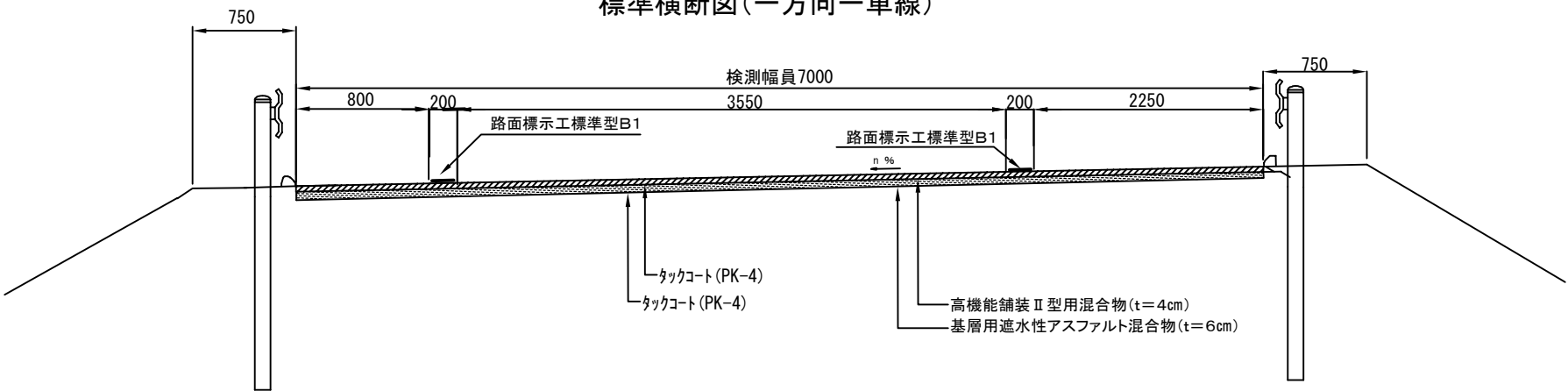
標準横断図（５）

切削オーバーレイ工標準横断図５

いわきJCT(ランプ部)

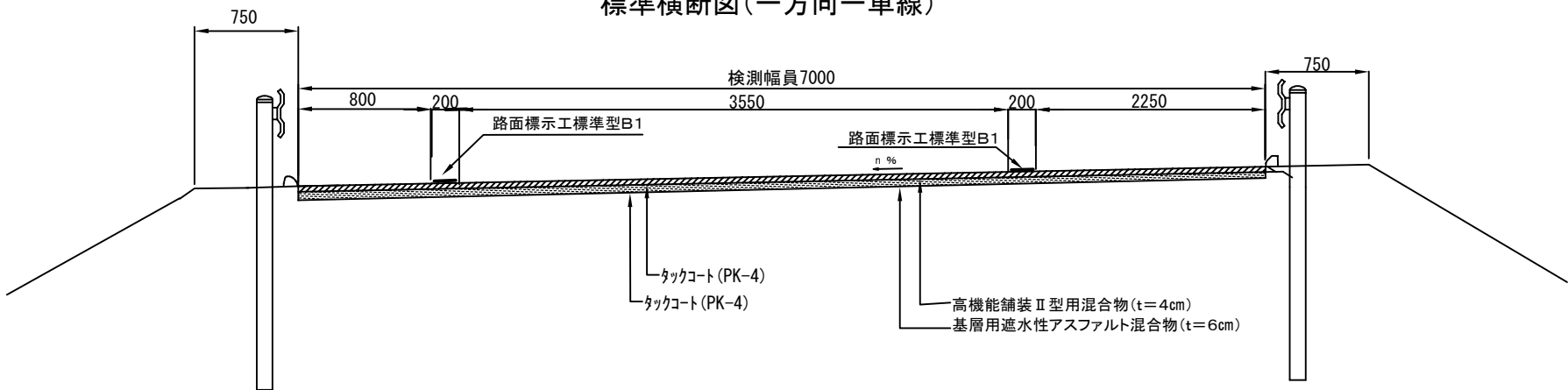
Aランプ

標準横断図(一方向一車線)

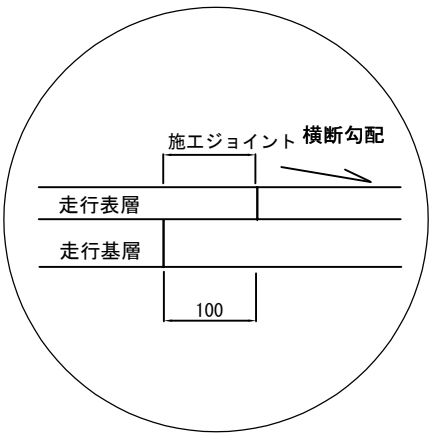


Cランプ

標準横断図(一方向一車線)

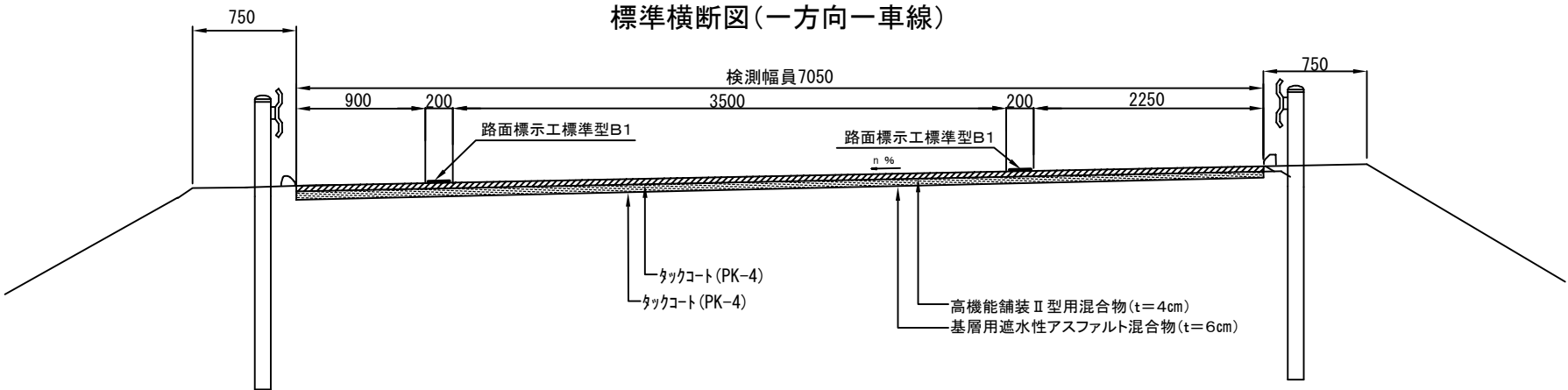


※ 車線内に施工目地が発生する場合は表層と基層に段差を設ける。



Dランプ

標準横断図(一方向一車線)

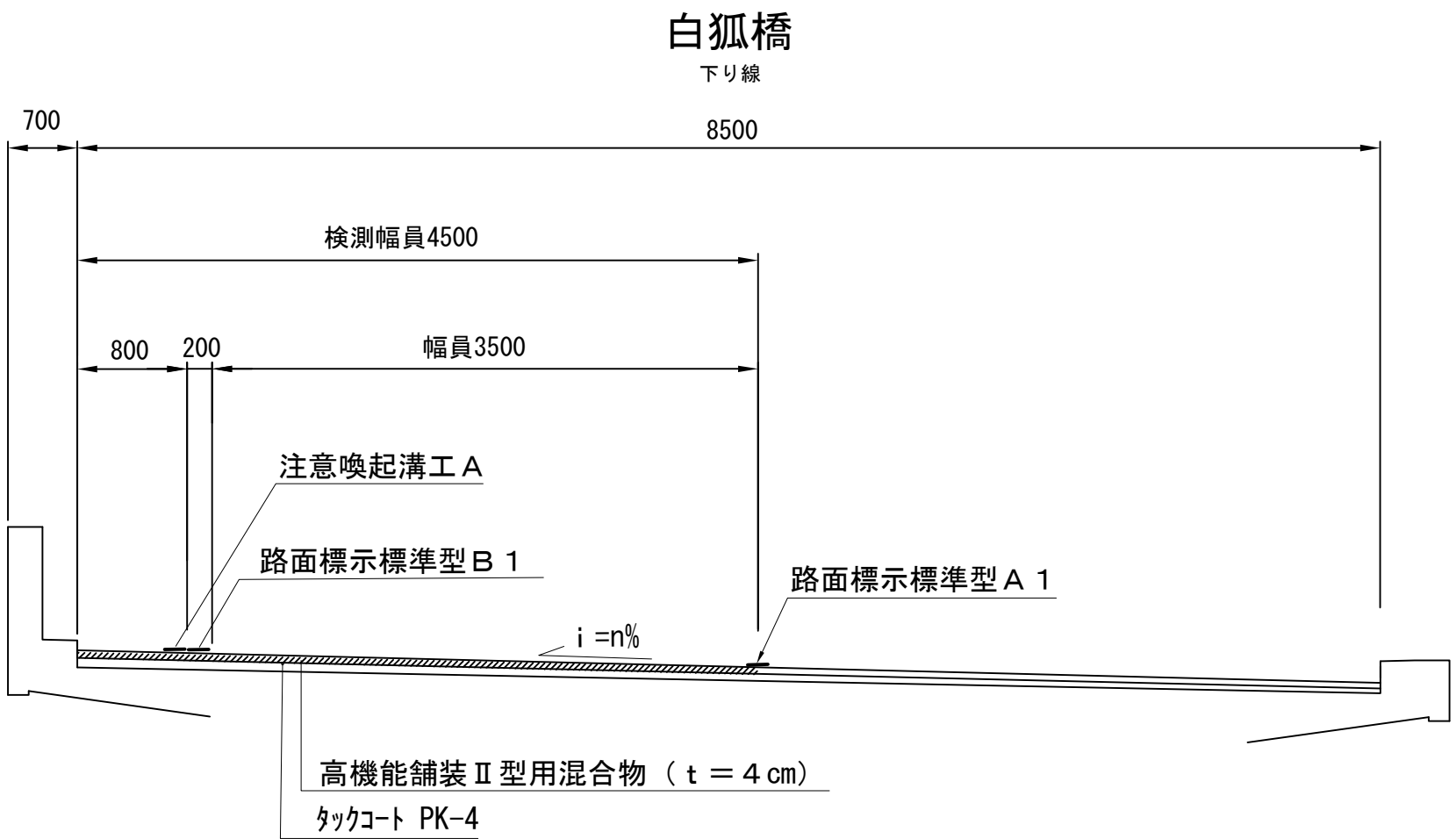
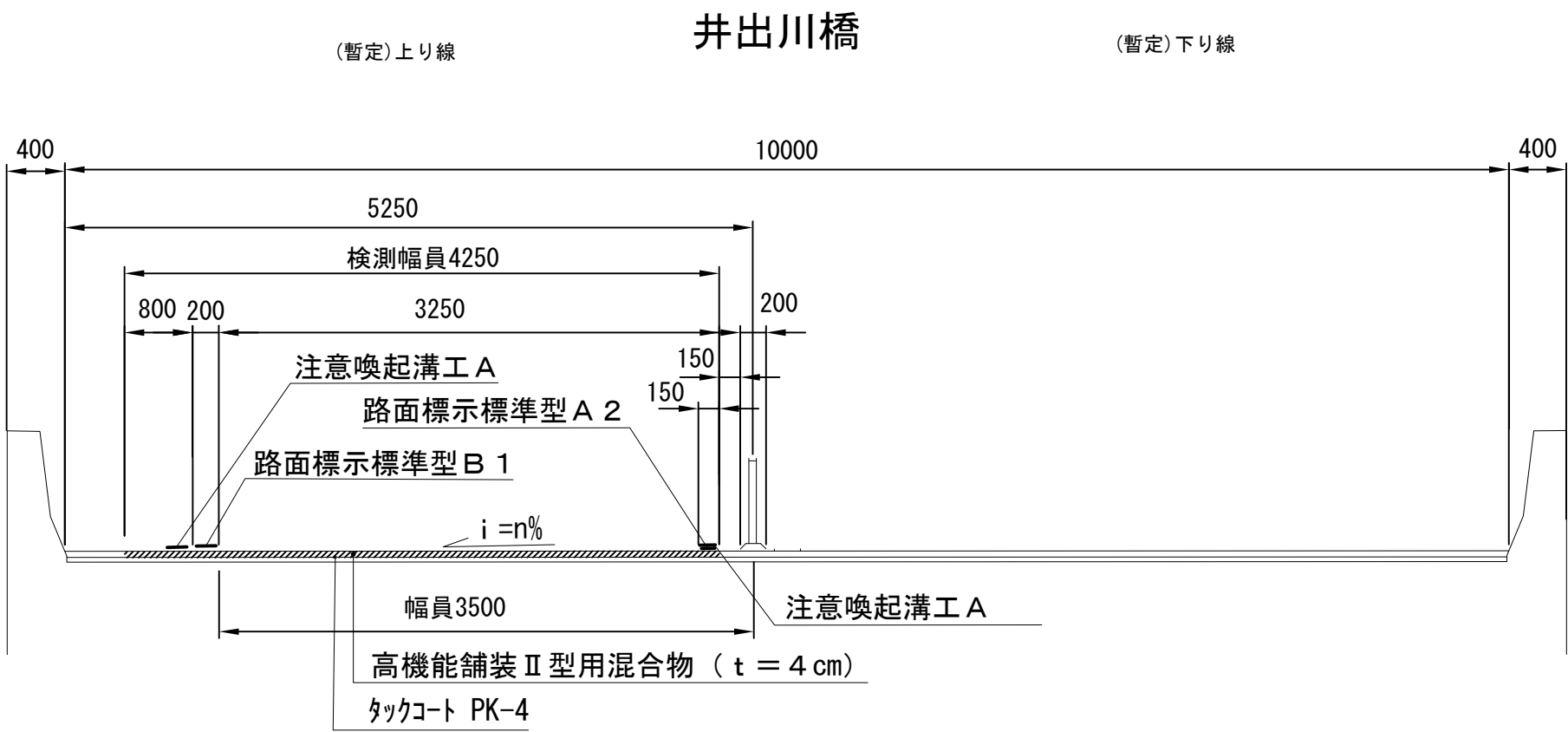


※ 施工端部及び施工ジョイントの立上り部については本線施工と同様にタックコートを塗布するものとする。

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図（５）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

標準横断図（6）
切削オーバーレイ工標準横断図6
（橋梁部 表層4cm）

※ 施工端部及び施工ジョイントの立ち上がり部についてもタックコートを塗布するものとする。



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図（6）		
縮尺	1/50	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

標準横断図（7）

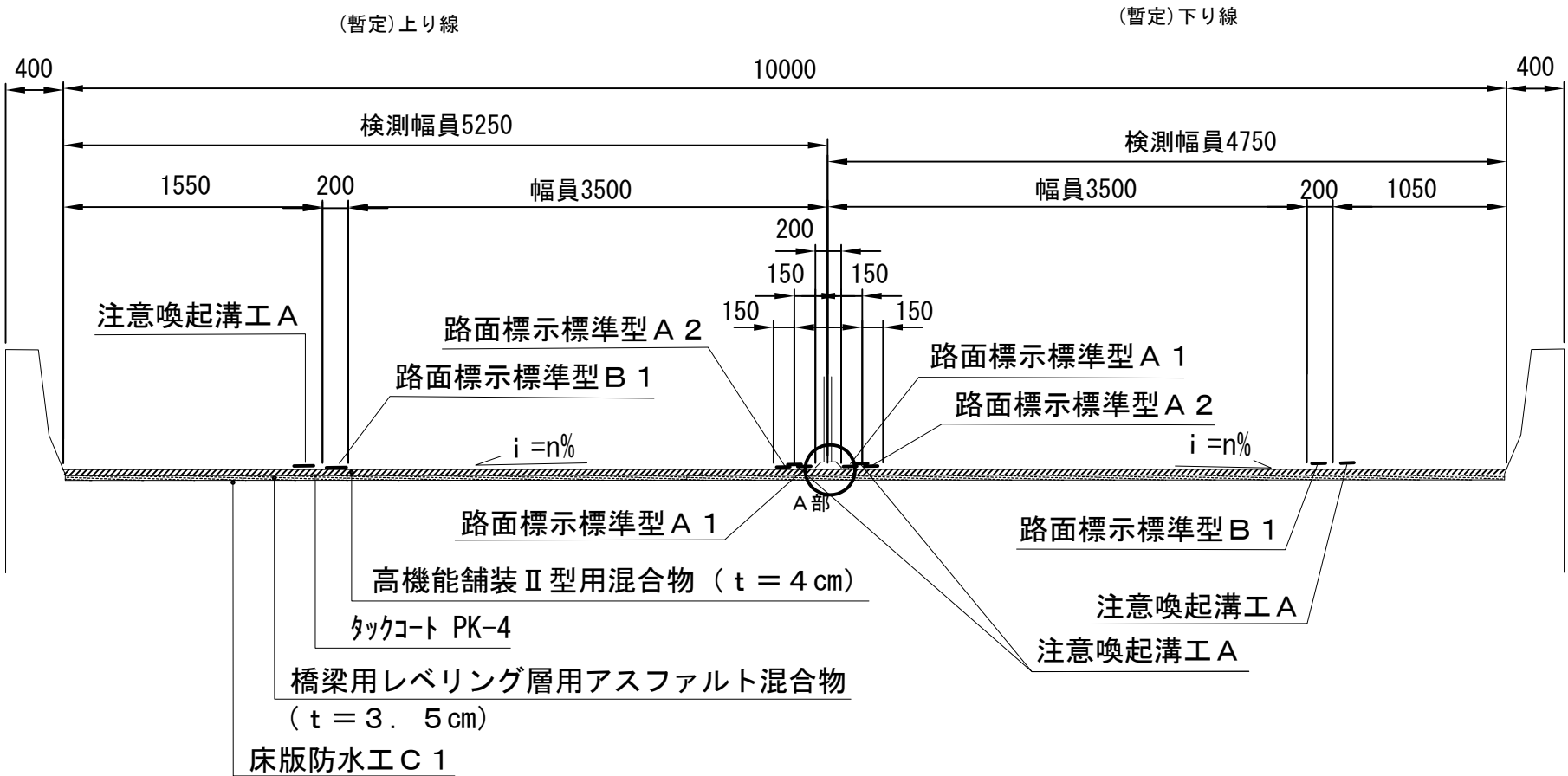
オーバーレイ工・レベリング工・床版防水工 標準横断図

（橋梁部 表層4.0cm+レベリング層3.5cm+床版防水工C1）

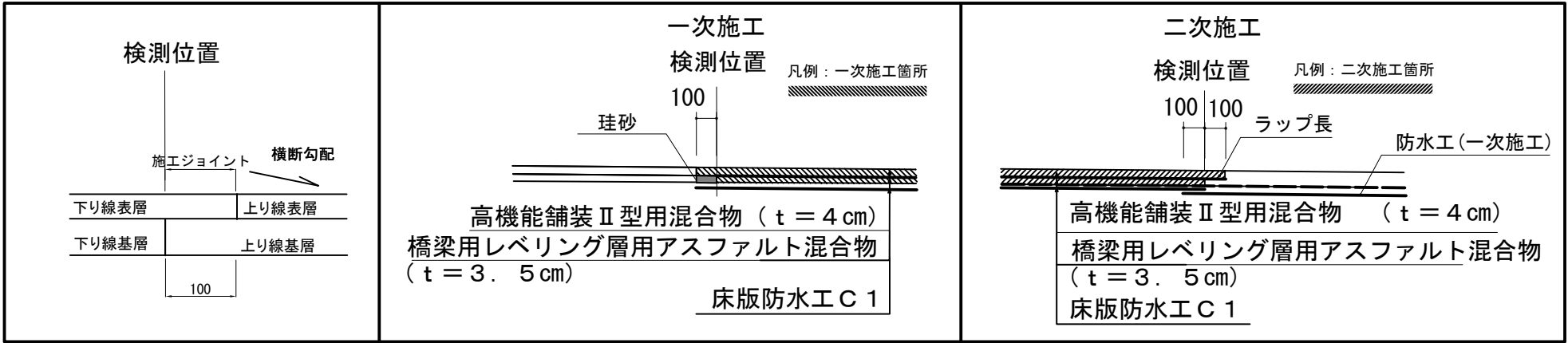
※ 施工端部及び施工ジョイントの立ち上がり部についてもタックコートを塗布するものとする。

橋梁名	上下区分	排水桝箇所数 (290×750)mm	控除分		
			オーバーレイ工KⅡ（t＝4cm） 控除数量（m ² ）	レベリング工F B 1 3 控除数量（t）	路面切削工A 控除数量（m ³ ）
片倉高架橋	上り線	10	2.2	0.2	0.2
笹部川橋	下り線	1	0.2	0	0

片倉高架橋・笹部川橋



A部拡大図



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	標準横断図（7）		
縮尺	1/50	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

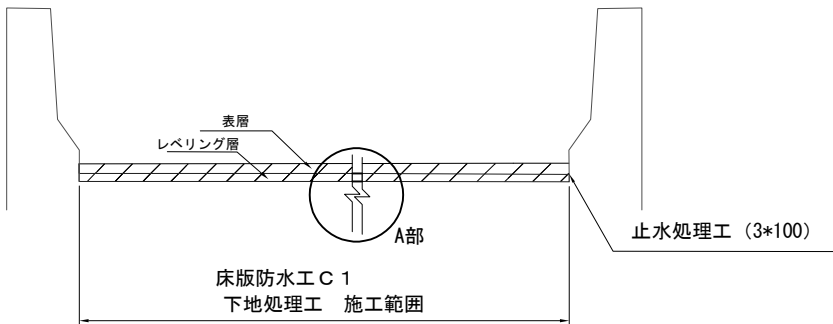
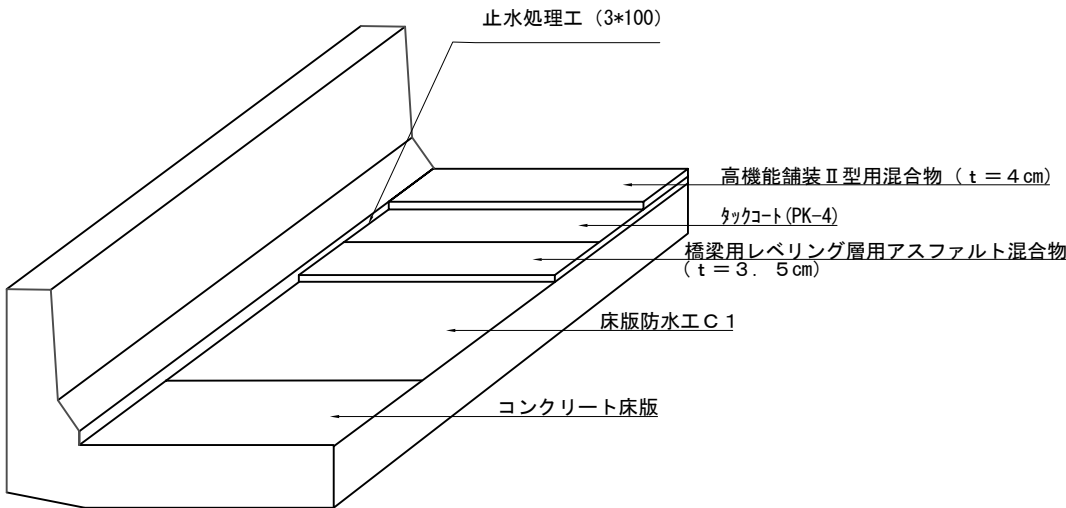
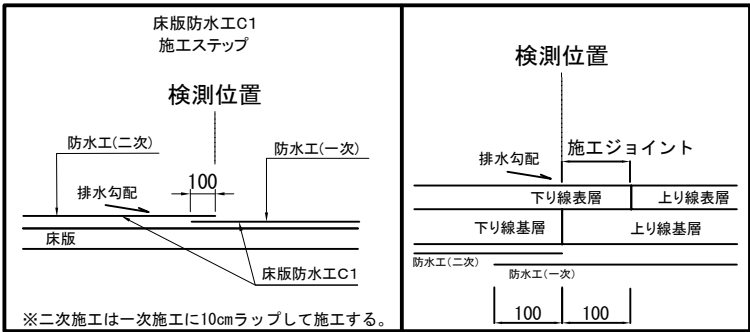
詳細図(1)

床版防水工C1
床版防水工C1 構成断面図

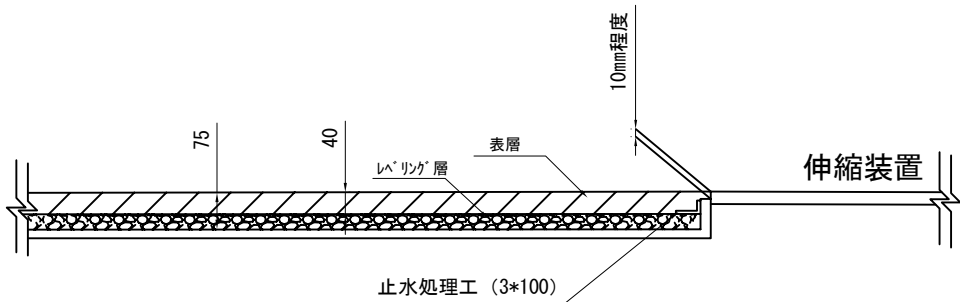
片倉高架橋
笹部川橋

A部拡大図

橋梁名	上下区分	施工範囲					
		延長 (m)	幅員 (m)	非常駐車帯 (m ²)	控除分排水柵箇所数 (290×750) m	控除面積	総計 (m ²)
片倉高架橋	上り線	280.0	5.25	75.0	10	2.2	1542.8
	下り線	280.0	4.75	75.0	0	0.0	1405.0
笹部川橋	上り線	55.0	5.25	-	0	0.0	288.8
	下り線	55.0	4.75	-	1	0.2	261.1

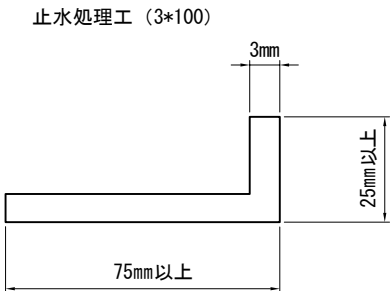


止水処理工(橋梁伸縮装置部詳細図)



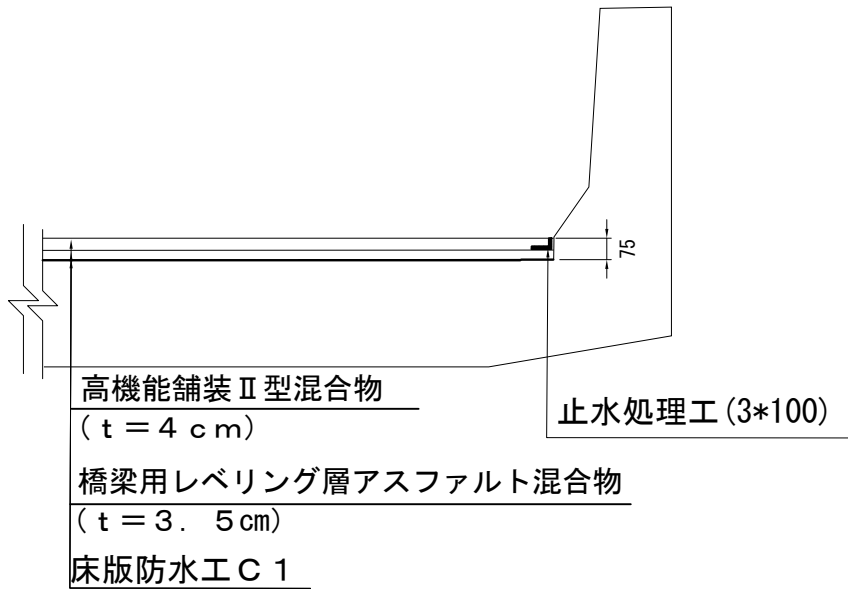
止水処理材 規格値

材料項目	目地厚さ	試験項目	試験法	規格値	備考
成形目地材	3mm	針入度	舗装調査・試験法便覧A102	6mm以下 (円錐25℃)	
		流度		5mm以下 (60℃)	
		引張量		3mm以上 (-10℃)	



床版防水工C1詳細配置図

※ 施工については設計要領第1集(舗装保全編)令和6年7月による

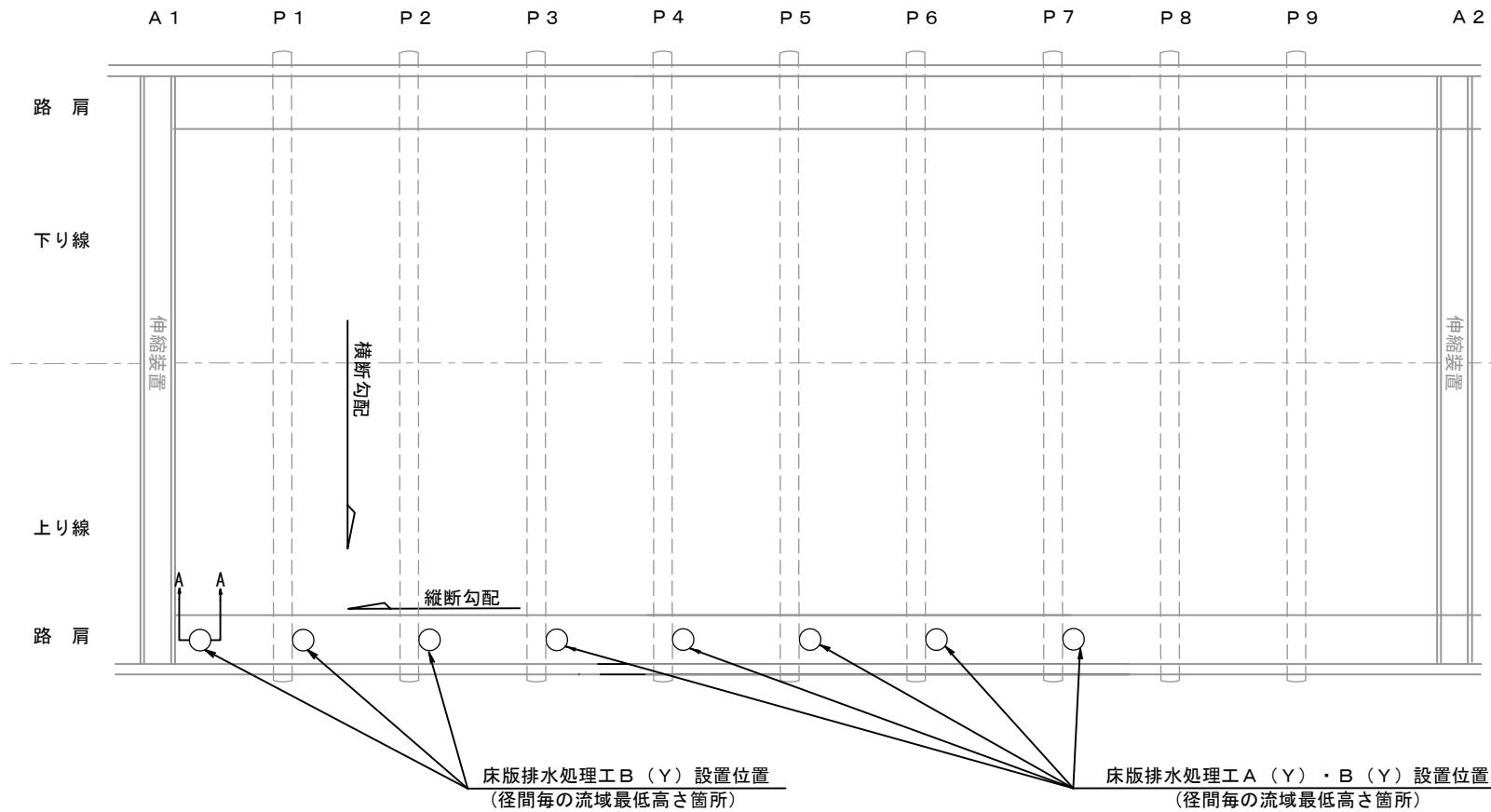


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(1)		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

詳細図（２）

床版排水処理工 A（Y）・B（Y）

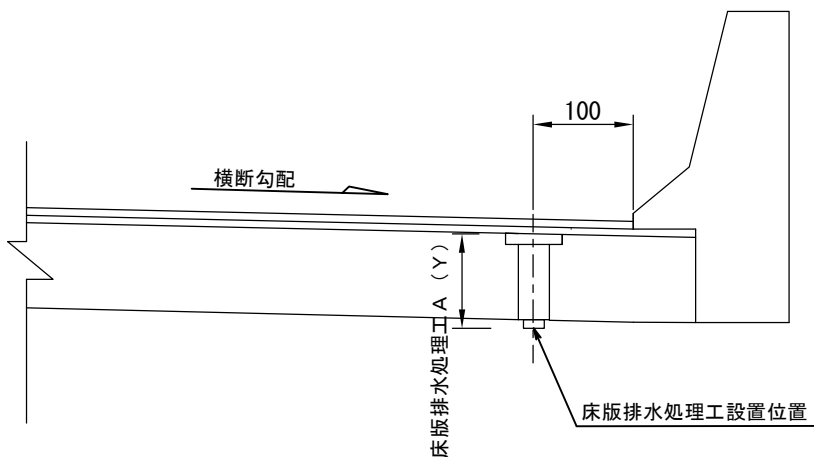
設置平面図（片倉高架橋）



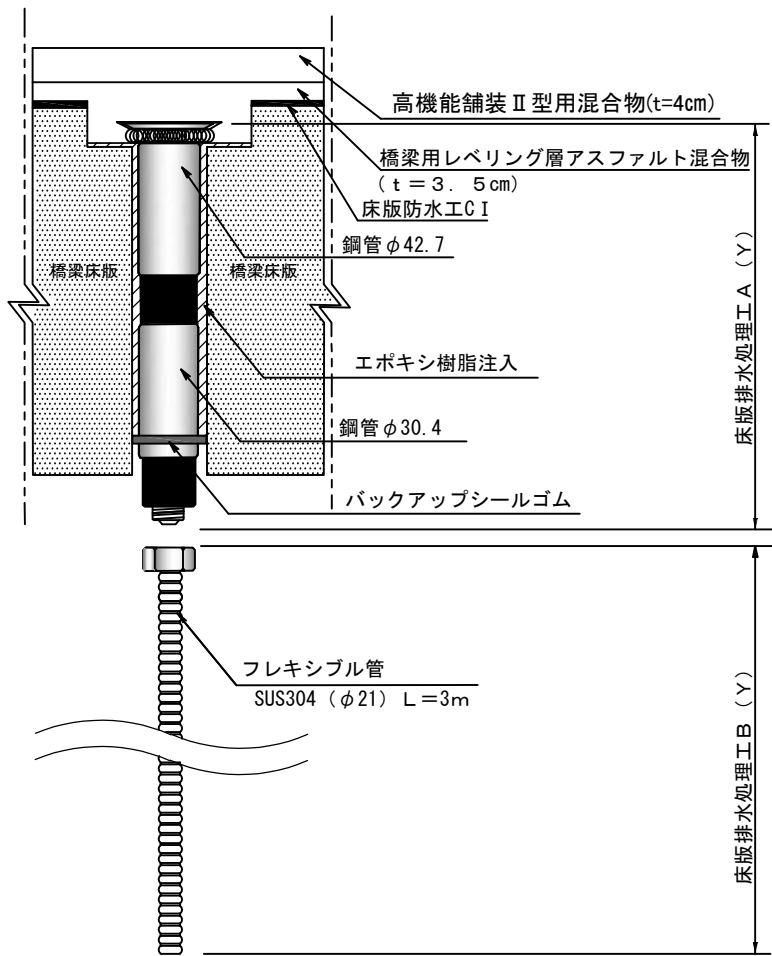
設置平面図（笹部川橋）



設置断面図



A-A断面図



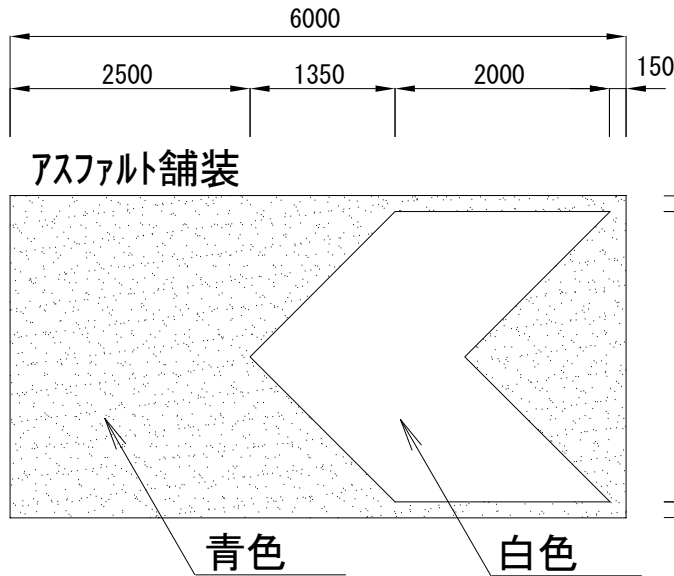
※床版排水処理工Bの端部は橋梁排水管に削孔し接続する。
※床版排水処理工設置位置は床版の鉄筋と干渉しない位置とする。

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（２）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

詳細図（3）

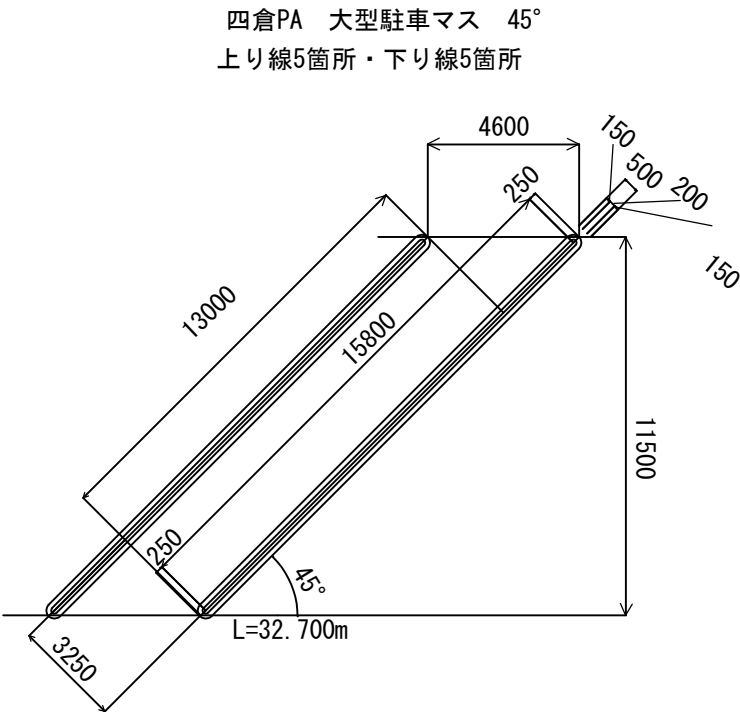
薄層舗装工・路面標示工（1）

薄層舗装工 A（Y）・B（Y）詳細図

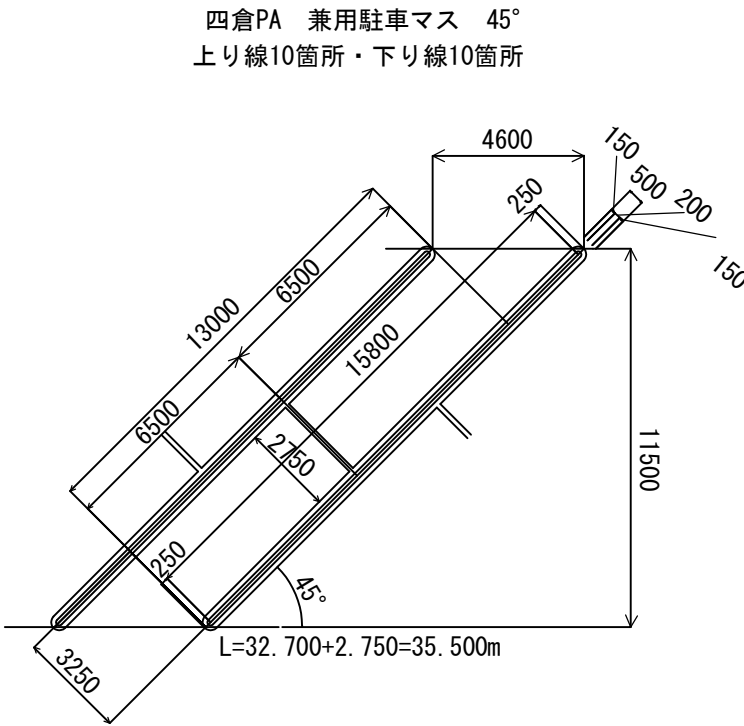


工区	施工箇所	上下線	始点MP～終点MP	走行区分	区分	個数	数量 (㎡)	備考
岩越道	いわき三和	Eランプ	10MP～145MP	—	薄層舗装工 A	1	12.6	青色（夜間）
岩越道	いわき三和	Eランプ	10MP～145MP	—	薄層舗装工 B	1	5.4	白色（夜間）

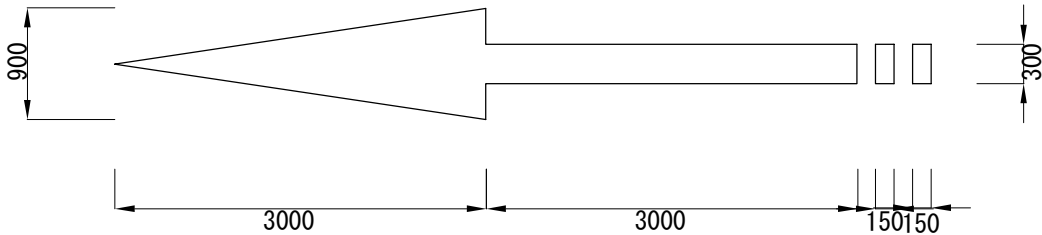
路面標示標準型 A1 詳細図（1）



路面標示標準型 A1 詳細図（2）

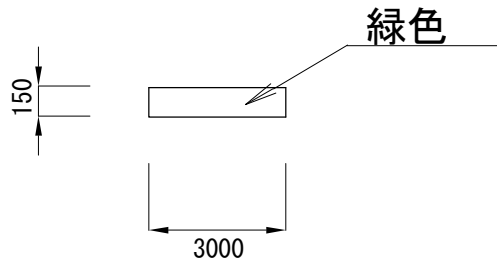


路面標示標準型 E1・E1（Y）詳細図



工区	施工箇所	上下線	始点MP (MP)～終点MP (MP)	走行区分	区分	個数	数量 (㎡)	備考
常磐道	いわき四倉IC～広野IC	上り線	201.581KP～201.828KP	上り線	矢印	4	9.2	夜間
岩越道	いわき三和IC	Eランプ	10MP～145MP	—	矢印	4	9.2	夜間
岩越道	いわき三和IC	Eランプ	220MP～229MP	—	矢印	2	4.6	夜間

路面標示標準型 D2（Y）詳細図



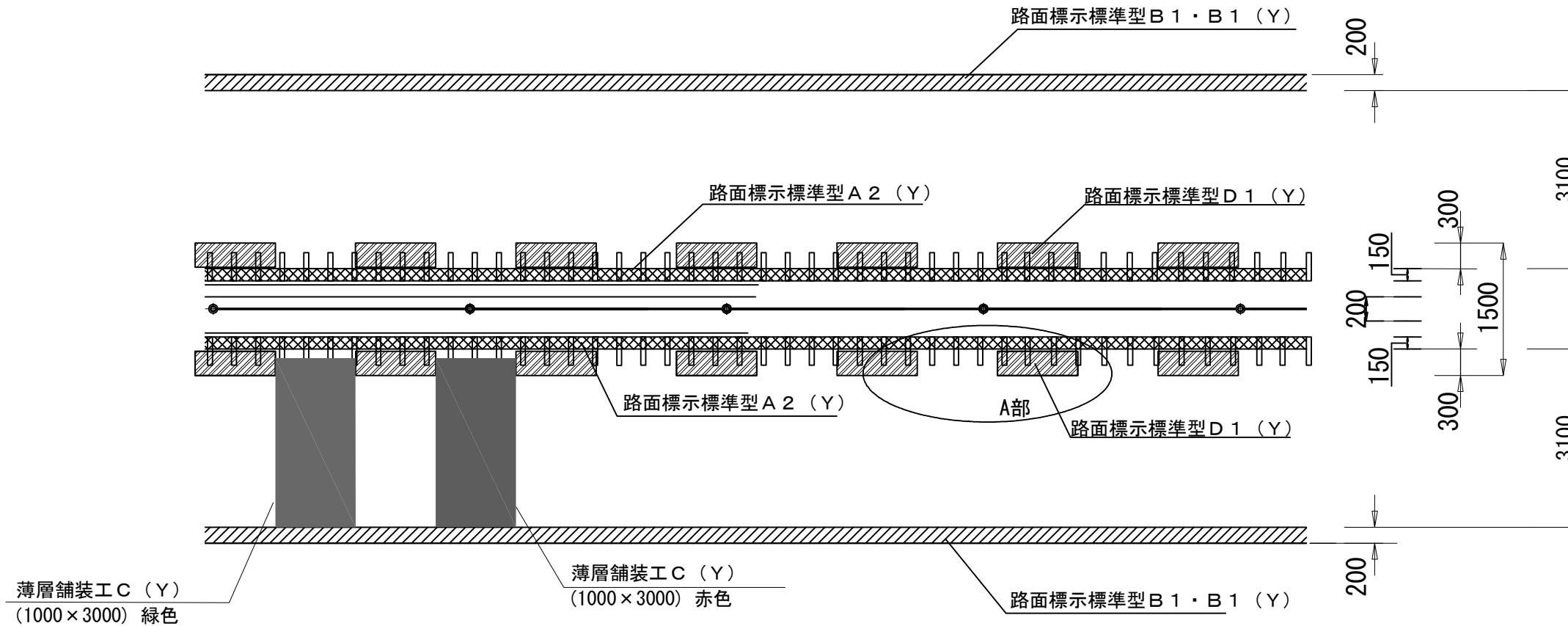
工区	施工箇所	上下線	始点MP～終点MP	走行区分	区分	個数	数量 (㎡)	備考
薄層舗装	いわき三和	Eランプ	220MP～229MP	—	路面標示	8	9.6	緑色（夜間）

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（3）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

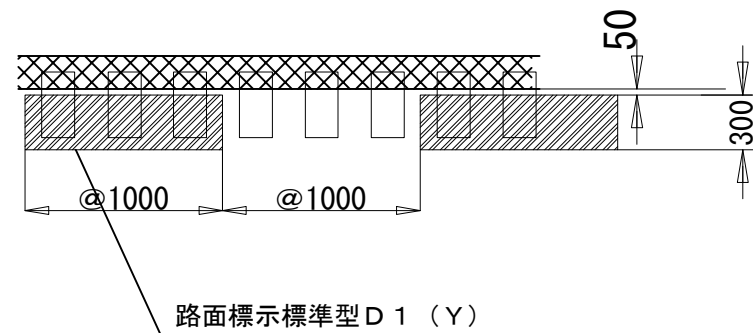
詳細図(4)

路面標示工・薄層舗装工(2)

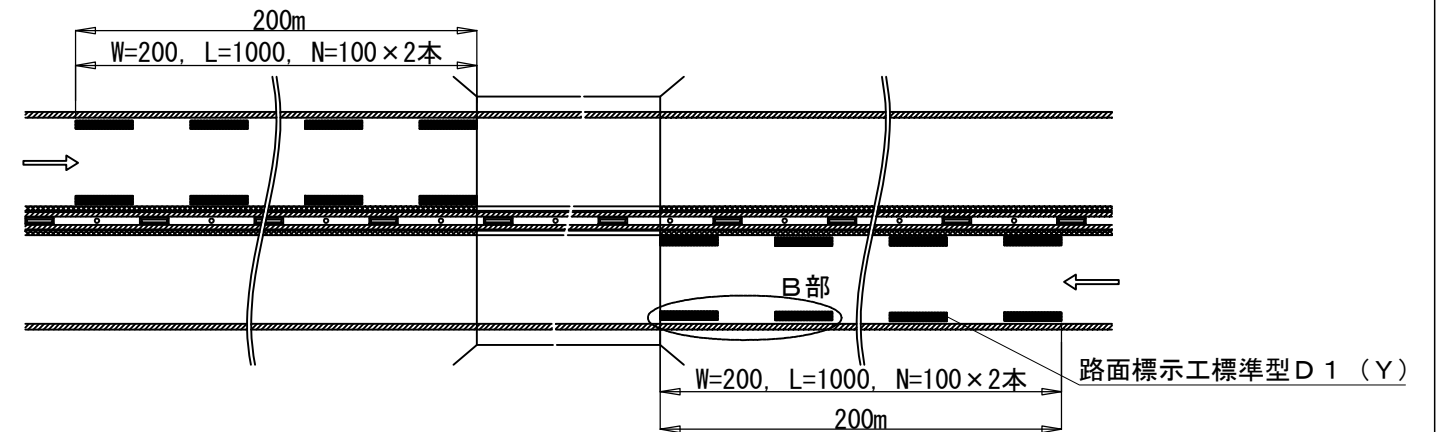
暫定2車線 標準



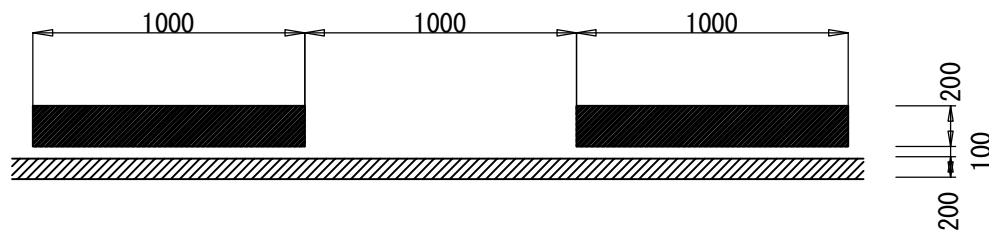
A部拡大図



橋梁部 導流レーン 暫定二車線 (WR区間外)



B部拡大図

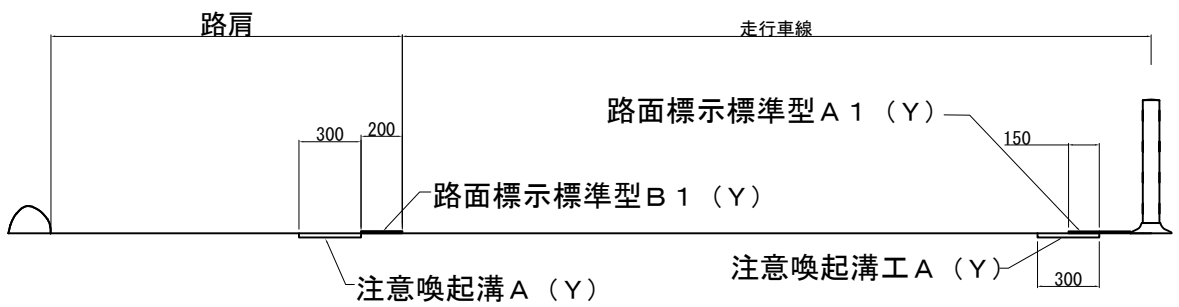


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事	
図面の種類	詳細図(4)
縮尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所

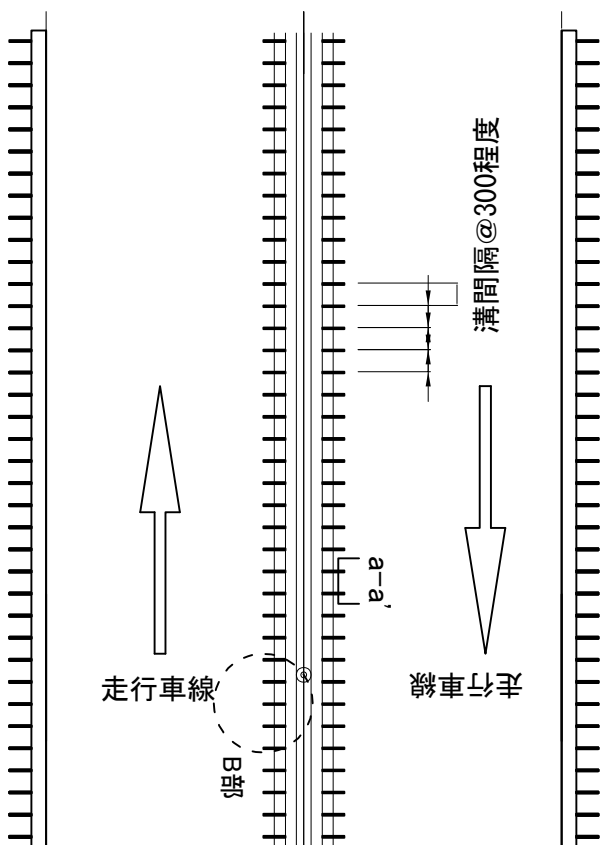
詳細図(5)

注意喚起溝工A・A(Y)

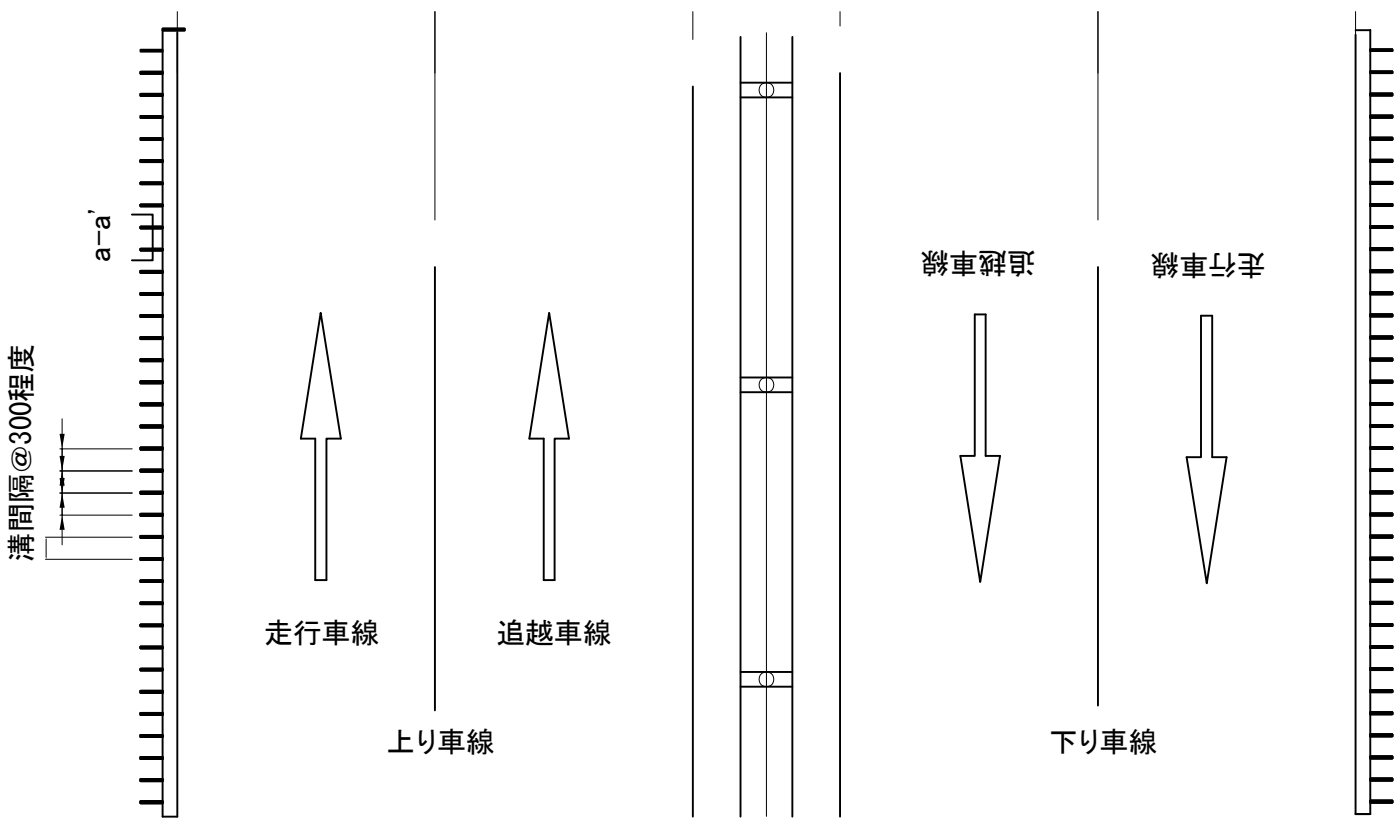
横断図(暫定2車線)



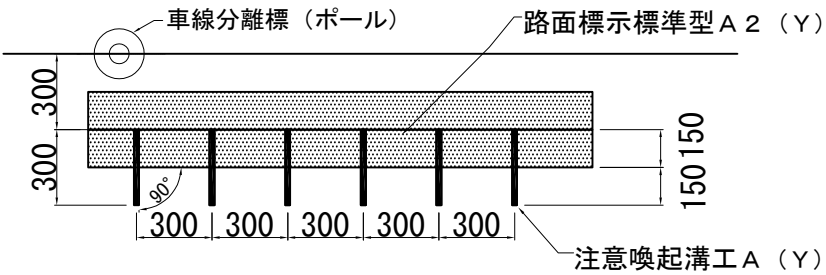
二車線部標準断面図



四車線部標準断面図



B部詳細図



a-a'部詳細図



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(5)		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

詳細図(6)
車線区分柵設置工一般図(1)
LD-D4(Y)

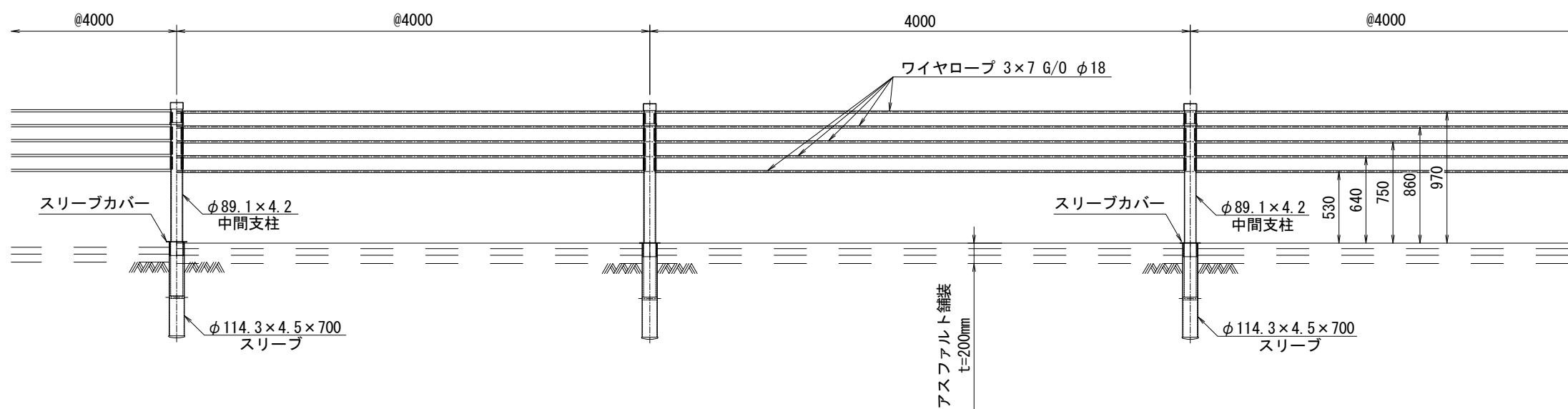
平面図

車線区分柵設置工 LD-D4(Y)

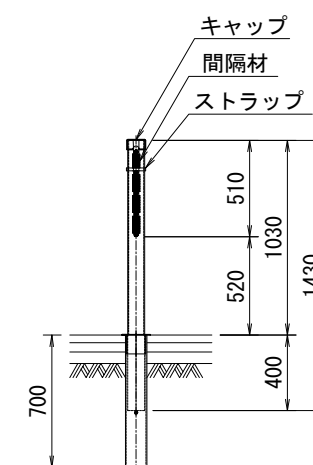


車線区分柵工 LD-D4 (Y)

正面图



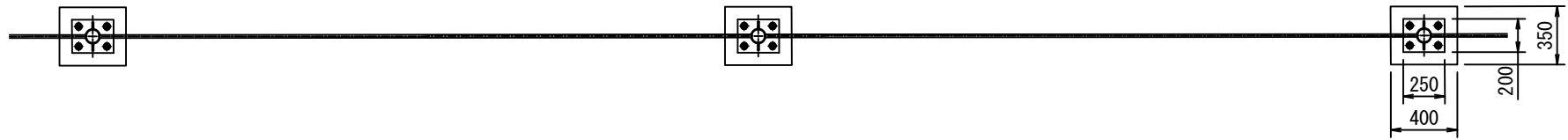
断面図



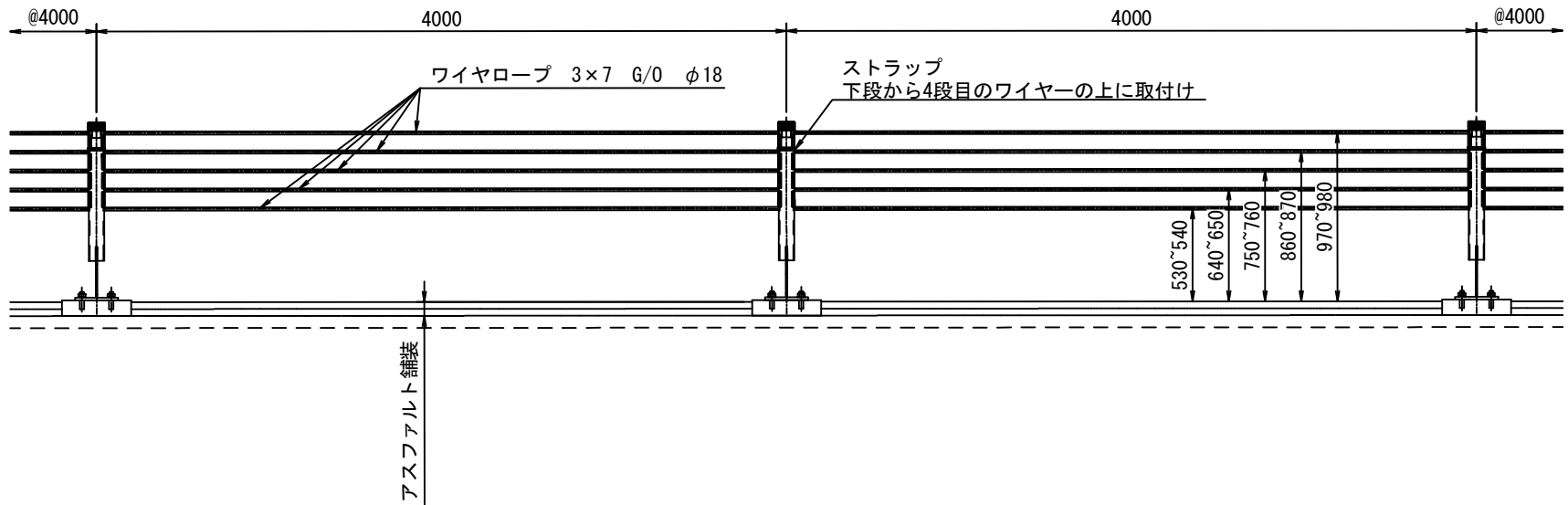
<p align="center">常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事</p>			
図面の種類	詳 細 図 (6)		
縮 尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支 い わ き 管 理 事 務 所		

詳細図(7)
車線区分柵設置工 一般図(2)
LD-B4(Y)

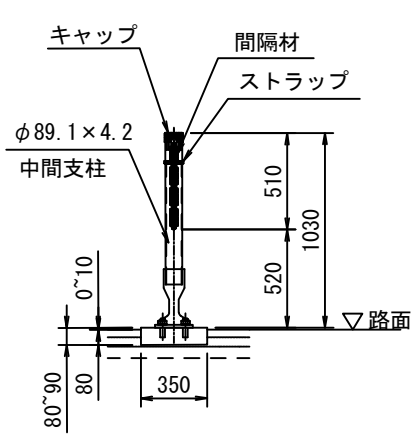
平面図



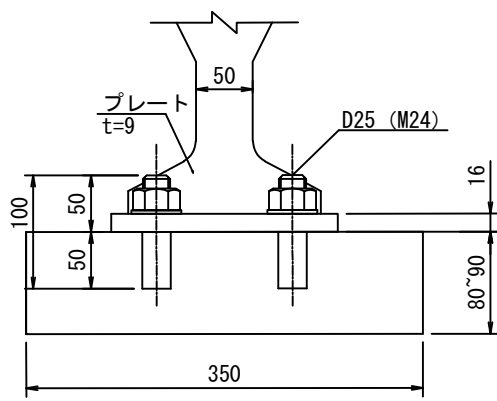
正面図



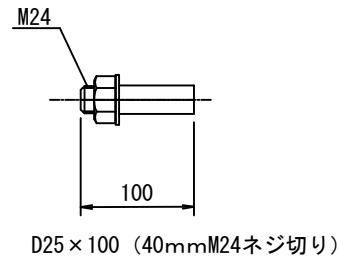
断面図



取付部 詳細図



アンカーボルト (1N, 1W)



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(7)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線区分柵設置工 LD-T2(Y)

3570以上

1675以上

車線区分柵設置工 LD-D4(Y)

250

300

正面図

車線区分柵設置工 LD-T2(Y)

車線区分柵設置工 LD-D4(Y)

断面図

断面図

断面図

間隔材 (端末支柱用)
 $\phi 60.5 \times 110$ (5ヶ/本)

520
1030
1430
510
700
400
9

断面図

キャップ

間隔材

ストラップ

700

510

1030

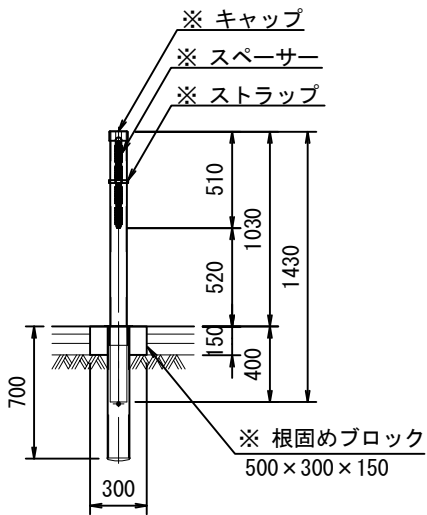
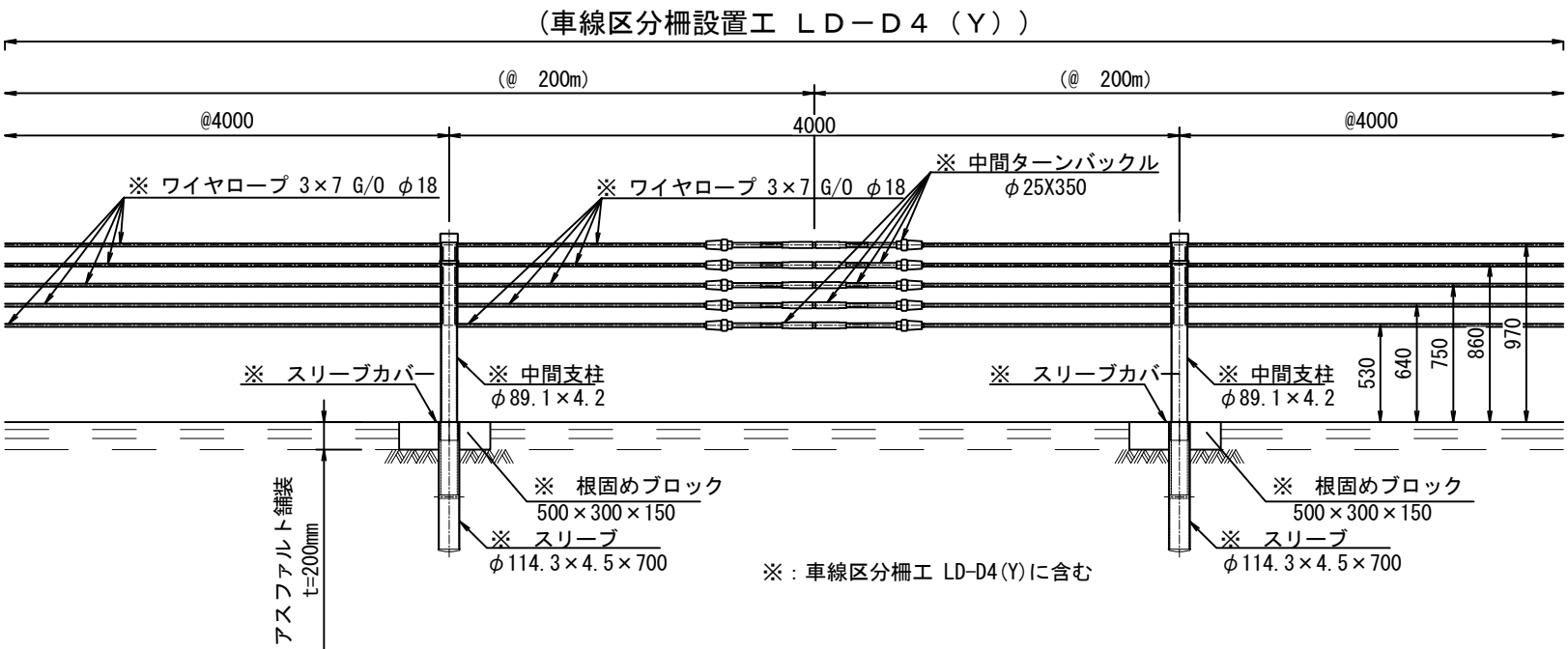
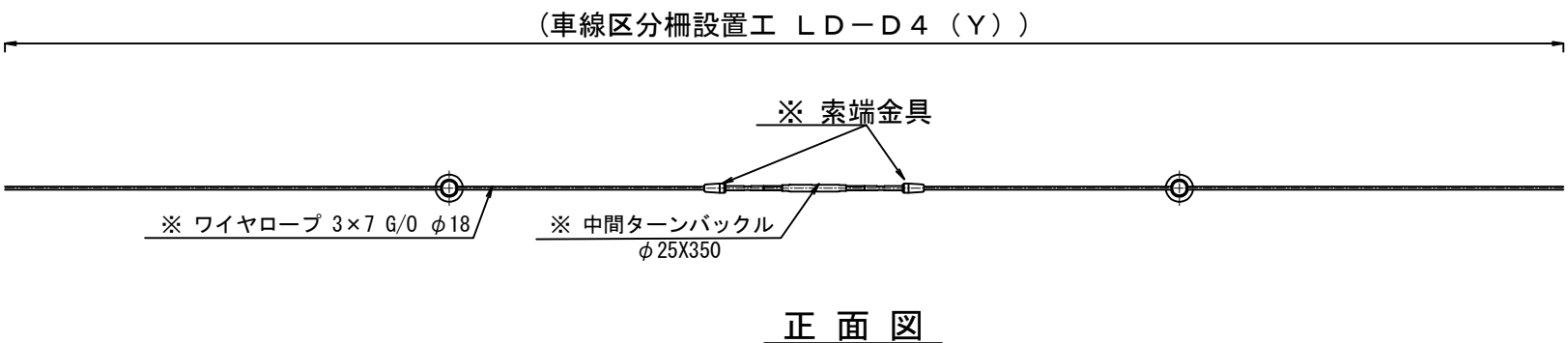
520

400

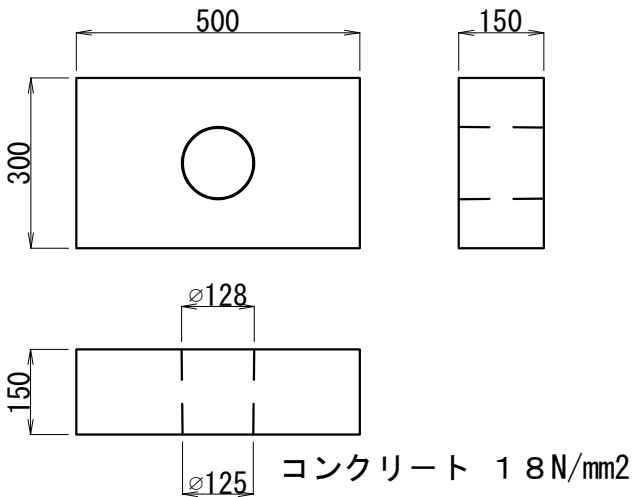
1430

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(8)		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支 いわき管理事務所		

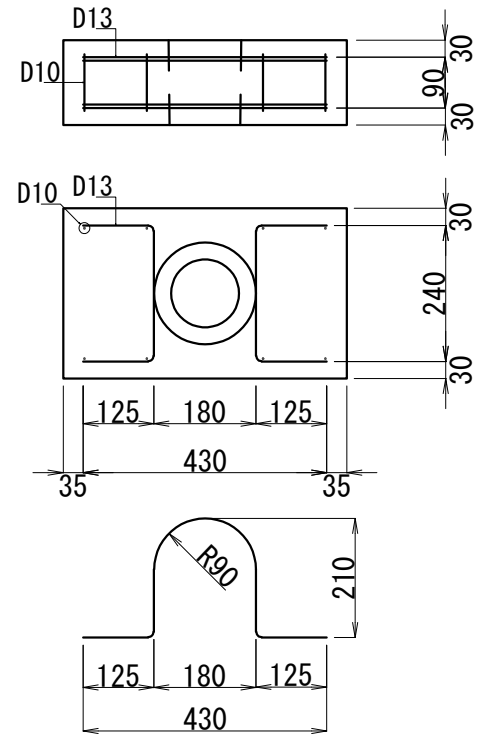
詳細図(9)
車線区分柵設置工 一般図(4)
中間接続部



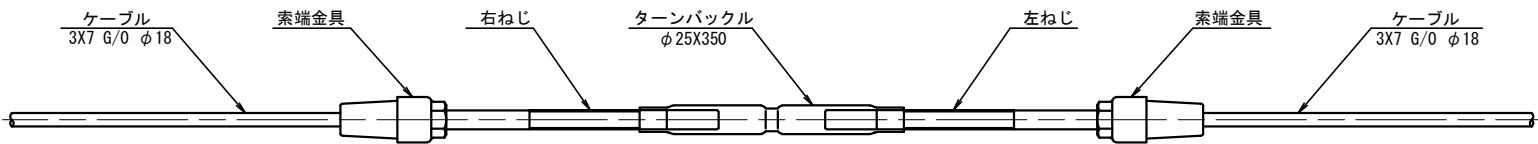
根固めブロック 詳細図



根固めブロック 配筋図



詳細図



部 材 表

(1箇所当り)

構 成	部 品 名	規格・寸法	数 量	材 質
中間接続部	索端金具	φ25X500 (W1"右)	5	SS 490
	索端金具	φ25X500 (W1"左)	5	SS 490
	ターンバックル	φ25X350 (W1")	5	STKN400相当

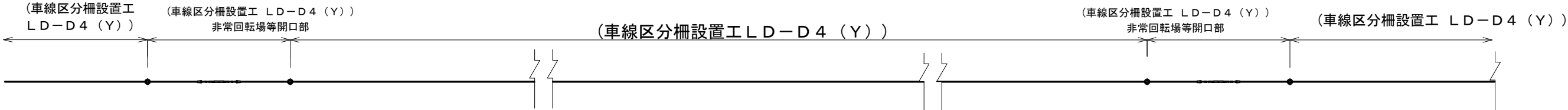
※設置間隔は、両端から100mとなる箇所に1箇所、その他の区間については200mにつき1箇所以上を基本とする

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳 細 図 (9)		
縮 尺		図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

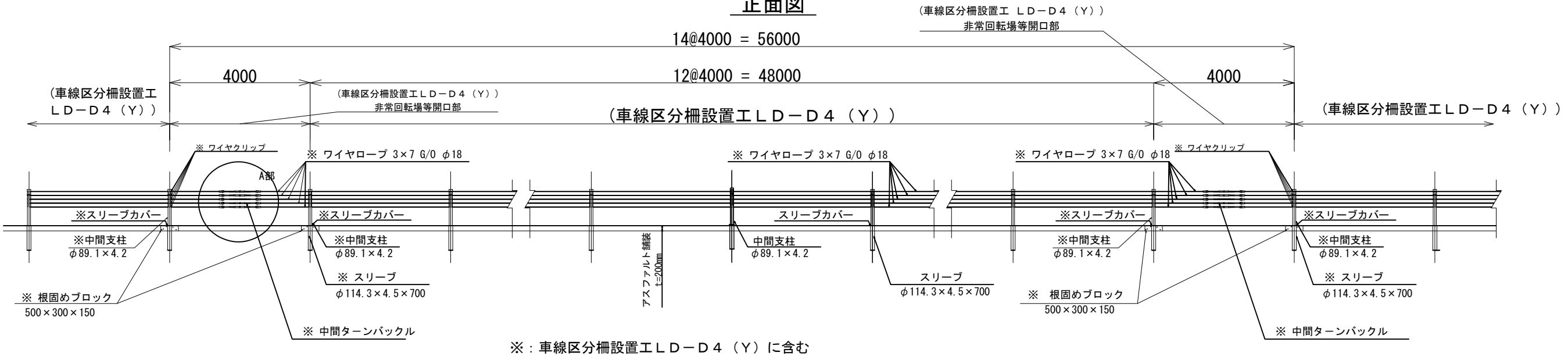
詳細図(10)

車線区分柵設置工 一般図(5)
非常回転場等開口部

平面図



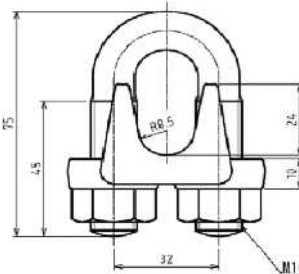
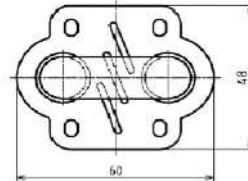
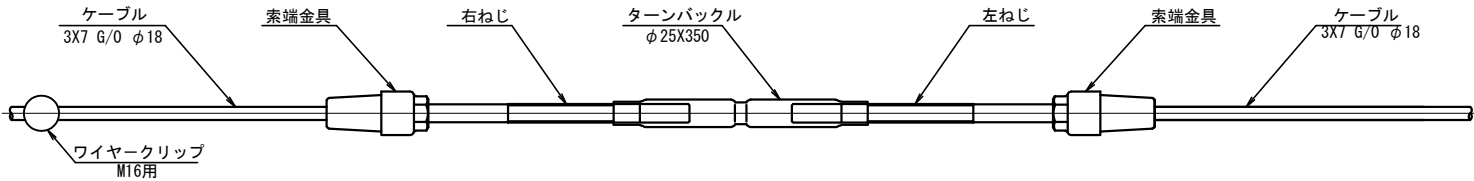
正面図



A部詳細

詳細図

ワイヤクリップ(M16)詳細図



部 材 表

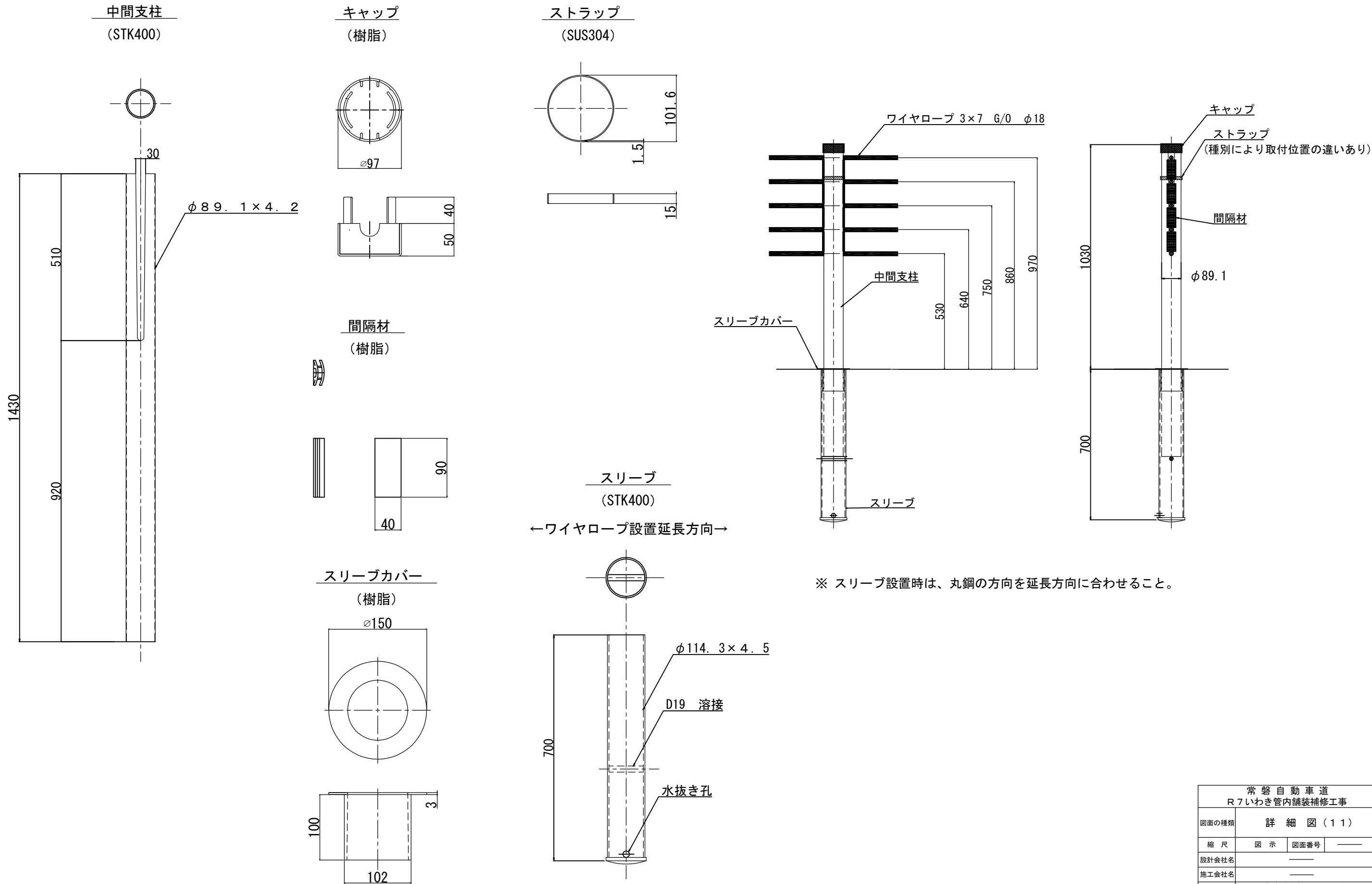
(1箇所当り)

構 成	部 品 名	規 格 ・ 寸 法	数 量	材 質
開口接続部	索端金具	φ 25X500 (W1"右)	5	SS 490
	索端金具	φ 25X500 (W1"左)	5	SS 490
	ターンバックル	φ 25X350 (W1")	5	STKN400相当
	ワイヤクリップ	M16用	5	

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事	
図面の種類	詳 細 図 (1 0)
縮 尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所

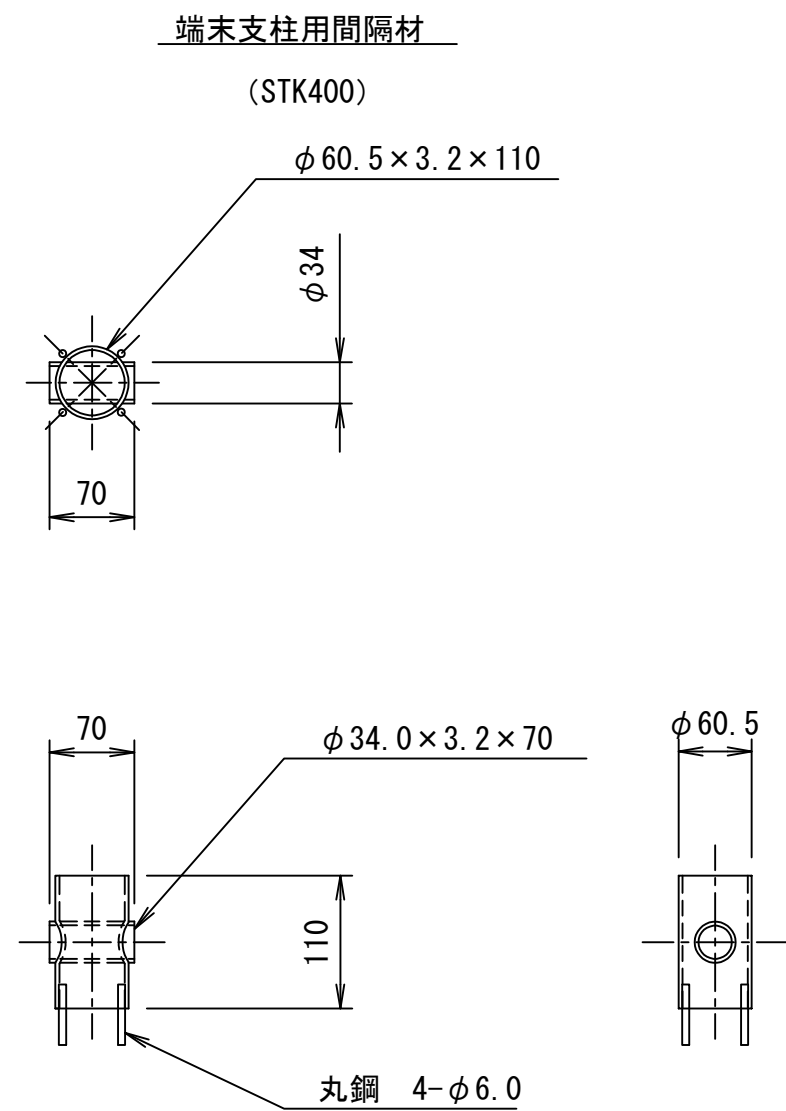
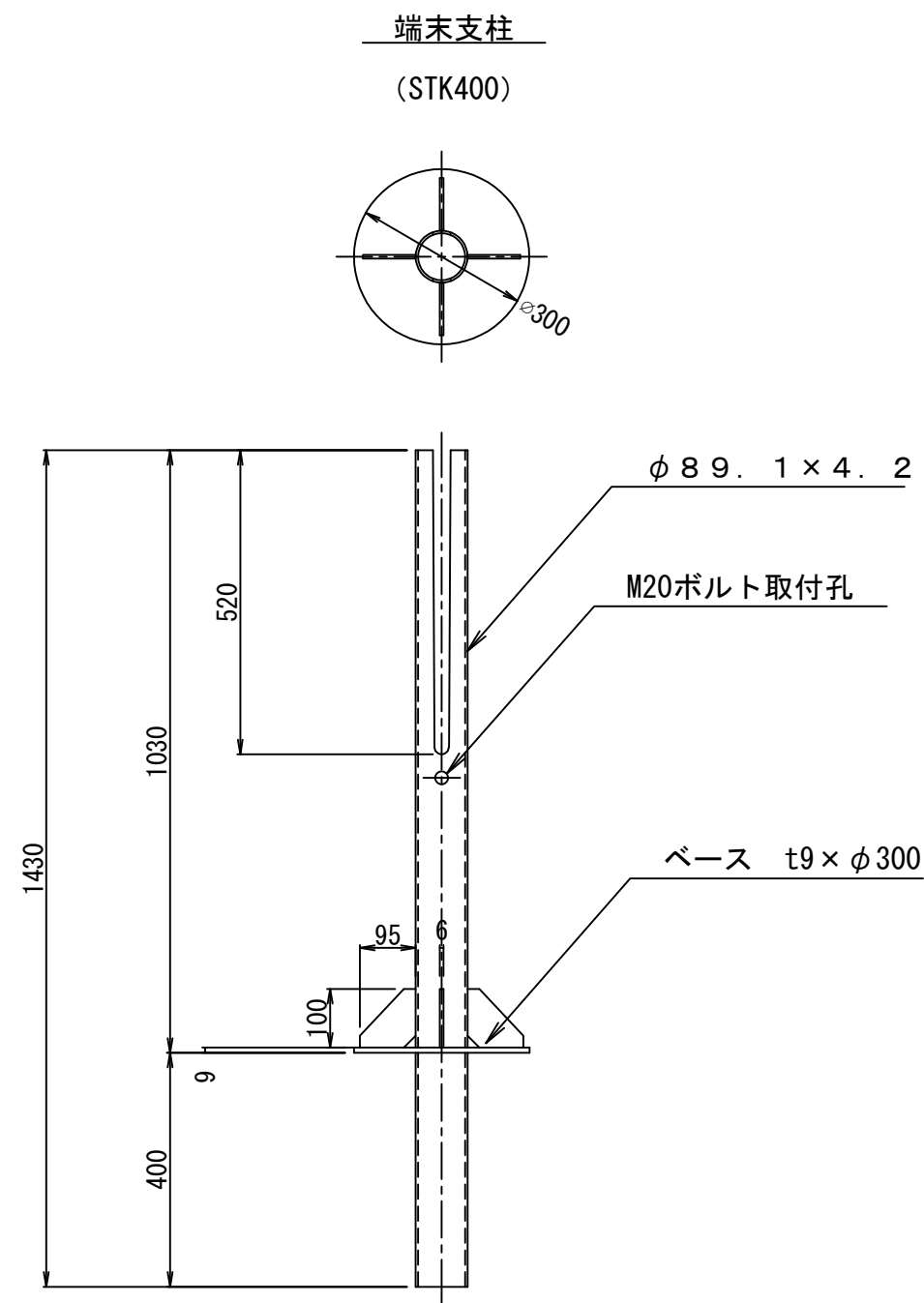
詳細図(11)

車線区分柵設置工 支柱詳細図(1)



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(11)		
縮尺	図示	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

詳細図（12）
端末支柱設置工一般図（2）

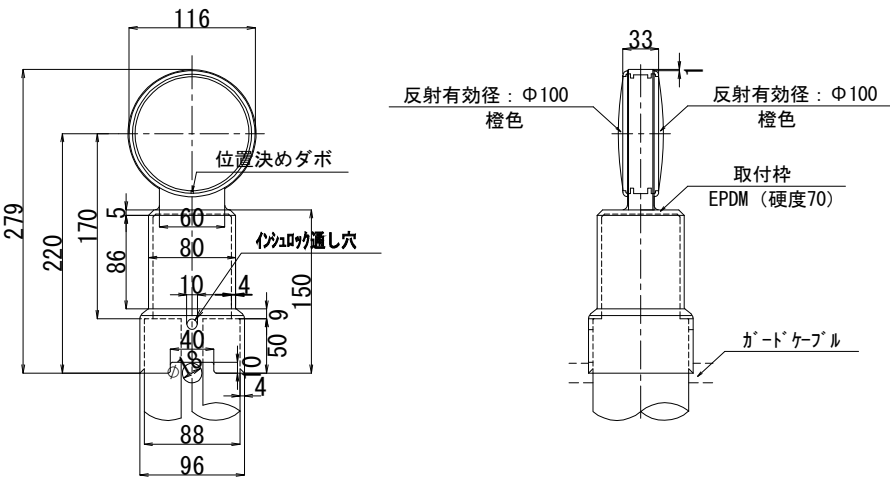


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（12）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

詳細図（13）
車線区分柵設置工 支柱詳細図（3）

視線誘導標無し

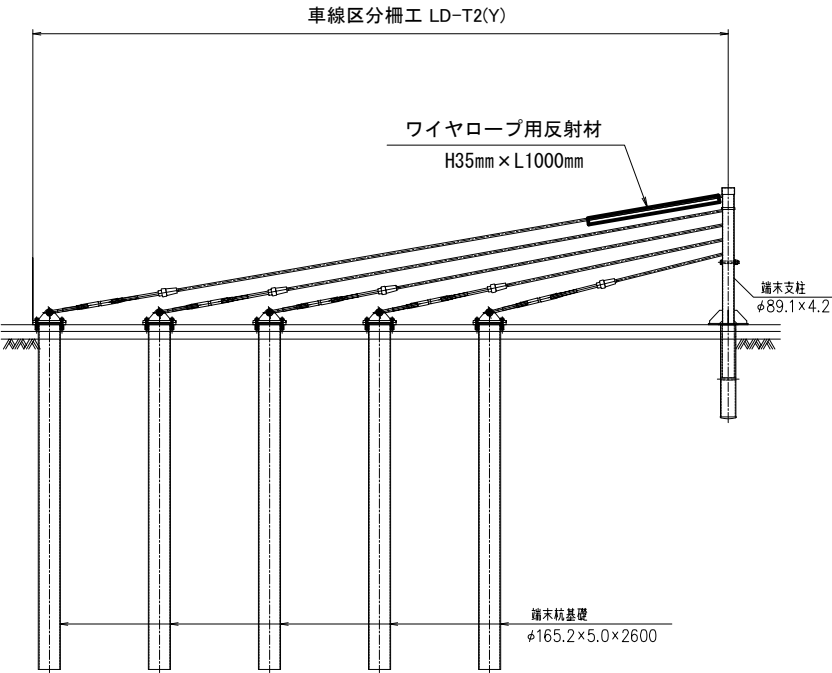
視線誘導標D1（Y）詳細図



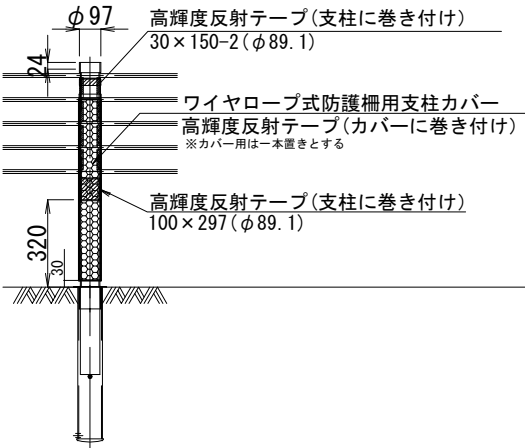
※ 視線誘導標の設置は40m毎とする

材 質	EPDM
指示無き角部はR0.3	
普通寸法許容差 (±mm)	
120以下	0.25
120を超え300以下	0.50
300を超え1000以下	1.00
1000を超える場合	2.00

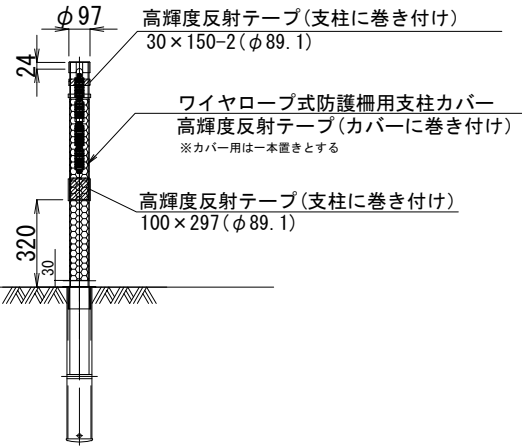
ワイヤロープ用反射材



正面図



断面図

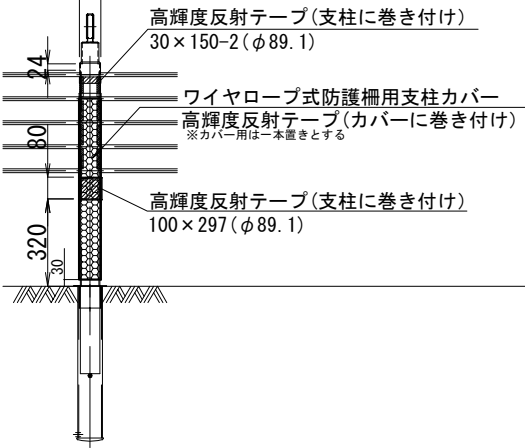


数量表		支柱1本当たり		
項 目	寸 法	単 位	数 量	摘 要
高輝度反射テープ	30×150	枚	2	支柱巻き付け
	100×297	枚	1	支柱巻き付け
	100×297	枚	1	※カバー巻き付け

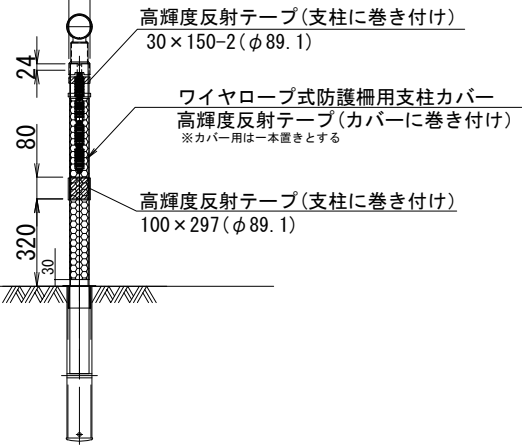
※カバー用は一本置きとする

視線誘導標有り

正面図



断面図



数量表		支柱1本当たり		
項 目	寸 法	単 位	数 量	摘 要
高輝度反射テープ	30×150	枚	2	支柱巻き付け
	100×297	枚	1	支柱巻き付け
	100×297	枚	1	※カバー巻き付け

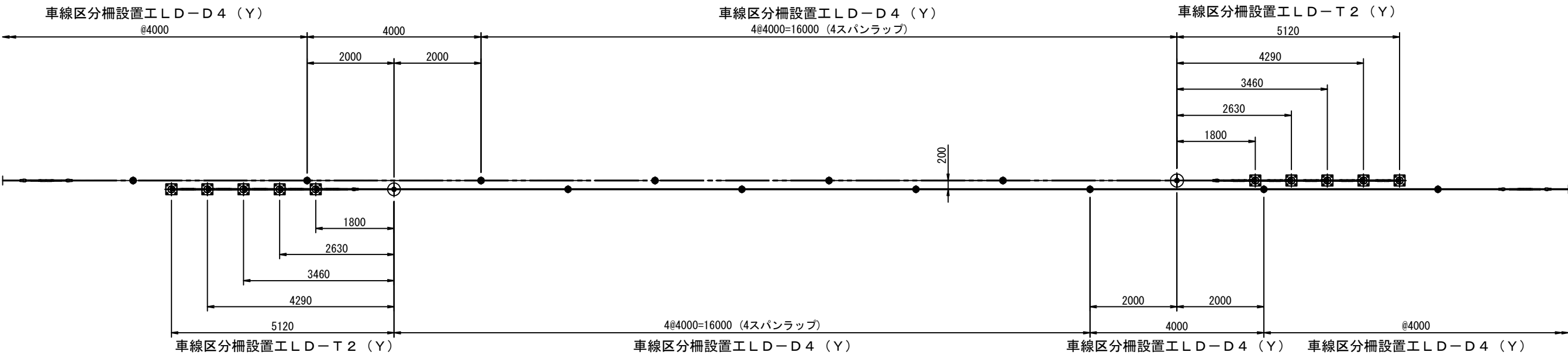
※カバー用は一本置きとする

常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（13）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

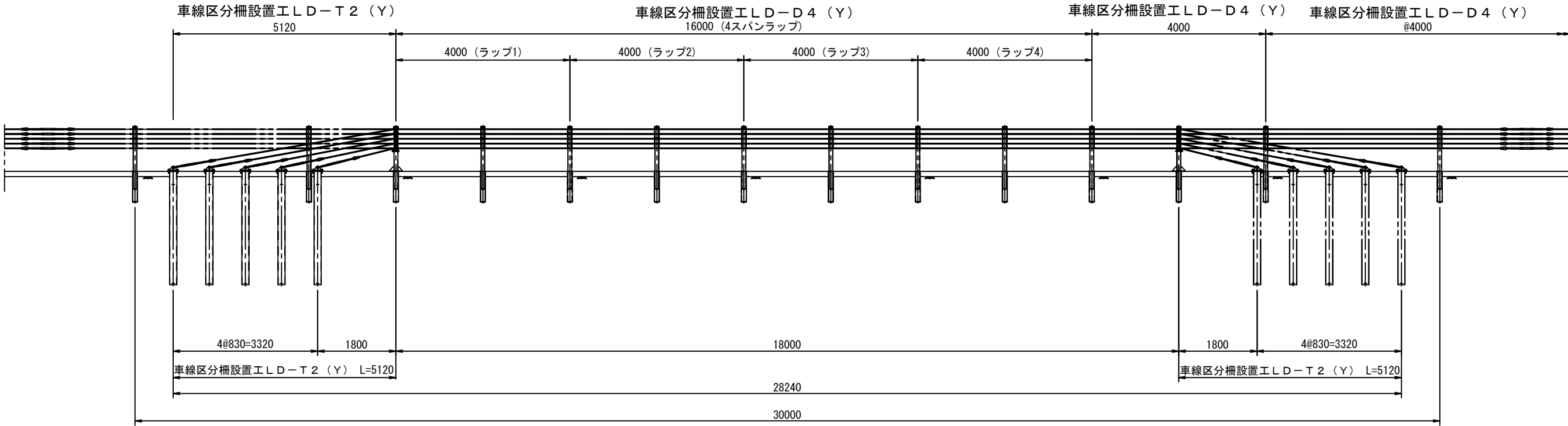
詳細図（14）

車線区分柵設置工 中間端末部詳細図

平面図

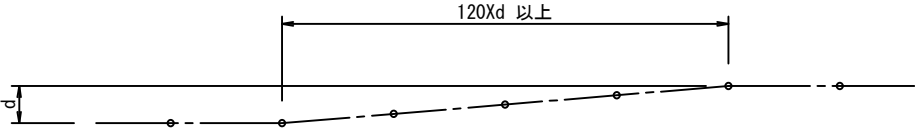


正面図



すり付け方法

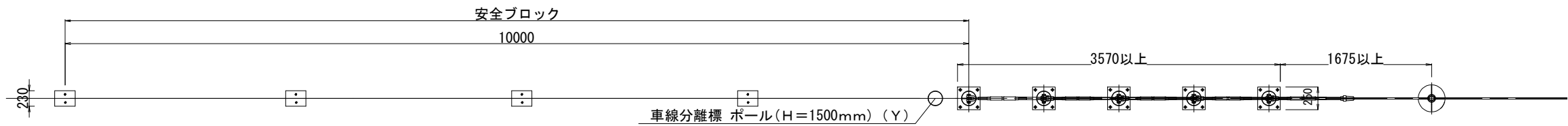
中間端末部両端のすり付けは、滑らかにすり付けること。
すり付け区間の長さは、シフト量dの120倍以上とする。



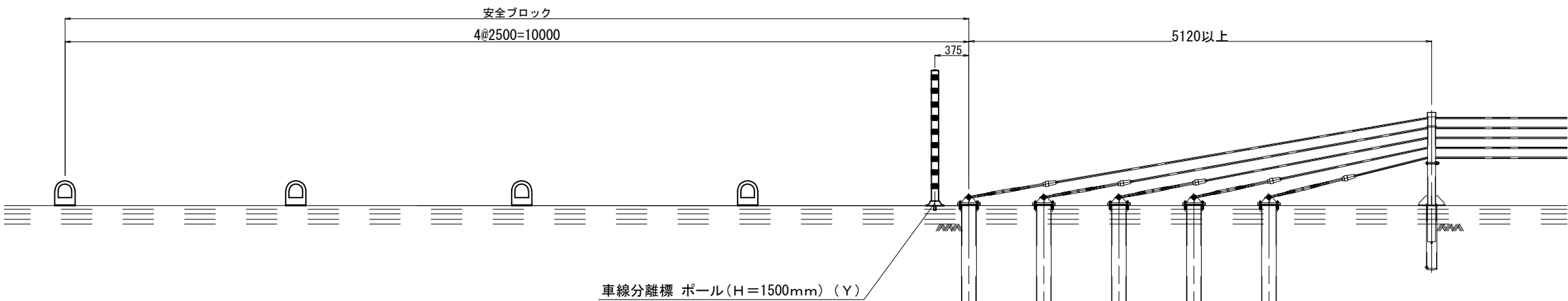
常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（14）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

衝撃緩衝工詳細図
安全ブロック工 (Y)
車線分離標 ポール (H=1500mm) (Y)

平面図

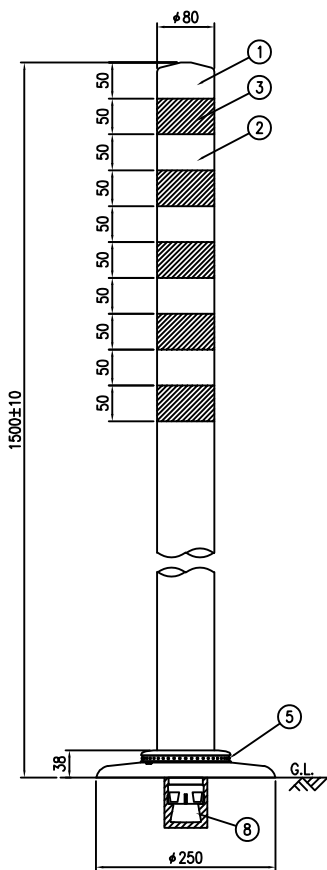


正面図

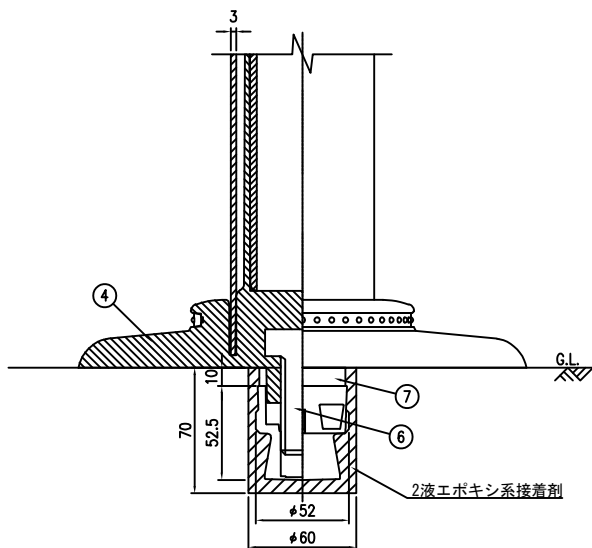


車線分離標 ボール (H=1500mm) (Y)

品 番	品 名	数 量	材 質	備 考
①	キャップ	1	特殊ウレタン樹脂	燈 色
②	本 体	1	特殊ウレタン樹脂	燈 色
③	反 射 材	5	フレキシブルプリズム反射シート	白 色
④	ベース部	1	特殊ウレタン樹脂	燈 色
⑤	反 射 体	—	ガラスビーズ	白 色
⑥	取付ボルト	1	ステンレス (M24×55)	———
⑦	スプレー	1	合成ゴム	———
⑧	埋込アンカー	1	アルミニウム合金	———

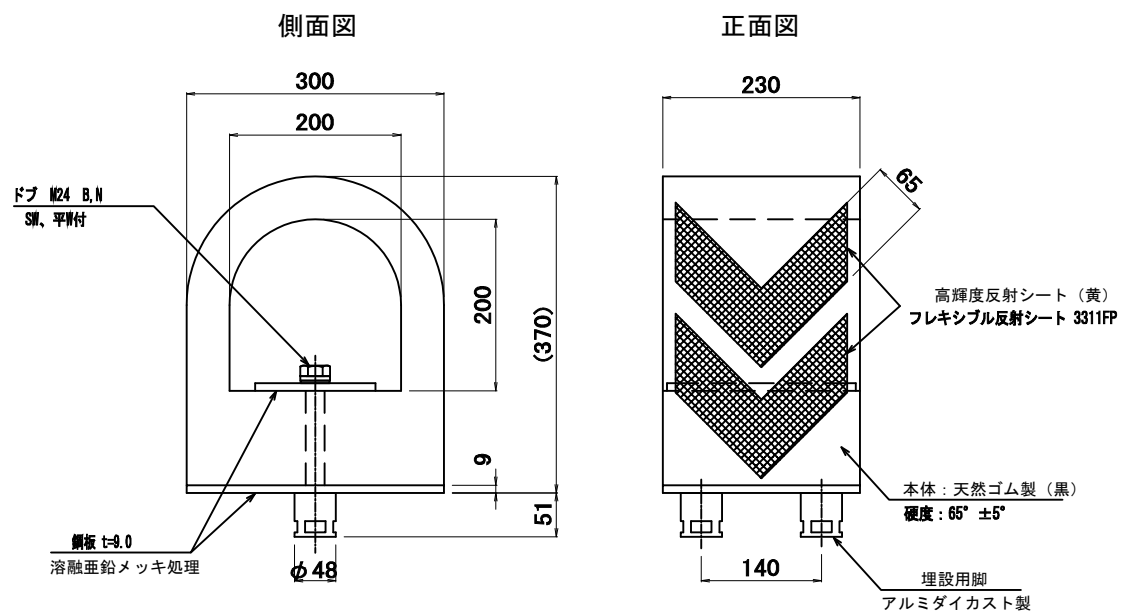


設置区



ベース部詳細図

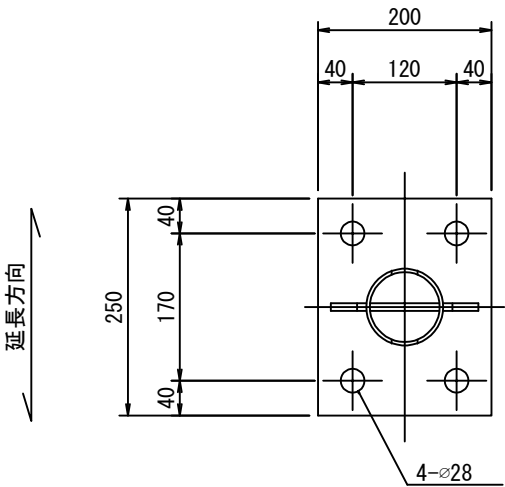
安全ブロック工（Y）詳細図



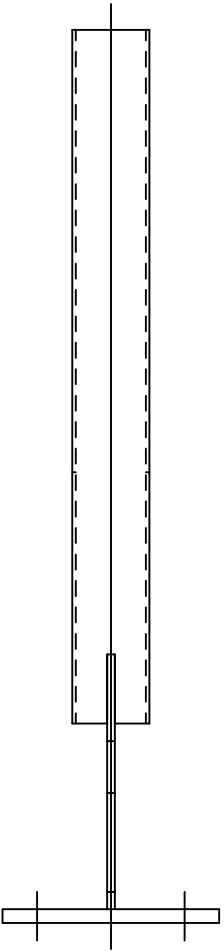
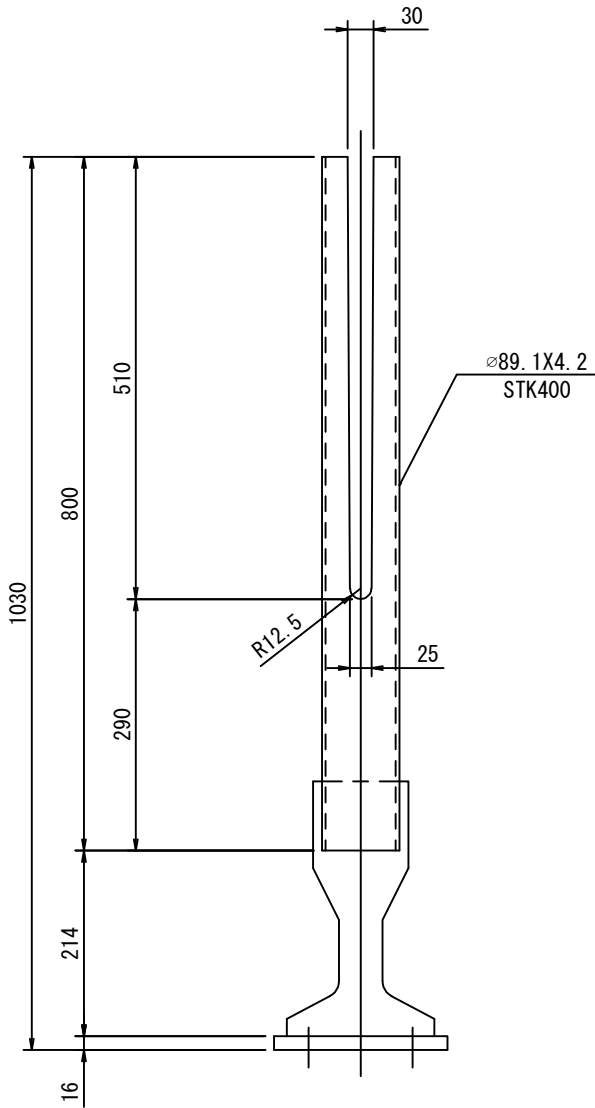
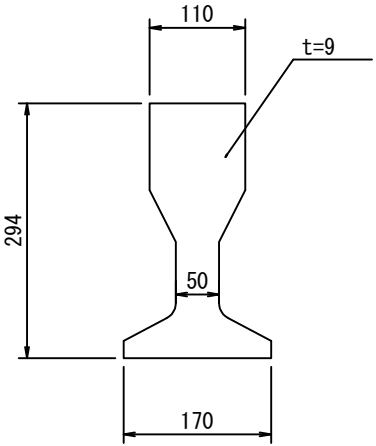
<div>常磐自動車道</div> <div>R7いわき管内舗装補修工事</div>			
図面の種類	詳細図(15)		
縮尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	<div>東日本高速道路株式会社 東北支社</div> <div>いわき管理事務所</div>		

詳細図（16）

車線区分柵設置工 支柱詳細図 橋梁部(1)



リブプレート詳細

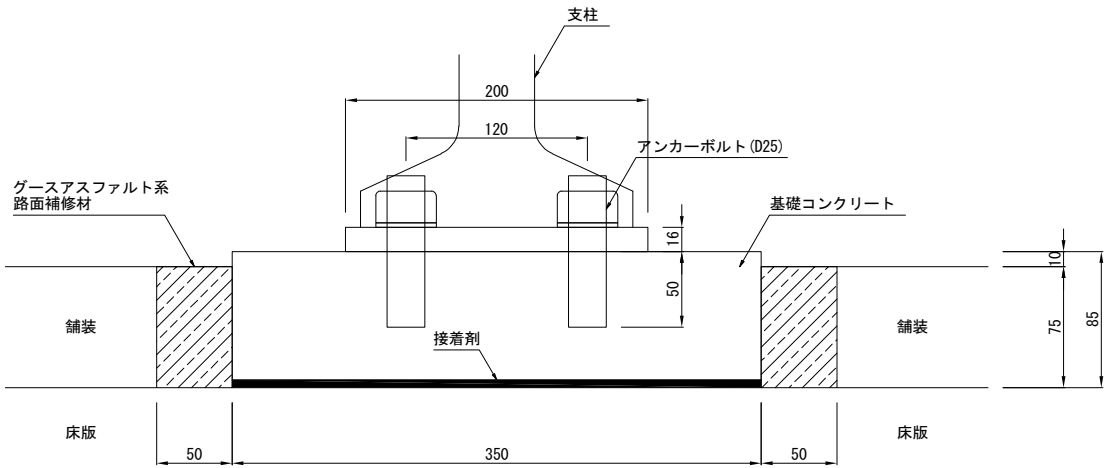


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（16）		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

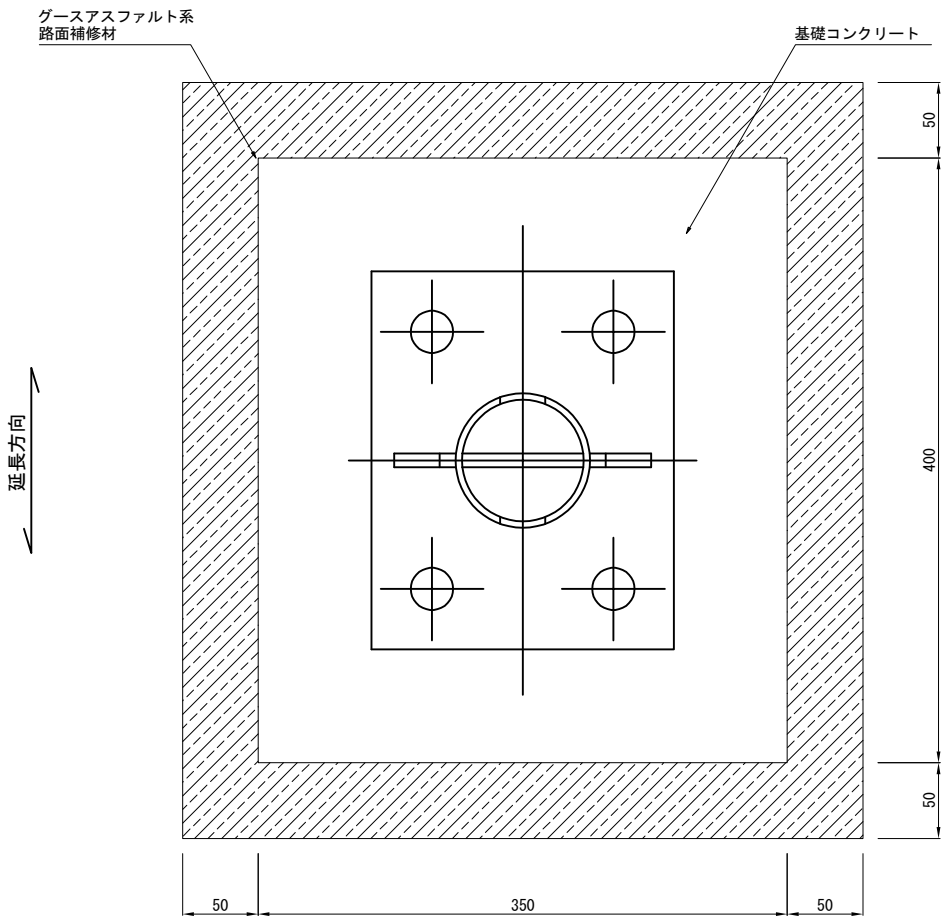
詳細図（17）

車線区分柵設置工 支柱詳細図 橋梁部(2)
基礎コンクリート（Y）

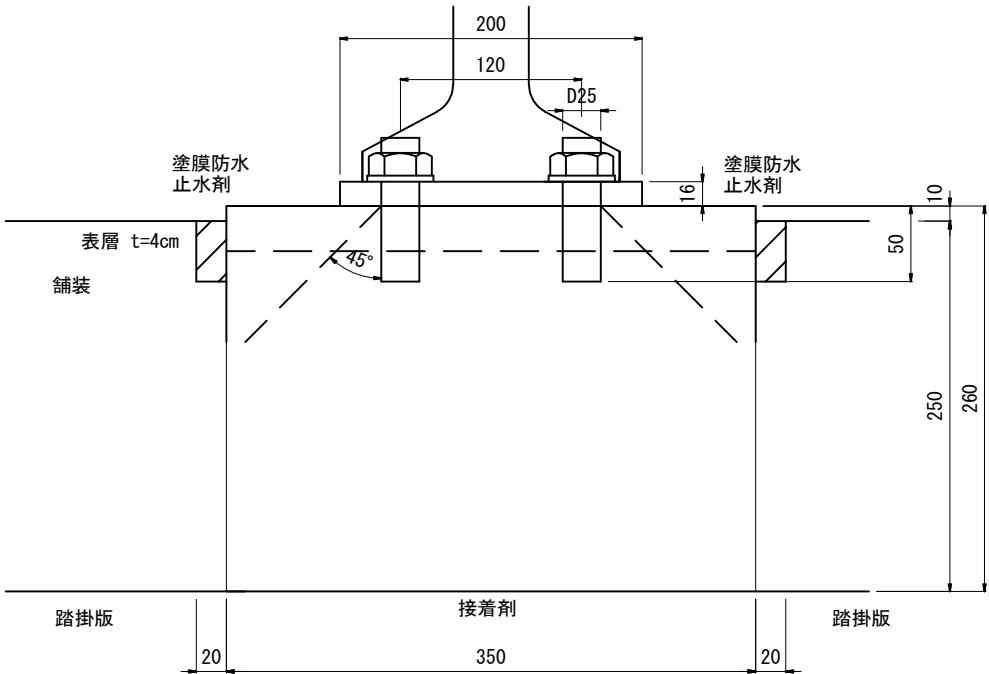
【床版部 断面図】



【平面図】



【踏掛版部 断面図】



数量表

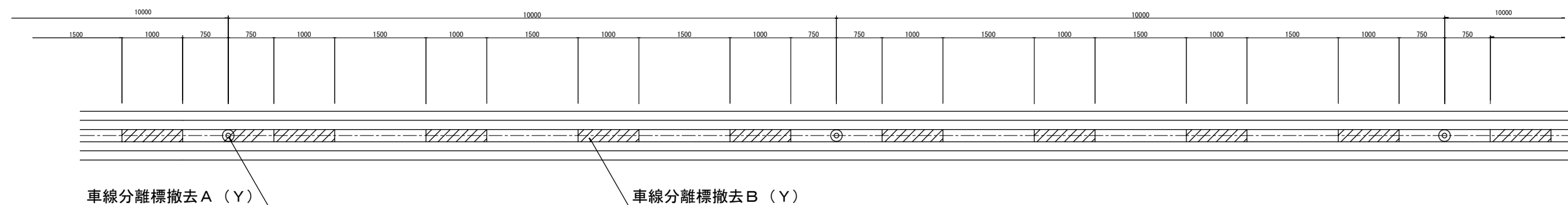
橋梁名	設置延長 (m) LD-B4	支柱設置		基礎コンクリート			備 考
		床版部 (本)	踏掛版部 (本)	床版部 (m³)	踏掛版部 (m³)	合 計 (m³)	
遅沢川橋	39.000	9	2	0.107	0.072	0.179	広野IC～常磐富岡IC
後田橋	35.000	8	2	0.095	0.072	0.167	広野IC～常磐富岡IC
西平橋	25.000	5	2	0.060	0.072	0.132	常磐富岡IC～浪江IC
田尻川橋	43.000	10	2	0.119	0.072	0.191	常磐富岡IC～浪江IC
川房川橋	46.000	12	2	0.143	0.072	0.215	浪江IC～南相馬IC

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳 細 図（17）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管 理 事 務 所		

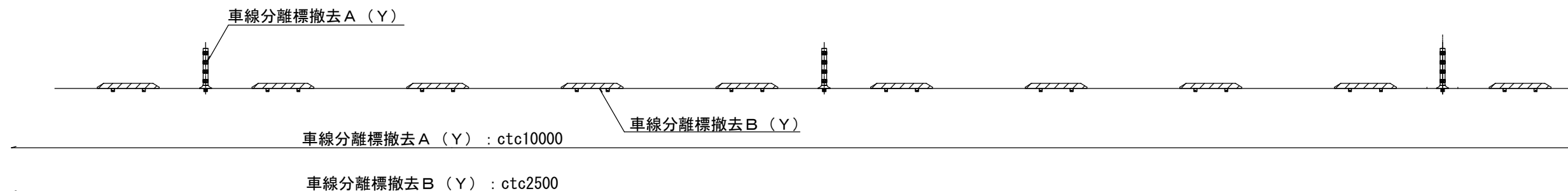
詳細図（18）

車線分離標撤去A（Y）・B（Y）詳細図

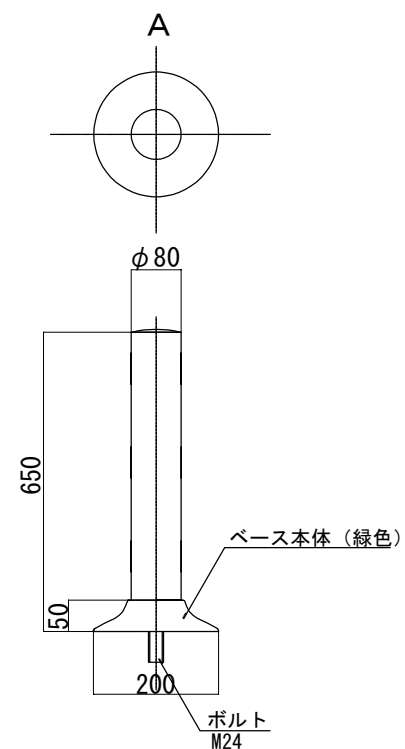
平面図



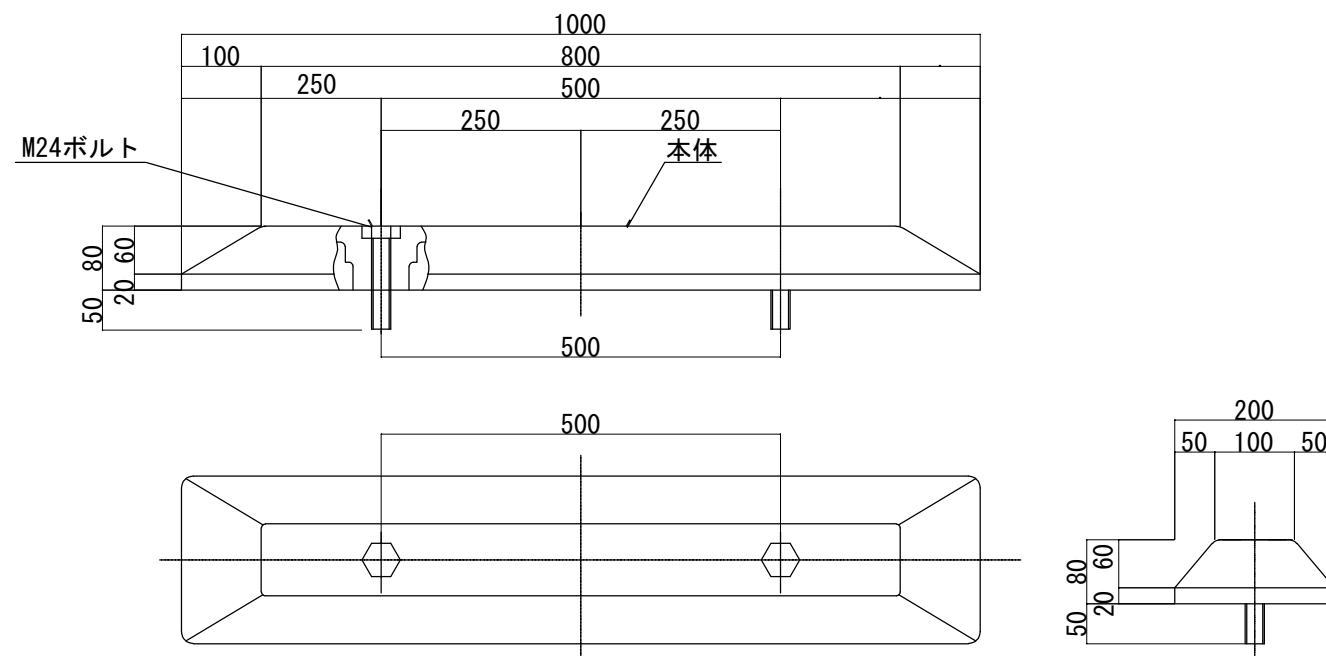
側面図



車線分離標撤去A（Y） 構造図



車線分離標撤去B（Y） 構造図

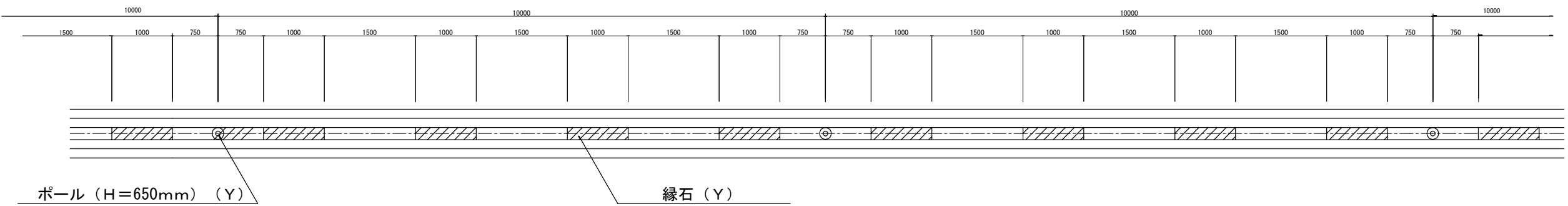


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図（18）		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

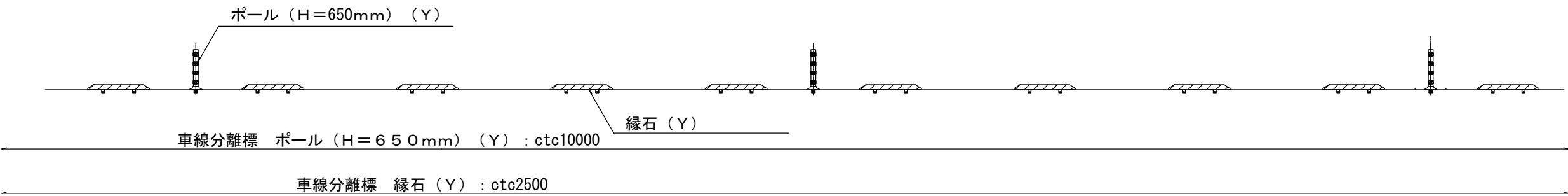
詳細図（19）

車線分離標ポール（H＝650mm）（Y）・車線分離標縁石（Y）詳細図

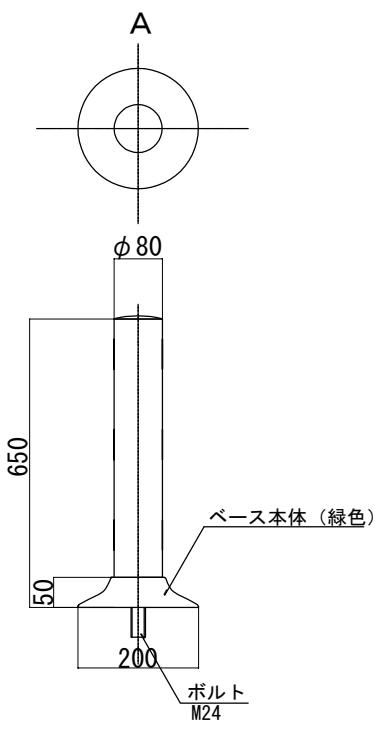
平面図



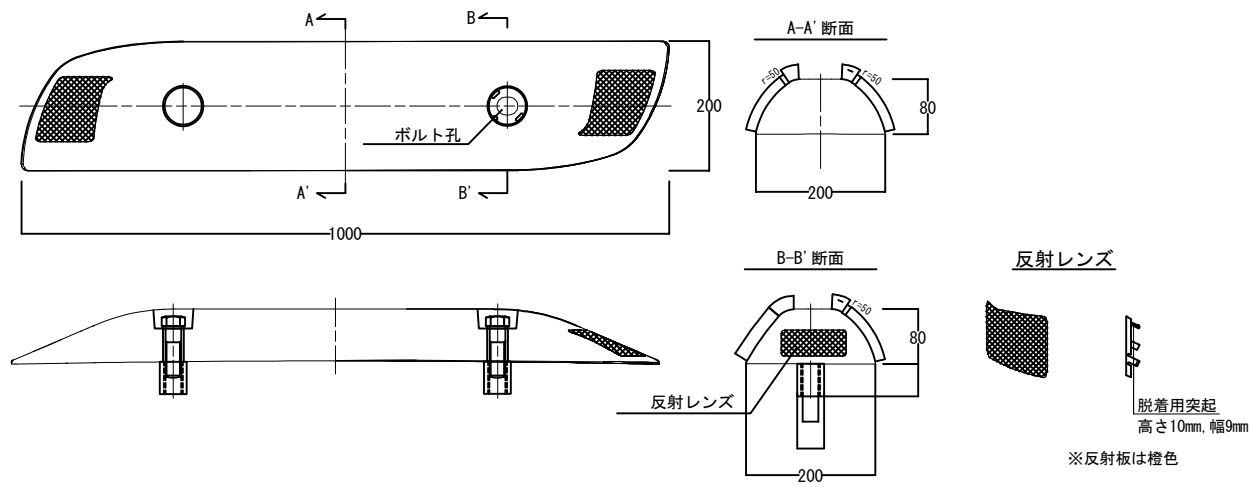
側面図



車線分離標 ポール（H＝650mm）（Y） 構造図



車線分離標 縁石（Y） 構造図

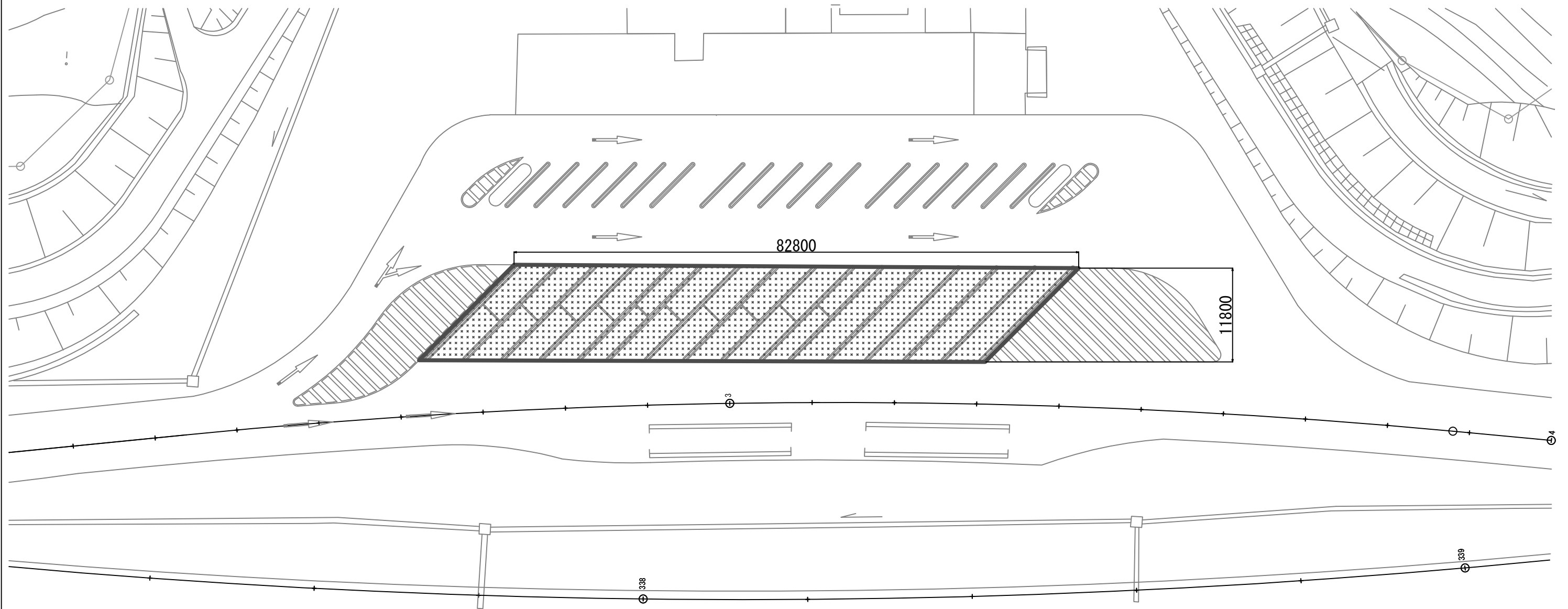


品 名	材 質	備 考
簡易分離中央線縁石	ポリエチレン樹脂(白色)	200×1000×80
ボルト	SS相当 溶融亜鉛めっき+ディスコ ルナ加工	M24×90
丸座	SS相当 溶融亜鉛めっき+ディスコ ルナ加工	M24×4
ナット	SS相当 溶融亜鉛めっき+ディスコ ルナ加工	M24×50
キャップ	ポリエチレン樹脂(白色)	
反射レンズ	プラスチック樹脂(橙色)	

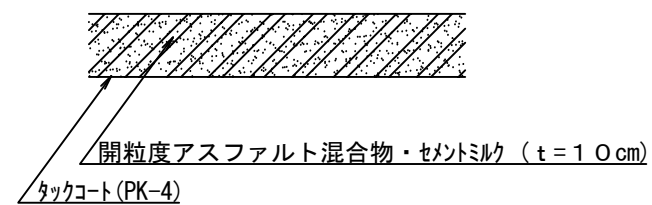
常 磐 自 動 車 道 R7 いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳 細 図（19）		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管 理 事 務 所		

詳細図(20)

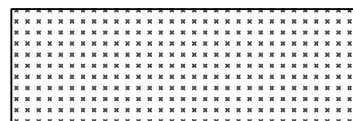
四倉PA(下り線)詳細図



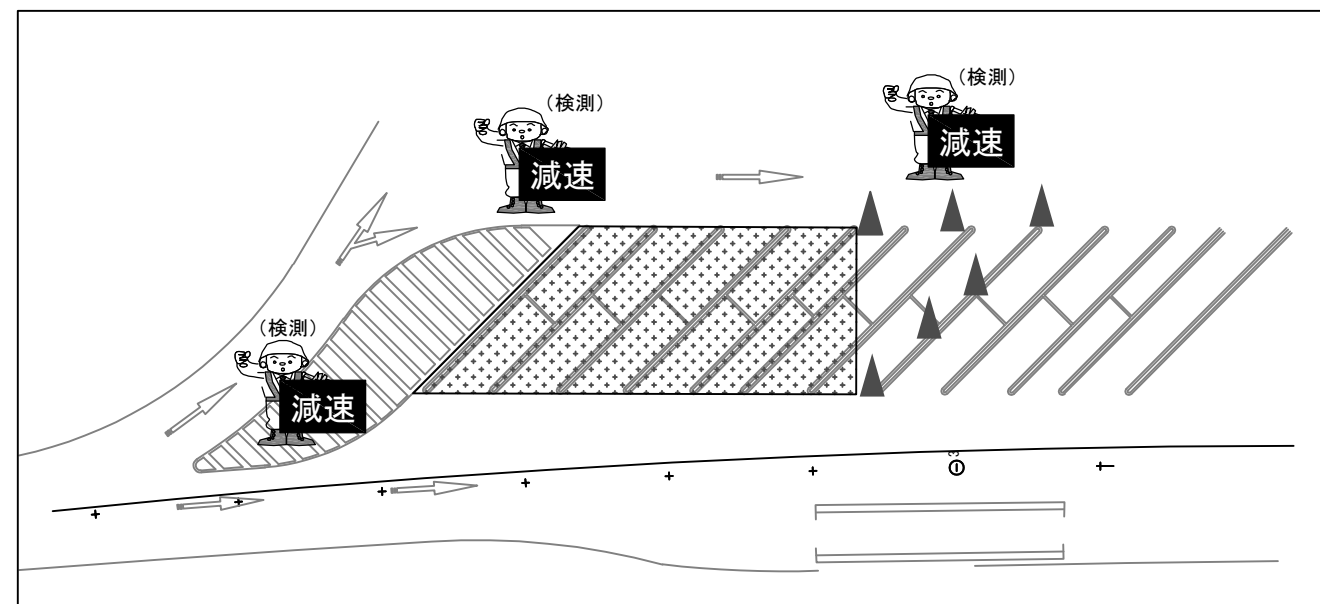
四倉PA(下り線) 大型・兼用駐車マス 標準横断図



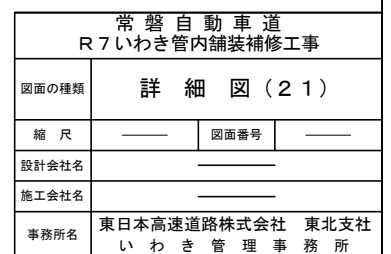
凡例：大型駐車マス施工箇所



交通安全要員 配置図



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	詳細図(20)		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

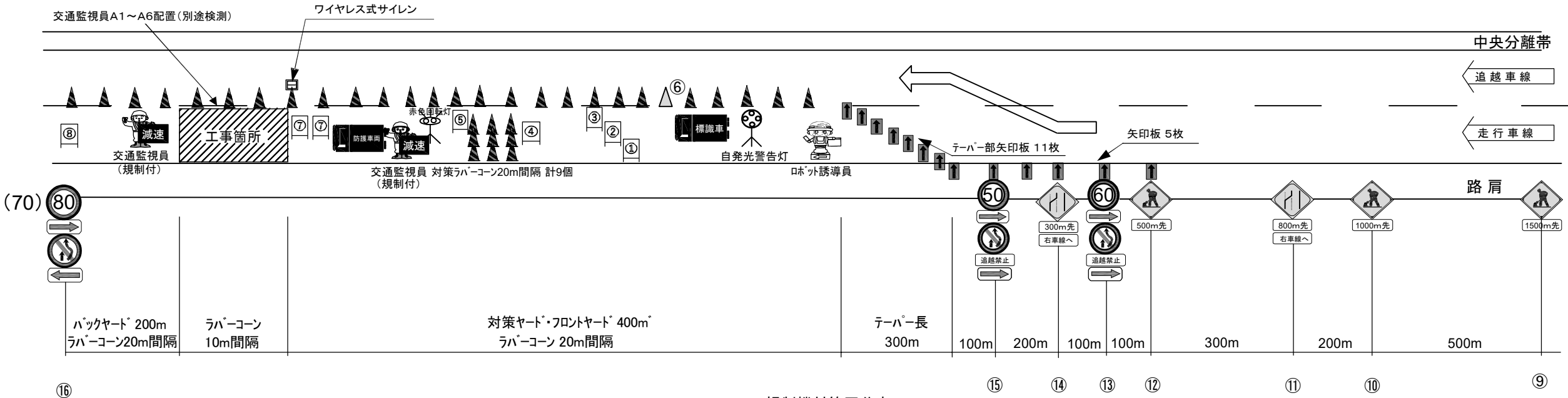
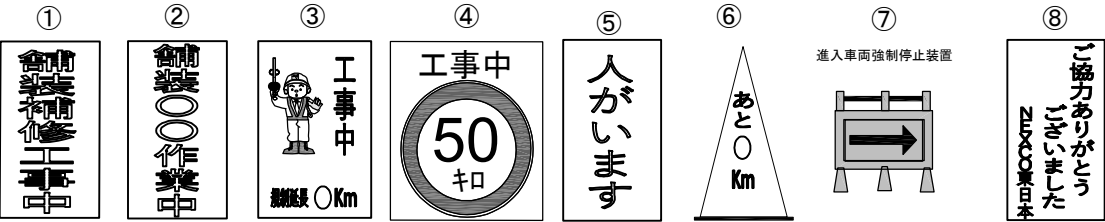


車線規制(走行車線) (70・80km区間)

- 1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。

昼夜別	車線数	上・下	規制車線
昼間	2車線	上下線	走行規制

標識車の標示項目	
工	事
速度落せ	



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパー部(300m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑬
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4t車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		

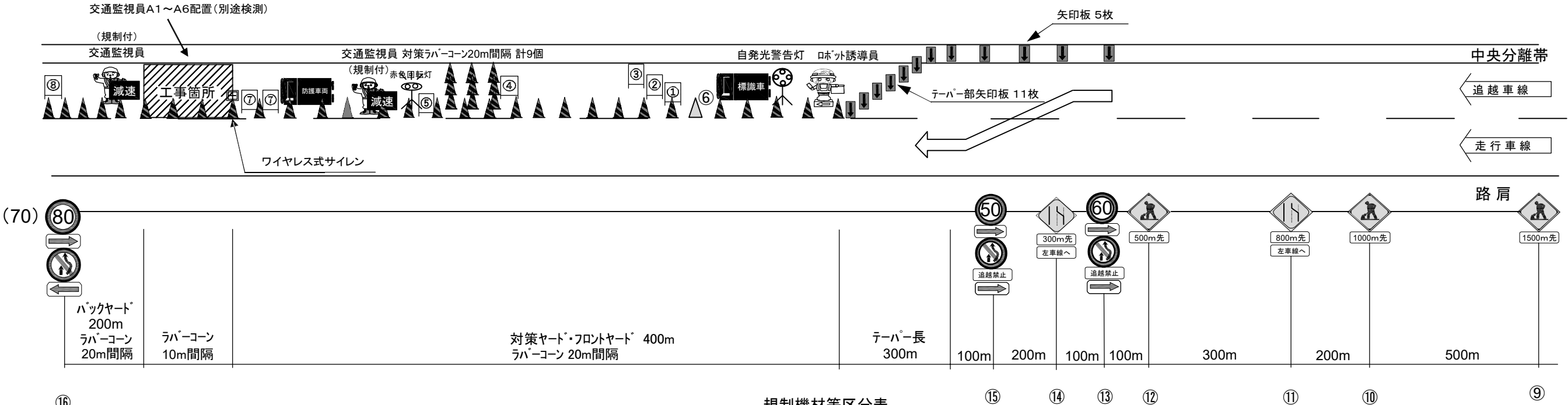
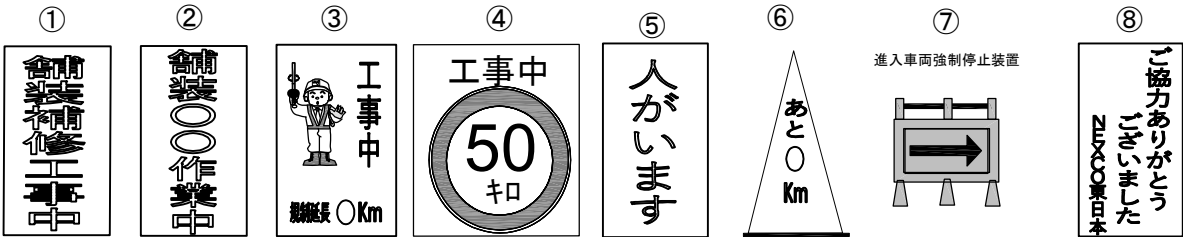
常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (1)		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線規制(追越車線) (70・80km区間)

交通規制図(2)

1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き
車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。

昼夜別	車線数	上・下	規制車線
昼間	2車線	上下線	追越規制



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、
工事箇所(100m以上)やテーパー部(300m)を設置することで、
現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑮
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4t車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (2)		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線規制(昼夜連続)(走行車線)

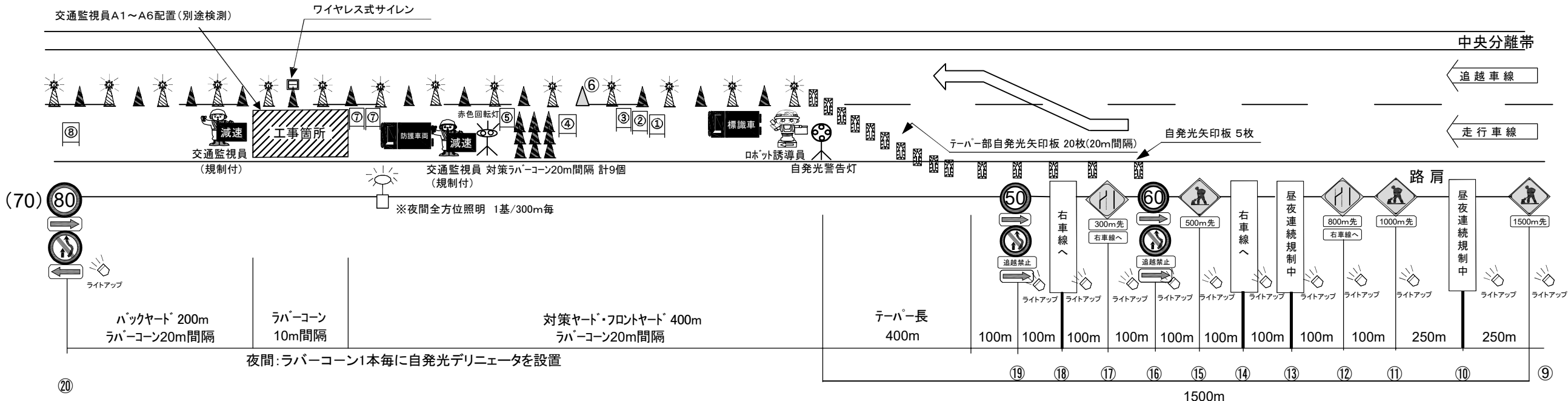
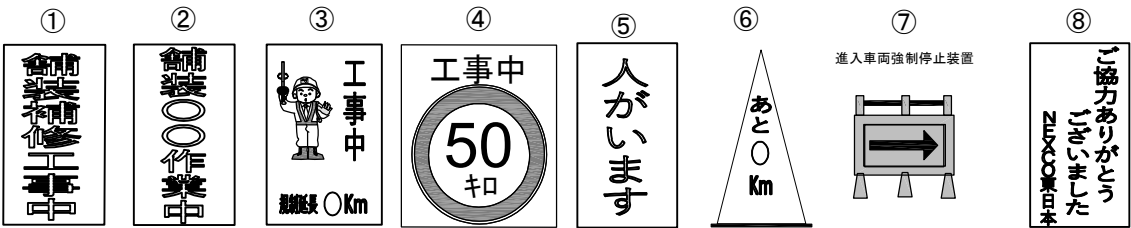
(70・80km区間)

交通規制図(3)

- ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き
車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 夜間規制時は、テーパ―終了部より300m毎に1基全方位照明を設置する。
- 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。
- 案内標識は全て高輝度とする。

標識車の標示項目	
工	事
速度落 せ	

昼 夜 別	車 線 数	上・下	規 制 車 線
昼 夜 間	2車線	上下線	走行規制



規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑳
矢印板	テーパ―及びテーパ―先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4t車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		
全方位照明設備	400wメタルハライドランプ、又は同等品以上	○		規制図参照
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照

縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパ―部(400m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (3)		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

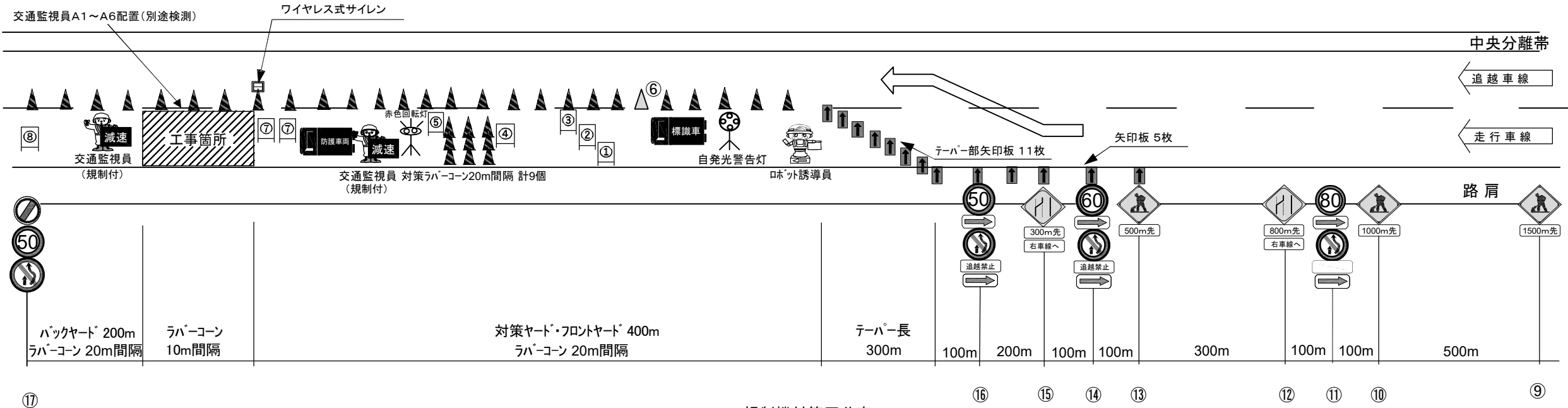
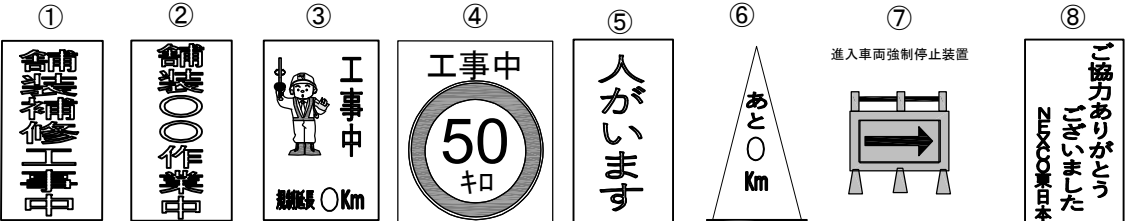
車線規制(走行車線) (100km区間)

- 1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。

昼夜別	車線数	上・下	規制車線
昼間	2車線	上下線	走行規制

標識車の標示項目

工	事
速度	落 せ



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパー部(300m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑰
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4t車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		

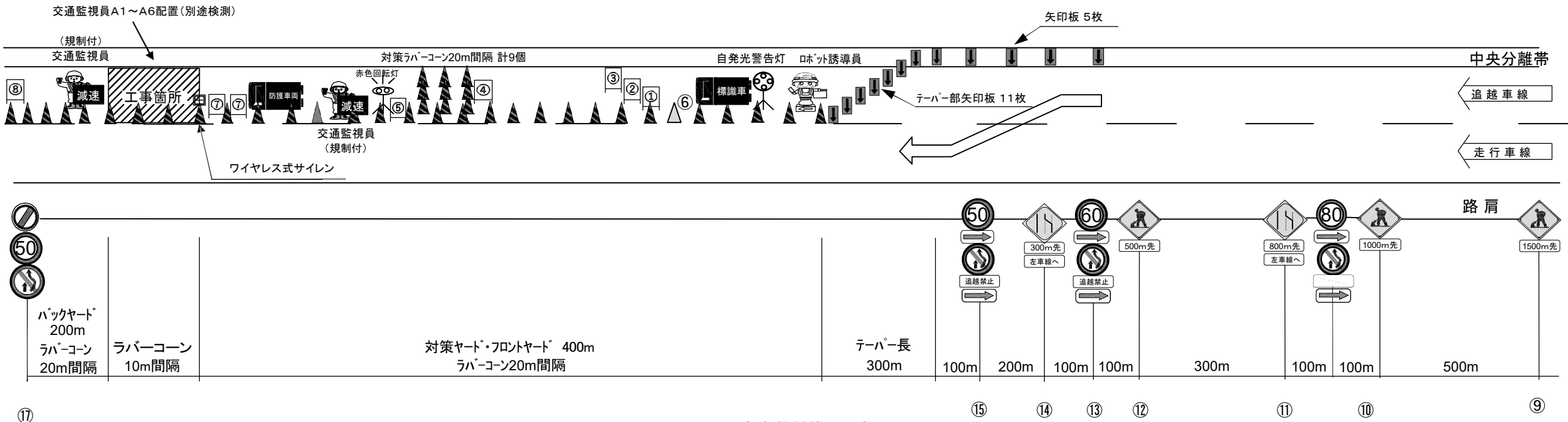
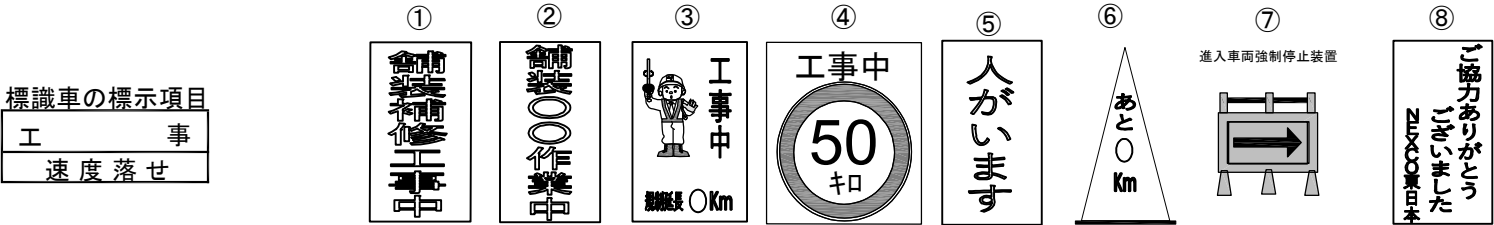
常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (4)		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線規制(追越車線) (100km区間)

交通規制図(5)

- 1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。

昼夜別	車線数	上・下	規制車線
昼間	2車線	上下線	追越規制



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパ部(300m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑰
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4t車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (5)		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線規制(昼夜連続)(走行車線)

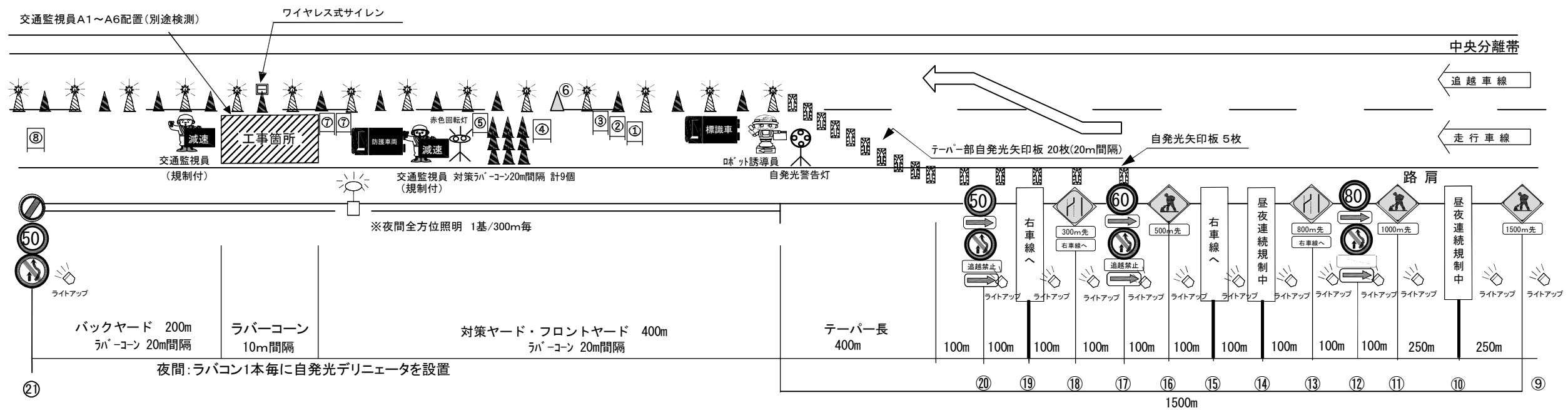
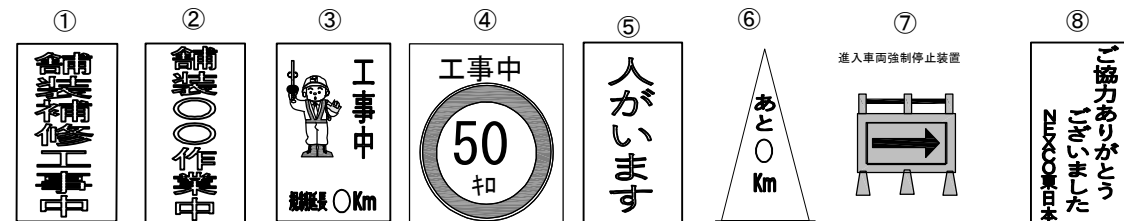
(100km区間)

交通規制図(6)

1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
7. 夜間規制時は、テーパー終了部より300m毎に1基全方位照明を設置する。
8. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。
9. 案内標識は全て高輝度とする。

昼夜別	車線数	上・下	規制車線
昼夜間	2車線	上下線	走行規制

標識車の標示項目	
工	事
速度落せ	



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパ一部(400m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑫
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2 t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4 t 車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		
全方位照明設備	400wメタルハライドランプ、又は同等品以上	○		規制図参照
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照

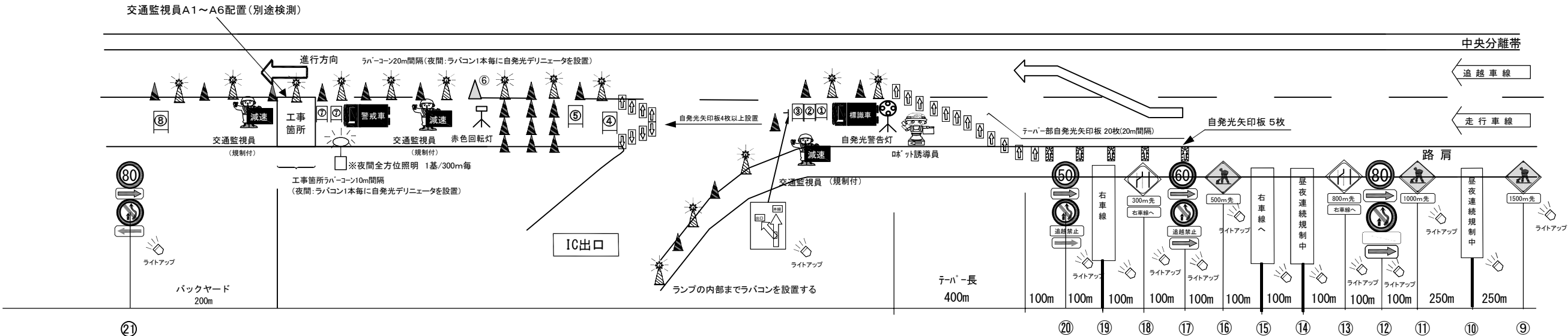
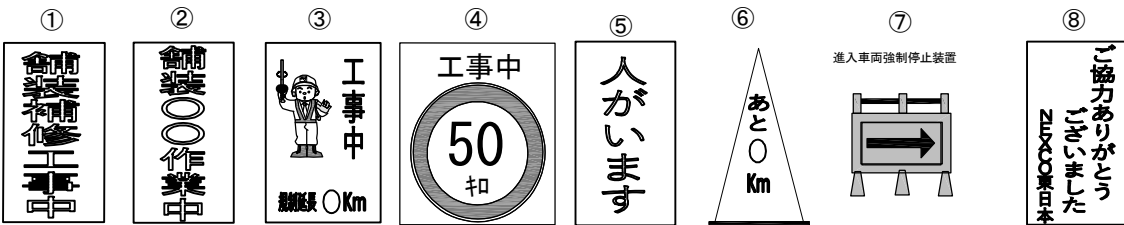
<p style="text-align: center;">常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事</p>			
図面の種類	交通規制図（６）		
縮 尺	———	図面番号	———
設計会社名	———		
施工会社名	———		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 い わ き 管 理 事 務 所		

交通規制図(7)

車線規制(昼夜連続)(島規制①) (100km区間)

- 1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。
- 8. 案内標識は全て高輝度とする。

標識車の標示項目	
工	事
速度落せ	



縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパー部(300m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑳
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2 t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4 t 車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		
全方位照明設備	400wメタルハライドランプ、又は同等品以上	○		規制図参照
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照

常 磐 自 動 車 道 R 7 いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (7)		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

車線規制(昼夜連続)(島規制②)

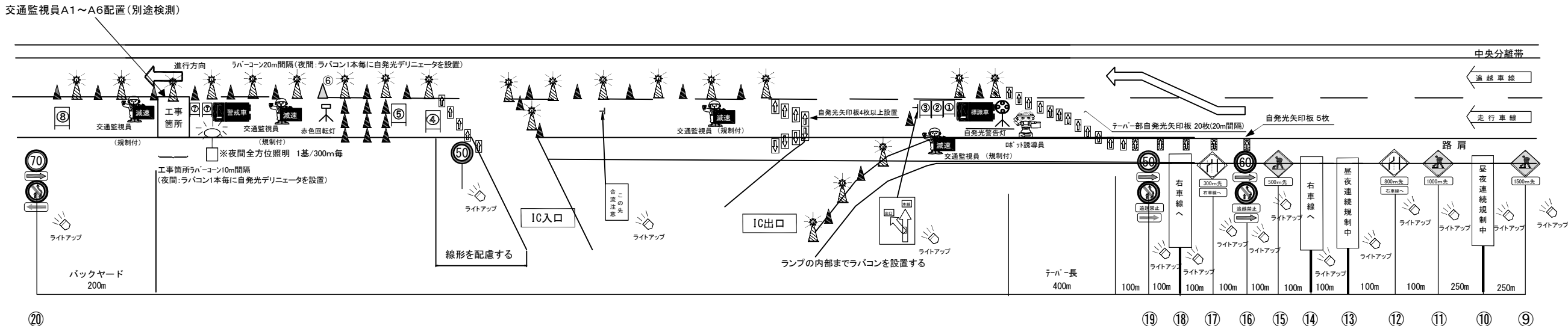
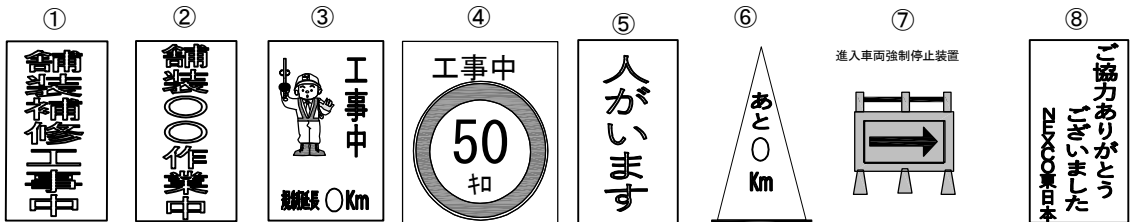
(70km区間)

交通規制図(8)

- 1. ラバーコーンは、20m間隔でセンターラインを越えて設置する。
- 2. 工事規制手前「500m」「300m」「200m」「100m」「50m」に矢印板を置き車線減少及び工事の予告を行う。
(現地線形に応じて追加する。)
- 3. 工事中区間が1kmを超える場合には、1kmにつき1基ずつの割合で速度規制標識を設置する。
また、規制残延長をラバーコーンカバーにより表示する。
- 4. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
- 6. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は、撤収する場合がある。
- 7. 防護車両については、工事個所の20m手前に設置する。
- 8. 案内標識は全て高輝度とする。

標識車の標示項目

工	事
速度落せ	



⑳

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

縦断勾配・横断勾配の線形や交通管理施設の設置を考慮し、工事箇所(100m以上)やテーパー部(300m)を設置することで、現場状況に応じた適切な規制設置とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識			○	⑨～⑳
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
ロボット誘導員			○	
標識車			○	2 t
工事用看板			○	①～⑥、⑧
赤色回転灯		○		
進入車両強制停止装置	施工箇所上流に設置	○		⑦
防護車両	現場乗込車両4 t 車程度	○		
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○		
全方位照明設備	400wメタルハライドランプ、又は同等品以上	○		規制図参照
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照

常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (8)		
縮 尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

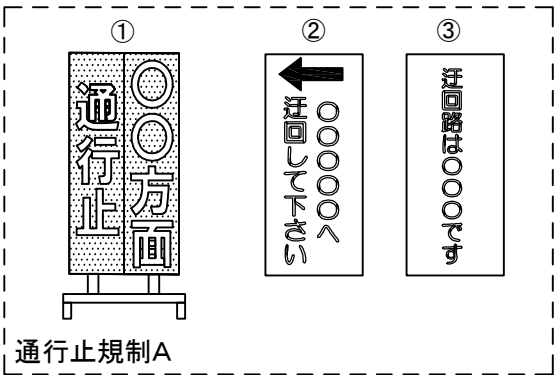
通行止規制 A

- 1. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合がある。
- 2. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 3. 案内標識は全て高輝度とする。

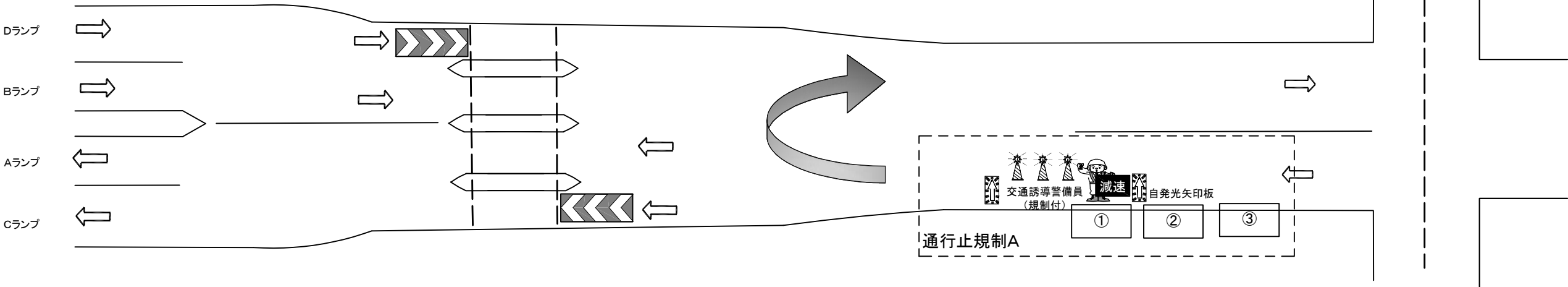
交通規制図(9)

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
矢印板			○	昼夜間用
LED看板		○		①昼夜間用
看板(高輝度)			○	②③昼夜間用



IC-Aランプ及びCランプ-料金所前規制形態



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図 (9)		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

通行止規制 B(1)

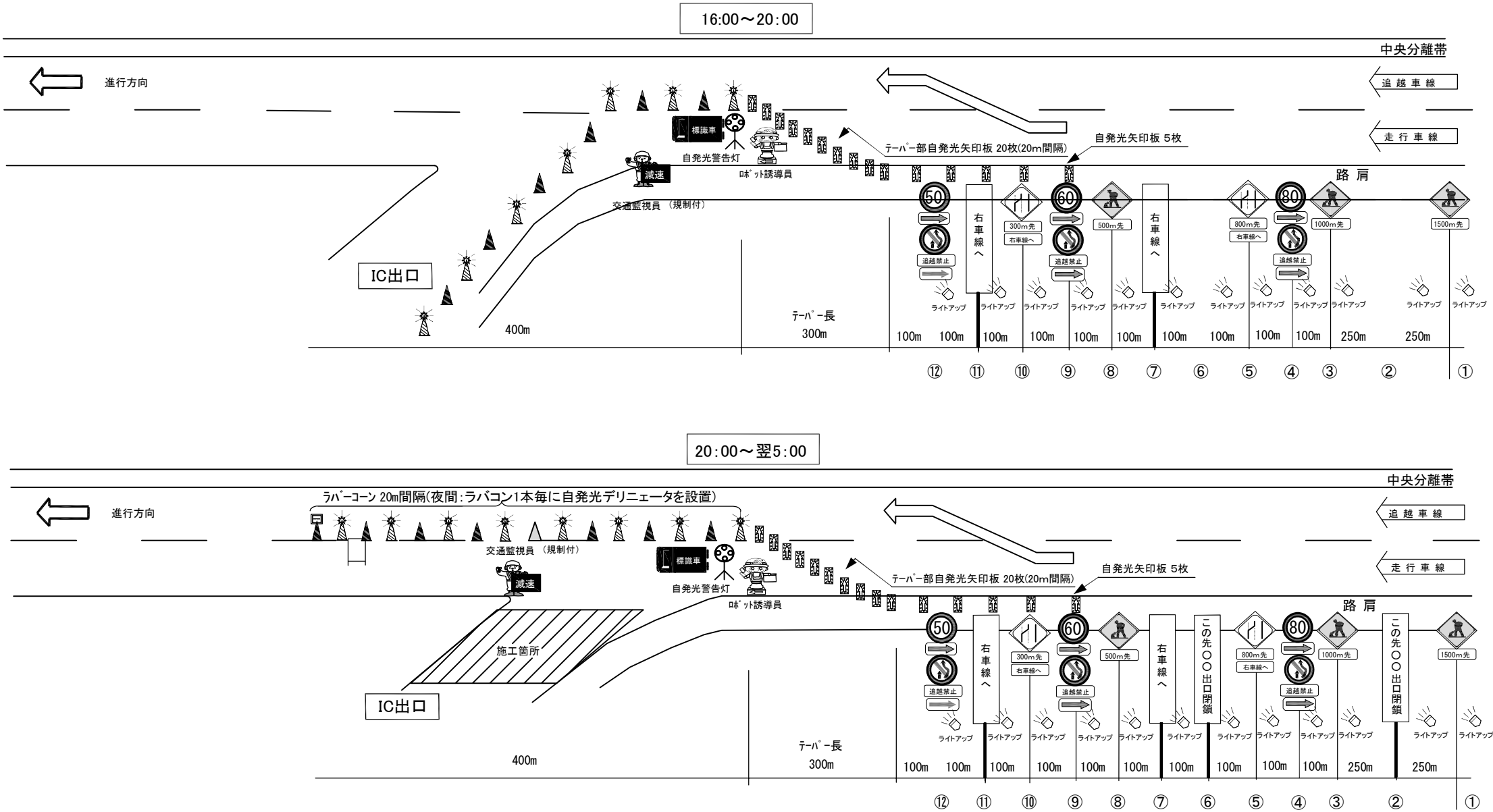
1. ラバーコーンは、20m間隔で設置する。
2. 工事規制手前「500m」「300m」「追越禁止丸50(テーパー100m手前)」の車線減少標識設置箇所及び
工事中標識設置箇所に矢印板を置き、車線減少及び工事の予告を行う。(現地線形に応じて追加する。)
3. 夜間規制時は、標識看板に照明を設置し、矢印板は自発光式とする。
ラバーコーンの自発光装置設置間隔は、工事区間40mピッチを基本とする。その他は現地状況に応じて設置する。
4. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合がある。
5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
6. 案内標識は全て高輝度とする。

標識車の標示項目

工	事
速度落	せ

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
規制標識			○	①～⑫
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照
標識車			○	2 t
ロボット誘導員			○	



通行止規制 B(2)

交通規制図(11)

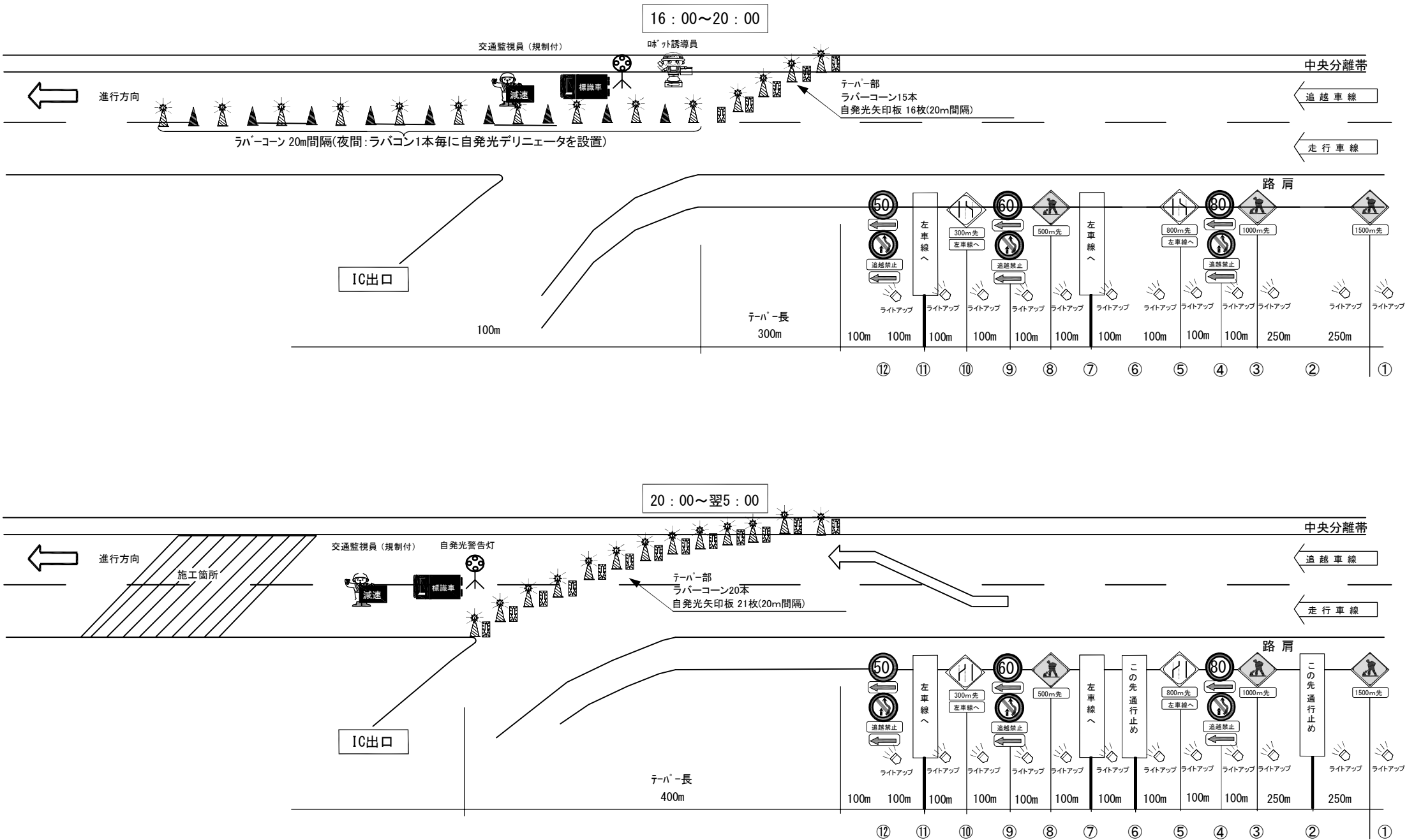
1. ラバーコーンは、20m間隔で設置する。
2. 工事規制手前「500m」「300m」「追越禁止丸50(テーパー100m手前)」の車線減少標識設置箇所及び
工事中標識設置箇所に矢印板を置き、車線減少及び工事の予告を行う。(現地線形に応じて追加する。)
3. 夜間規制時は、標識看板に照明を設置し、矢印板は自発光式とする。
ラバーコーンの自発光装置設置間隔は、工事区間40mピッチを基本とする。その他は現地状況に応じて設置する。
4. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合がある。
5. ロボット誘導員は、左手に旗をもって追越車線に誘導する。
6. 案内標識は全て高輝度とする。

標識車の標示項目

工	事
速度落せ	

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
規制標識			○	①～⑫
矢印板	テーパー及びテーパー先頭部		○	昼夜間用
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
自発光警告灯	規制先頭部	○		
予告標識ライトアップ機材		○		規制図参照
標識車			○	2 t
ロボット誘導員			○	

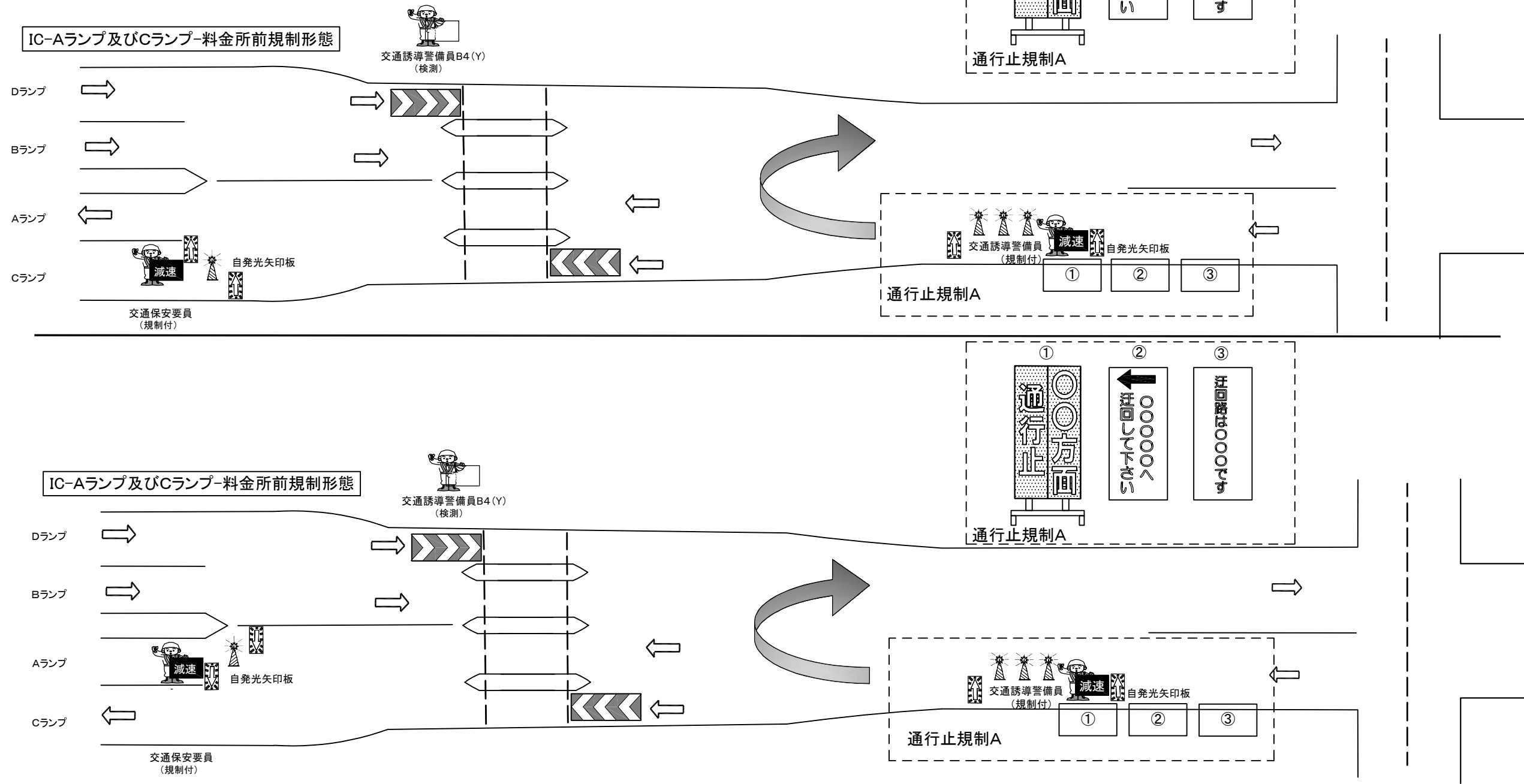


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図（11）		
縮 尺	――	図面番号	――
設計会社名	――		
施工会社名	――		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

1. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合がある。
2. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
3. 案内標識は全て高輝度とする。

規制機材等区分表

項 目	細 目	区 分		備 考
		受注者	発注者	
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
矢印板			○	昼夜間用



<div style="text-align: center;"> 常 磐 自 動 車 道 R7いわき管内舗装補修工事 </div>			
図面の種類	交通規制図（１２）		
縮 尺	_____	図面番号	_____
設計会社名	_____		
施工会社名	_____		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

通行止規制 D

1. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合がある。
2. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
3. 案内標識は全て高輝度とする。

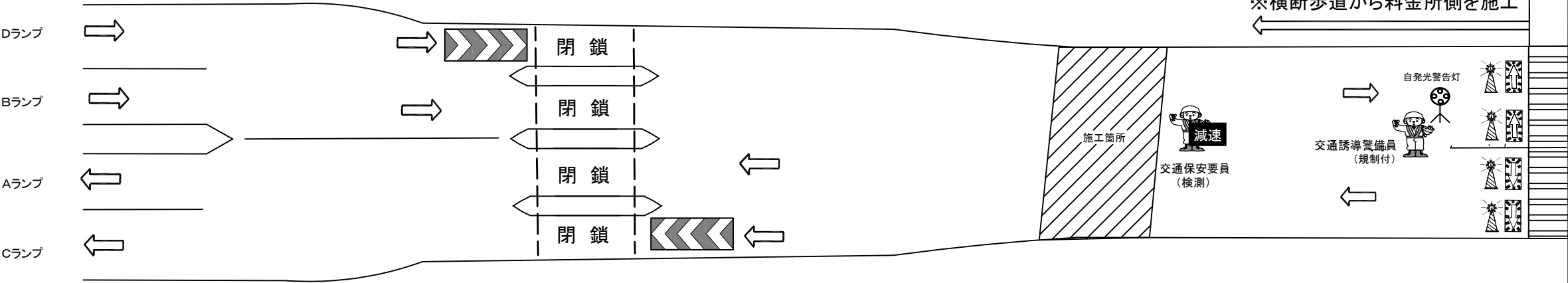
交通規制図(13)

項 目	細 目	区分		備考
		受注者	発注者	
ラバーコーン			○	自発光デリニエータ含む
矢印板			○	昼夜間用

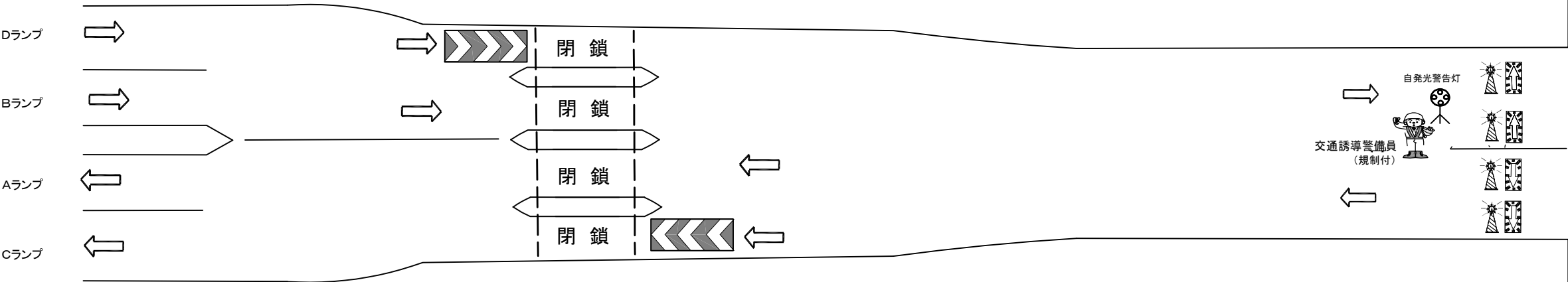
いわき三和IC通行止め時-料金所前規制形態

※交通保安要員の配置人数:1+1名

※横断歩道から料金所側を施工



大熊IC・双葉IC通行止め時-料金所前規制形態

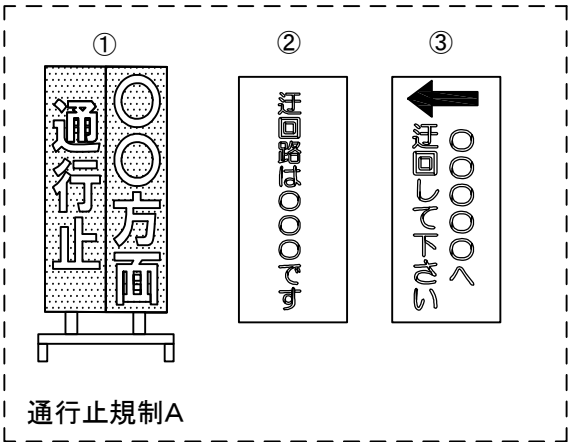


常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図(13)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		

いわき三和 IC A・C、B・Dランプ施工図

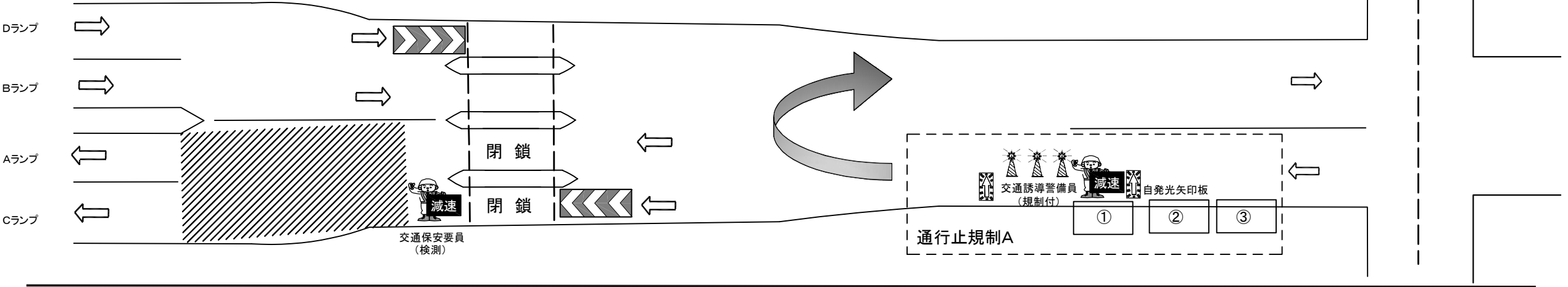
- 1. 強風時は、看板類など倒れる恐れのある規制材は撤収する場合があります。
- 2. 交通監視員の使用する旗は、『減速』の文字入りを使用する。
- 3. 案内標識は全て高輝度とする。

交通規制図(14)



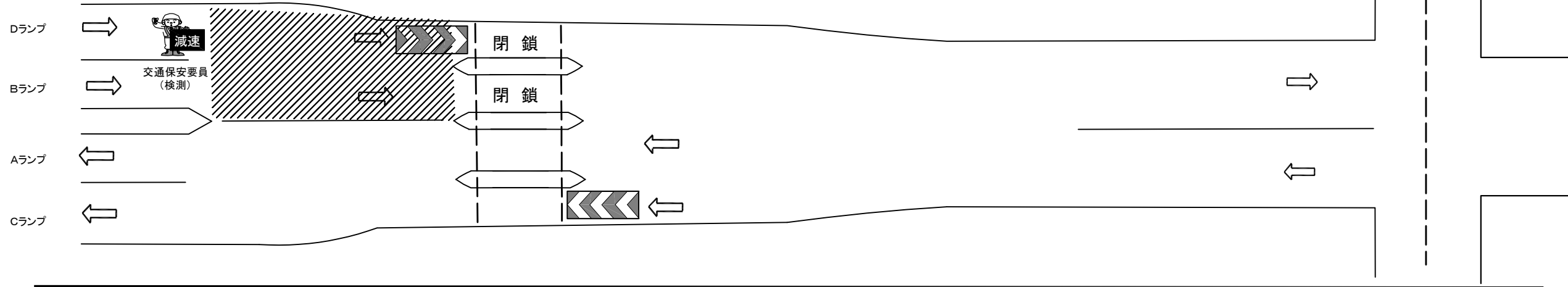
いわき三和IC-Aランプ及びCランプ-料金所前規制形態

※交通保安要員の配置人数:1+1名



いわき三和IC-Bランプ及びDランプ-料金所前規制形態

※交通保安要員の配置人数:1+1名



常磐自動車道 R7いわき管内舗装補修工事			
図面の種類	交通規制図(14)		
縮尺	——	図面番号	——
設計会社名	——		
施工会社名	——		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所		